

## 資料編の内容

### 1. 資料編 第1巻（英語点字の入門）

英語の点字は、基本的には普通の文字と同じようにアルファベットと句読符から成っている。さらに、点字の読み書きを速くするために、点字独特の略字を加えている。そこで、中学部の第1学年ではアルファベットと句読符を学び、第2学年から第3学年が終了するまでの間に、7つの段階に分けて点字の略字を学ぶことになっている。高等部の教科書及びアメリカやイギリスの書籍では、これらの点字略字がすべて使われているので、中学部の間に、出てきた順序に従って十分に学んでおくことが必要である。この資料編の第1巻には、英語の点字に関する事柄がほとんどすべてまとめられている。

①の「点字の配列表」は、英語点字を学ぶ上での基本となるものである。特に、点字略字の成り立ちの基本となっている。

②の「アルファベットと発音」から⑤の「発音記号の書き方」までは、点字略字を含まない英語の書き方について、項目ごとにそれぞれ解説してある。

⑥の「音節の区切り方」と⑦の「主な接頭辞と接尾辞」は、第3学年の最後に学ぶ点字略字の第6段階と第7段階の規則を理解し、点字略字を正しく書き表すために参考になるものである。

⑧から⑬までは、点字略字の第1段階から第7段階までの解説である。

⑭から⑯までは、英語の点字略字の一覧表である。そのうち⑭の「段階別一覧表」は、教科書に出てくる順序にまとめている。⑮の「アルファベット順一覧表」は、すべての点字略字を辞書と同じようにアルファベットの順番に並べてあるので、自分が書きたい単語を点字略字ではどう書けばよいかを調べたいときに活用しなさい。⑯の「字形別一覧表」は、すべての点字略字を字の形の順番に並べてあるので、読み方が分からない点字略字に出会ったとき、その綴り字を調べるために活用しなさい。

なお、字の形の配列順序は、①の「点字の配列表」の順序に並べられている。資料編は、高等部でも十分に活用できるので、繰り返していねいに学びましょう。

① 点字の配列表

6点点字は、1825年にフランス人ルイ・ブライユ (Louis Braille) によって考案された盲人用触読文字である。英語では考案者にちなんで、点字のことをブレイル (Braille) と言っている。6点点字は1マス6点であるから、64とおりの組合せとなる。ルイ・ブライユはマスあけの記号を除いた63を次の7行に配列した。

第1行	⠠	⠡	⠢	⠣	⠤	⠥	⠦	⠧	⠨	⠩
第2行	⠪	⠬	⠭	⠮	⠰	⠱	⠲	⠳	⠴	⠵
第3行	⠶	⠷	⠸	⠹	⠺	⠻	⠼	⠽	⠾	⠿
第4行	⠺	⠻	⠼	⠽	⠾	⠿	⠺	⠻	⠼	⠽
第5行	⠺	⠻	⠼	⠽	⠾	⠿	⠺	⠻	⠼	⠽
第6行	⠺	⠻	⠼	⠽	⠾	⠿				
第7行	⠺	⠻	⠼	⠽	⠾	⠿				

1行目は、上の四つの点の組合せの15の中から、下がり記号と4・5の点だけの組合せを除いたものである。2, 3, 4行目は、1行目の記号にそれぞれ3の点, 3・6の点又は6の点を加えたものである。5行目は、1行目と同じ形をそのまま下に下げたものである。このように1・4の点を用いない記号を下がり記号という。残りの13のうち、3の点を含むものを6行目とし、4・5・6の点の組合せを7行目に配列した。

ルイ・ブライユは、フランス語のアルファベットに1, 2行目と3行目の半分までを当てた。しかし、ここにはWがない。もともとWは、Uがダブった「ダブルU」か、Vがダブった「ダブルV」などとして扱われていたので、記号を当てなかった。後に、英国人の忠告を入れてWを加えたが、それが英語やドイツ語などのアルファベットにも使われるようになった。

5, 6行目の下がり記号は、句読符として用いられ、7行目は、点字独特の記号として用いられている。数字は、1行目に数符を前置して表している。また、楽譜では、1行目から4行目までの最初の3個を除いたものを、それぞれの長さの音符に当てている。また、7行目の記号を、高さを表す音列記号として用いている。

英語の点字略字もこの表をもとに作られている。アルファベットの中からa, i, oを除いたものと、その他の記号から6行目の□⠺□及び7行目の記号を除いたものは、す

べて1マスの略字として用いられている。また、7行目の□⠠□以外の6つも2マスの略字の前置点となっている。さらに、5行目の記号と□⠠□は、句読符として用いられている上に、下がり記号の略字としても用いられている。

なお、日本点字においても、考案者の石川倉次は、この表の1行目から5の点を含むものを除いてア行とし、それに3・5・6の点を組み合わせたものを加えて、その他の各行を作っている。

以上述べたことから、この配列表が点字記号の基礎であることは理解されるでしょう。

## ② アルファベットと発音

アルファベットは、東地中海地方で考案され、ギリシア・ローマ時代にヨーロッパ全域に広まった。今では世界各地で用いられ、日本語のローマ字や中国語の音声表記（ピンイン）などに用いられている。

英語では、普通、大文字と小文字が、活字体と筆記体の二とおりに表され、これらの4種類は、それぞれ26文字から成る。点字には、活字体と筆記体の区別はなく、大文字と小文字も次のように小文字に大文字符を前置するだけで区別している。

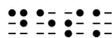
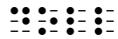
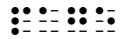
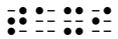
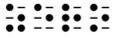
⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠				
u	v	w	x	y	z				
⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠				
U	V	W	X	Y	Z				

これらを次の5グループに分けて、アルファベットと発音の関係を学ぼう。

### ア 長くのばすと「イー」になるもの

⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠	⠠
b	c	d	g	p	t	v	z

これらの読みから後ろの「イー」という音をとると、これらの文字の表す発音になる。

(例)       
bat bed city center desk  
      
doll Giants page pen taxi  
     
ten visit zero zoo

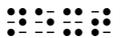
ただし、c には「ク」から「ウ」を、g には「グ」から「ウ」をとった発音がある。

(例)      
car cook gas golf

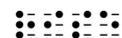
イ 前に「エ」という音がつくもの

       
f l m n s x

これらの読みから前の「エ」という音をとると、これらの文字の表す発音になる。

(例)        
fan fish like lip map mix  
      
net next star sun box

ただし、s は、濁る場合もある。

(例)      
lose news nose rise

ウ 後ろに「エイ」という音のつくもの

   
j k

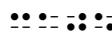
これらの読みから後ろの「エイ」という音をとると、これらの文字の表す発音になる。

(例)      
jam joke key king

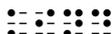
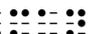
エ 英語の母音を表すもの

      
a e i o u

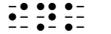
これらが、アルファベットの読みと同じように発音されるとき、その後ろに発音されない e が子音をはさんでつくことが多い。

(例)      
 cake face scene fine  
      
 life home rose cute use

ただし、発音しない e がついても読みが異なる場合と、e がつかなくても、これらと同じ発音を表す場合がある。

(例)      
 come done rule April  
     
 kind go human music

また、これらの文字は、単独又は二つ以上の組合せでいろいろな発音を表す。

(例)       
 bat egg ink pot put  
      
 main August sea beauty bee  
      
 field boat coin book pool  
    
 young mountain fruit

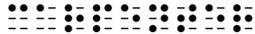
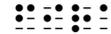
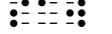
#### オ その他の文字

      
 h q r w y

これらのうち、h は日本語のハ行に、r はラ行に、w はワ行に、y はヤ行に似た発音を表すこともある。

(例)        
 hand hint hot red rice run  
       
 wax wet wood yard yes you

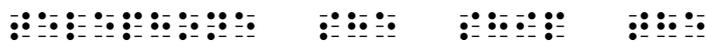
これらの文字は、前のグループの文字と組み合わせて、長母音や二重母音又は三重母音を表す場合もある。

(例)       
 ah oh carpenter hair fire  
      
 born turn saw new town  


day eye boy player  
 yにはiと同じ用い方があり，qはuと組み合わせて用いられる。

(例)   
 bicycle city my type  
  
 queen quickly quite  


hは他の文字に添えて別の子音をも表すことがある。

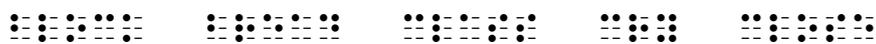
(例)   
 church headache ghost enough  
  
 telephone she ship the  
  
 thanks white  


#### カ 子音と子音の結び付き

日本語と違って，英語では次のような子音と子音の結び付きがみられる。

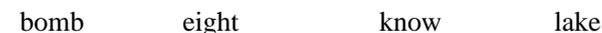
(例)   
 back bank camp dress  
  
 little hand sky slip small  
  
 snow song spring stamp  
  
 strong swim text train  

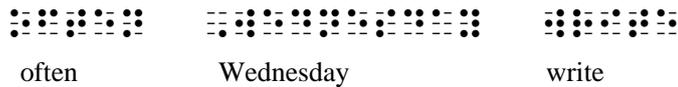

中でも，他の文字とlかrの組合せには，特に発音上注意を要する。

(例)   
 block bread class cry close  
  
 cross fly fresh glass  
  
 grass play present  


#### キ 発音されない綴り字

英語には，歴史的変化などで発音されない綴り字がある。

(例)   
 bomb eight know lake  




③ ローマ字の書き方

ローマ字は、アルファベットを用いて日本語を書き表すもので、日本語の発音を表す表音文字の1つである。同じく表音文字といっても、平仮名や片仮名又は国語音点字などは、音節を表す文字である。すなわち、日本語の「カ、キ、ク、ケ、コ」などは、子音と母音からできている音節であるが、これらの仮名文字では、1つの音節を1つの文字で表している。これに対してローマ字は、子音や母音の1つ1つに1つのアルファベットを当てて表しているの、むしろ発音記号に近い。

ローマ字には、訓令式、ヘボン式と日本式の3通りの書き表し方がある。

日本語を全部そのままローマ字で書き表す場合には、主として訓令式が用いられ、外国語の中で日本の地名や人名などがローマ字で書き表されるときは、主としてヘボン式が用いられている。すなわち、訓令式の方が規則的で、日本人には覚えやすいのに対して、ヘボン式は外国語ことに英語の綴り字に近いため、日本の地名や人名の読み違いが少ないからである。訓令式はは小学校の3年生から学んでいるので、ここではヘボン式を取り上げる。なお、一覧表の中でヘボン式と訓令式が違っている場合には、( ) の中に訓令式を書き添えてあるので、その相違点を整理して覚えるのもよい。また、一覧表や用例中のローマ字には外文字を用いず、大文字は必要に応じて使用している。

ア 清音と濁音など

(a) 清音 (ア行からワ行まで)

⠁	⠇	⠏	⠑	⠋
a	i	u	e	o
⠠⠓⠁	⠠⠓⠊	⠠⠓⠎	⠠⠓⠑	⠠⠓⠋
ka	ki	ku	ke	ko
⠠⠑⠁	⠠⠑⠊⠎⠊	⠠⠑⠎	⠠⠑⠑	⠠⠑⠋
sa	shi (si)	su	se	so
⠠⠑⠁	⠠⠑⠊⠎⠊	⠠⠑⠎	⠠⠑⠑	⠠⠑⠋
ta	chi (ti)	tsu (tu)	te	to
⠠⠑⠁	⠠⠑⠊	⠠⠑⠎	⠠⠑⠑	⠠⠑⠋
na	ni	nu	ne	no
⠠⠑⠁	⠠⠑⠊	⠠⠑⠎	⠠⠑⠑	⠠⠑⠋
ha	hi	fu (hu)	he	ho

ma	mi	mu	me	mo
ya	i	yu	e	yo
ra	ri	ru	re	ro
wa	i	u	e	o

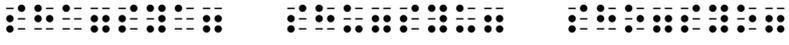
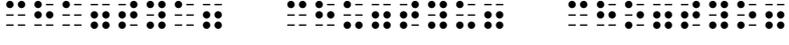
(b) 濁音, ファ行及び撥音

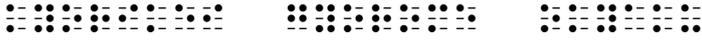
ga	gi	gu	ge	go
za	ji (zi)	zu	ze	zo
da	ji (zi)	zu (du)	de	do
ba	bi	bu	be	bo
pa	pi	pu	pe	po
fa	fi	fu (hu)	fe	fo
n				

(例)

aki	ie	ouchi	ekimae	koma
hagoita	ichigo	tsukue	kawa	
fune	shinbunshi	tokei	jishin	
yamakuzure	namazu	panda		
Kankan	Ranran			

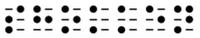
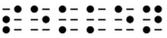
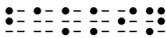
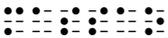
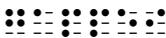
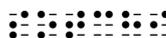
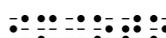
イ 拗音

- (a) 「キヤ, キュ, キョ」, 「ギヤ, ギュ, ギョ」  
  
 kya kyu kyo gya gyu gyo
- (b) 「シヤ, シュ, ショ」  
  
 sha(sya) shu(syu) sho(syo)
- (c) 「ジャ, ジュ, ジョ」  
  
 ja(zya) ju(zyu) jo(zyo)
- (d) 「チャ, チュ, チョ」  
  
 cha(tya) chu(tyu) cho(tyo)
- (e) 「ニヤ, ニュ, ニョ」, 「ヒヤ, ヒュ, ヒョ」  
  
 nya nyu nyo hya hyu hyo
- (f) 「ビヤ, ビュ, ビョ」, 「ピヤ, ピュ, ピョ」  
  
 bya byu byo pya pyu pyo
- (g) 「ミヤ, ミュ, ミョ」, 「リヤ, リュ, リョ」  
  
 mya myu myo rya ryu ryo

- (例)   
 kyorikei gyorome okyaku
-   
 kingyo syashin jari shinju
-   
 chawan densha Shinjuku
-   
 ryokan myakuhaku
-   
 shunpatsuryoku junbi janken

ウ 促音と長音

- (a) 促音は、次の子音を重ねて書き表す。ただし、ch ではじまる音節が次に  
来る場合は、tch と書き表す。
- (b) 長音は、長音となる母音の前にアクセント符の4の点を添えるのが普通  
であるが、英文中ではしばしば何も添えない場合がある。

(例)				
	kitte	shokken	sekken	kokka
				
	bakkin	shippai	geppu	massao
				
	gappei	jikken	dappi	itchi
				
	kotchi	sotchi	setchi	ototchan
				
	chitchai	sotchoku	okàsan	
				
	onîsan	onêsan	otôsan	
				
	otôto	imôto	senryû	
				
	kyôka	kyûkyûsha	Tôkyô	
				
	Tokyo	Ôsaka	Osaka	Kyôto
				
	Kyoto	Kyûshû	Kyushu	
				
	Hokkaido	Ryoanji	Horyuji	
				
	Todaiji	Matsuo	Basho	
				
	Mori	Ogai	Natsume	Soseki



- (d) ピリオド  □□  (.)  
(period)

文の終わりの区切りに用いる。

(例)

Do your best.

(あなたの最善を尽くしなさい。)

- (e) 疑問符  □□  (?)  
(question mark)

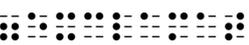
疑問文の終わりの区切りに用いる。

(例)

When do you get up?

(あなたはいつ起きますか?)

- (f) 感嘆符  □□  (!)  
(exclamation mark)

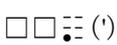
驚き・怒り・喜びなどの気持ちを表すために用いる。

(例)

How pretty!

(なんとかわいいのでしょうか。)

- (g) アポストロフィー  □□  (')  
(apostrophe)

綴りの一部の省略を表すために用いる。

(例)

  → 

do not → don't

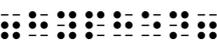
「～のもの」という意味を表すために用いる。

(例)

(絵美のかばん)

Emi's bag

- (h) ハイフン  □□  □□ (-)  
(hyphen)

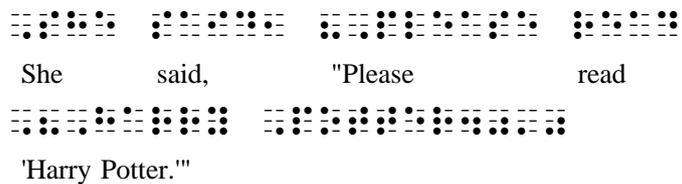
複合語などのつなぎに用いる。

(例)



引用中の引用に用いる。

(例)


  
 She said, "Please read
   
 'Harry Potter.'"

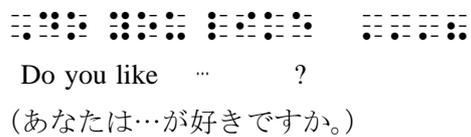
(彼女は、「『ハリー・ポッター』をお読みなさい」と言った。)

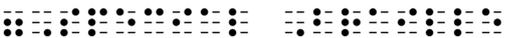
(n) エリプシス  (…)

(ellipsis)

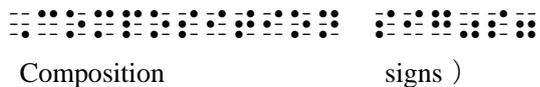
単語や文字などの省略に用いる。

(例)

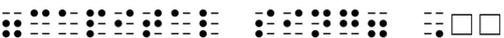

  
 Do you like … ?
   
 (あなたは…が好きですか。)

イ 点字独特の記号 

(Special Braille


  
 Composition signs )

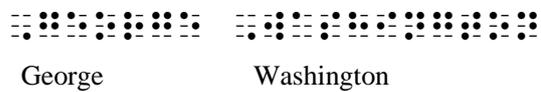
点字は、普通の文字のように文字の形や大きさを変えられないので、これらを表す場合、特別な記号を用いる。

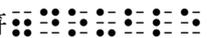
(a) 大文字符   

(capital sign)

固有名詞や文の初めなど、頭文字一文字だけが大文字の場合に、その文字の前に用いる。

(例)


  
 George Washington

(b) 二重大文字符    

(double capital sign)

単語全部が大文字で書かれている場合に、その単語の前に用いる。

(例)


  
 MD (ミニディスク)





□⠠⠠に変わっている。

- (c) コーテーションマークとかぎ類

⠠⠠⠠⠠→⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 又は ⠠⠠⠠⠠

“ ” 「 」 「 」

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

‘ ’ 『 』

などのように、英語と日本語の記号は異なっているが、撥音符の□⠠⠠(ん)と重なるのでやむを得ない。

- (d) 角括弧⠠⠠⠠⠠⠠⠠(英語)と⠠⠠⠠⠠⠠⠠(日本語)

ワ行の「ワ」のため、点が上がっている。

- (e) ダッシュと棒線

□⠠⠠⠠⠠ → □⠠⠠⠠⠠ □⠠⠠⠠⠠などと高さやマスあけが異なるが、

ダッシュ 棒線

かぎや長音符との混同を避けるためやむを得ない相違点である。

- (f) エリプシスと点線

□⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → □⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠などと、その高さが異なっている

エリプシス 点線

が、ワ行の「ワ」との混同を避けるためやむを得ない。

- (g) 文字と外文字及び外国語引用符

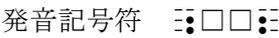
□⠠⠠は、英語では点字略字ではないアルファベットそのものであることを示すが、日本語では外国の文字であることを示し、意味が異なる。また、⠠⠠⠠⠠は、英語ではコーテーションマークだが、日本語では外国の語句や文字を表す記号である点が異なっている。

☆ 辞書や参考書又は試験問題などで、これらが混ざって出てきたとき、その使い分けを注意する必要がある。

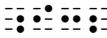
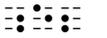
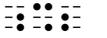
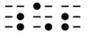
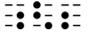
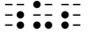
## ⑤ 発音記号の書き方

単語の発音を点字で表記する記号として、日本では Daniel Jones 式の発音表記を基に、1933年にイギリスで決められたものが使われている。現在、発音表記で一般的に使われている国際音声記号は、Daniel Jones 式と比較すると、記号の数だけでなく補助記号も多く使われている。そのため、教科書及びこの資料編では、従来よりの表記を採用している。なお、国際音声記号の点字表記については北米点字委員会 (BANA) のホームページを参照して頂きたい。

ア 発音記号に伴う符号

- (a) 発音記号符   
発音記号の前後を囲む。
- (b) 第一ストレス符 (primary stress sign)  
 (4・5・6の点)  
最も強いアクセントの母音の前に置く。
- (c) 第二ストレス符 (secondary stress sign)  
 (4・5の点)  
二番目のアクセントの母音の前に置く。

イ 母音 (V o w e l)

	—		
[ i : ]		see	[ s i : ]
	—		
[ i ]		in	[ i n ]
	—		
[ e ]		bread	[ b r e d ]
	—		
[ æ ]		cat	[ k æ t ]
	—		
[ a : ]		father	[ f á : ð ə r ]
	—		 (米)
[ ɑ ]		drop	[ d r ɑ p ] (米)
	—		 (英)
[ ɔ ]		drop	[ d r ɔ p ] (英)
	—		
[ ɔ : ]		ball	[ b ɔ : l ]
	—		
[ u ]		foot	[ f u t ]
	—		
[ u : ]		moon	[ m u : n ]
	—		
[ ʌ ]		cup	[ k ʌ p ]
	—		
[ ə : ]		bird	[ b ə : r d ]

⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ə]	America	[ə m é r i k ə]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[e i]	face	[f e i s]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[o u]	go	[g o u]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[a i]	time	[t a i m]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[a u]	house	[h a u s]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ɔ i]	boy	[b ɔ i]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[i ə]	here	[h i ə r]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[e ə]	hair	[h e ə r]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[ɔ :]	door	[d ɔ : r]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[u ə]	poor	[p u ə r]	

ウ 子音 (Consonant)

⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[p]	pen	[p e n]	
⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[b]	box	[b a k s]	
⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[t]	tree	[t r i :]	
⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[d]	desk	[d e s k]	
⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[k]	clock	[k l a k]	
⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[g]	good	[g u d]	
⠠⠠⠠⠠⠠	—	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠	⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠
[tʃ]	chair	[tʃ e ə r]	

⠠⠃⠵	—	⠠⠵⠏	⠠⠃⠵⠁⠏
[dʒ]		jump	[dʒʌmp]
⠠⠞⠰	—	⠠⠞⠰⠰	⠠⠞⠰⠰
[ts]		let's	[lets]
⠠⠃⠵	—	⠠⠃⠵⠃	⠠⠃⠵⠃⠃⠃
[dz]		birds	[bɜːrdz]
⠠⠇	—	⠠⠇⠃	⠠⠇⠃
[m]		me	[miː]
⠠⠇	—	⠠⠇⠞	⠠⠇⠞
[n]		net	[net]
⠠⠇	—	⠠⠇⠇	⠠⠇⠇
[ŋ]		sing	[siŋ]
⠠⠇	—	⠠⠇⠇⠇	⠠⠇⠇⠇
[l]		lily	[lɪli]
⠠⠇	—	⠠⠇⠃	⠠⠇⠃⠃⠃
[f]		four	[fɔːr]
⠠⠇	—	⠠⠇	⠠⠇⠃
[v]		of	[ɒv]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃	⠠⠞⠃⠃
[θ]		thank	[θæŋk]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃	⠠⠞⠃⠃
[ð]		this	[ðɪs]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃	⠠⠞⠃⠃
[s]		sea	[siː]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃	⠠⠞⠃⠃
[z]		is	[ɪz]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃	⠠⠞⠃⠃
[ʃ]		ship	[ʃɪp]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃⠃	⠠⠞⠃⠃⠃⠃⠃
[ʒ]		usual	[jʊːzʊəl]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃	⠠⠞⠃⠃
[r]		red	[red]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃	⠠⠞⠃⠃
[h]		hand	[hænd]
⠠⠞	—	⠠⠞⠃⠃	⠠⠞⠃⠃⠃⠃
[w]		woman	[wʊmən]

 —    
 [ j ]            yes            [ j e s ]  
 —    
 [ h w ]            white            [ h w a i t ]

## ⑥ 音節の区切り方

英語の単語の綴り字は、音節ごとに一つのまとまりがあって、接頭辞や接尾辞又は語根などの意味の単位と関係が深い。また、音節の区切り方には、ある程度規則性があるから、これを覚えれば辞書を引く手間が少しは省けるようになる。さらに、英文タイプや点字の行移しの場合、行末のつなぎ符としてのハイフンを用いて、単語の途中で行を移すことができる区切り目を知ったり、点字略字の正しい使い方を知るためにも音節の区切り方を学ぶことは重要である。そこで、音節の区切り方の規則の主なものを次に示すこととする。

※ 用例中のハイフン  は、音節の区切り目を示している。

### ア 一音節の単語

一つの音節から成る単語は、切り離してはならない。すなわち、単語の綴りがどんなに長い場合でも、また、母音字 (a, e, i, o, u のこと) が二つ以上ある場合でも、ひと続きに発音する母音 (長母音や二重母音などを含む) が一つしかない単語は、一音節単語であるから途中で切ってはならない。

(例)      
 boy            cat            feet            foot  
    
 leaves            likes            through

### イ 一つの母音を表す複数の母音字

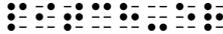
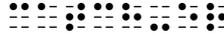
二つ以上の母音字が一緒になって一つの母音として一音節に発音されるときは、これらの母音字の間では区切ってはならない。

(例)     
 beau-ty            de-li-cious            ei-ther  
   
 pleas-ure            re-ceive

### ウ 一つの子音を表す複数の子音字

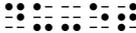
二つ以上の子音字 (母音字以外の 2 1 の文字) が一緒になって一つの子音を表したり、あるいはそれらがともに発音されないとき、それらの子音字を切り離し

てはならない。

(例)     
fa-ther                  graph-ic                  high-er  
   
pitch-er                  catch-er

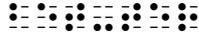
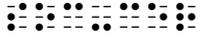
#### エ 二つの母音を表す二つの母音字

母音字が二つ連続していても各々が別の母音を表すときは、両者の間に音節の切れ目がある。

(例)      
di-al                  du-et                  po-em                  re-al  
   
ra-di-o                  the-a-ter

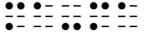
#### オ 区切られる複数の子音字

子音字が二つ以上連続している場合、それらが別の音節を表すか、または、その一つが発音されないときは、その間を切り離してよい。

(例)     
bet-ter                  bor-row                  ex-press  
   
mem-ber                  soc-cer

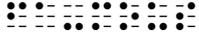
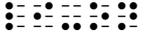
#### カ 長母音を表す母音字

一つの母音字が長母音に発音される時、次を区切ることができる。

(例)     
fa-ther                  ma-ma                  pa-pa  
   
se-cret                  stu-dent

#### キ 二重母音を表す母音字

一つの母音字が二重母音に発音される時、その母音字と次の字との間に音節の切れ目がある。

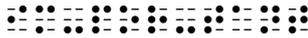
(例)     
fa-mous                  li-on                  na-ture  
     
o-ver                  po-ta-to                  ra-di-o                  ta-ble



li-brar-y

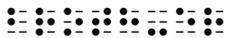
ク 長母音か二重母音の直後の r

長母音あるいは二重母音のすぐ次の r は、次に子音が来るときは前の音節に、次に母音が来るときは後ろの音節に入れて切り離される。

(例)  im-por-tant       me-mo-ri-al

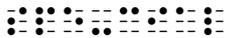
コ アクセントのある短母音を表す母音字

母音字が短母音の発音をし、それにアクセントがあるときは、その次の子音字をその音節に含めて綴りを切る。

(例)  broth-er       drag-on       moth-er  
 nev-er       sec-ond

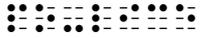
サ 通則コの例外

アクセントのある短母音を表す母音字でも、その次の子音字が [ʃ], [dʒ] の発音をするときは、その子音字は後ろの音節に入れて綴りを切る。

(例)  mu-si-cian       na-tion-al  
 pi-geon       re-li-gion  
 spe-cial

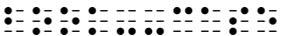
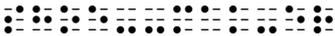
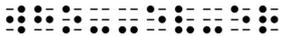
シ アクセントのない短母音を表す母音字

母音字が短母音の発音をしても、それにアクセントがないときは、その次の子音字は、次の音節に入れて綴りを切る。

(例)  a-bout       de-cide       e-ras-er  
 po-lice

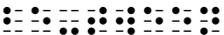
## ス 合成語

合成語は、もとの単語に切り離してよい。なお、区切り目をダッシュで示す。

- (例)    
book - case                      class - mate  
   
o-ver - time                      high - way  
   
shoe - mak-er                      who - e-er

## セ 接頭辞

接頭辞は、語根から切り離してよい。

- (例)     
a-live                      be-tween                      dis-like  
  
un-hap-py

## ソ 接尾辞

接尾辞は、語根から切り離してよい。

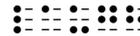
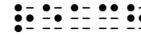
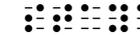
- (例)     
child-hood                      care-ful                      farm-er  
   
kind-ness                      hand-some

## タ 動詞や形容詞の語尾の-ed

(a) [ i d ] と発音するときは、綴りを切ってよい。

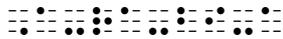
- (例)     
hand-ed                      need-ed                      visit-ed  
   
wait-ed                      want-ed

(b) [ d ] または [ t ] と発音するときは、綴りを切ってはならない。

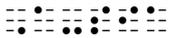
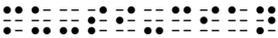
- (例)     
cried                      killed                      laughed  
    
passed                      reached                      stayed

## チ ia と音節の区切り目

(a) i と a が別々な母音として発音される時は、その間を区切る。

(例)    
A-ra-bi-a                      Aus-tri-a  
  
ma-te-ri-al

(b) i が発音されないときは、i と a は区切ってはならない。

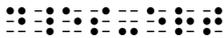
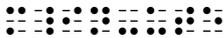
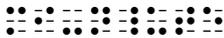
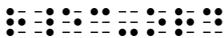
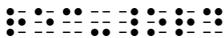
(例)    
A-sia                      mu-si-cian

(c) 発音により使い分けることもある。

(例)    
Por-ti-a                      Por-tia

## ツ 品詞の異なる同じ綴りの語

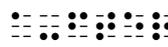
同じ綴りの語でも、品詞又は意味の相違で、アクセントと発音に変化が生ずる場合には、音節の切り方にも変化を生ずるものである。

(例)    
d é s - e r t                      d e - s é r t  
(名詞) 砂漠                      (他動詞) 見捨てる  
   
m í n - u t e                      m i - n ú t e  
(名詞) 一分                      (形容詞) くわしい  
   
p r é s - e n t                      p r e - s é n t  
(名詞) 贈り物                      (他動詞) 贈る  
   
r é c - o r d                      r e - c ó r d  
(名詞) 記録                      (他動詞) 記録する

## テ 通則適用の判断

通則のオ、カ、キを適用すべきか、又はス、セを適用すべきかについて判断に苦しむ場合には、その都度辞書で確かめる必要がある。参考のため適用例を示すが、次に併記する同じ語の前は正しく、後ろは誤った適用である。なお、括弧内の数字は通則番号を示す。

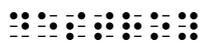
(例)

	
aft-er	a-fter
セ 正	カ 誤
	
jus-tice	just-ice
キ 正	セ 誤
	
lunch-eon	lun-cheon
セ 正	オ 誤

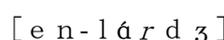
ト 音節を越えた母音と子音の結合と区切り目の判断

母音と子音の音節を越えた結合による発音に引かれて、綴りの切り方に間違いを生ずることがあるが、接頭辞や接尾辞の知識で間違いを防げる。参考のため、de, dis, en, un の接頭辞による分け綴りを示す。なお、4語ともに、左から見出し語、発音記号、正しい区切り方、誤った区切り方の順序で例示する。

(例)

	
destroy	[d i - s t r ɔ i ]
	
(正) de-destroy	(誤) des-troy

	
disagree	[d i s - ə g r i : ]
	
(正) dis-agree	(誤) di-sagree

	
enlarge	[ e n - l ɑ r d ʒ ]
	
(正) en-large	(誤) e-nlarge

	
unhappy	[ u n - h a p - p y ]
	
(正) un-hap-py	(誤) u-nhap-py

ト -sor と s-er

(a) s + or は, -sor となる。

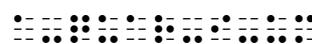
(例)    
ad-vi-sor                      spon-sor

(b) s + er は, s-er となる。

(例)    
ad-vis-er                      e-ra-ser

ナ ari と ary の r

ari と ary の r は, 前又は後ろのいずれに入れてもよい。

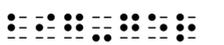
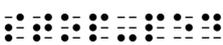
(例)    
a-qua-ri-um                      a-quar-i-um  
   
ca-na-ry                      ca-nar-y

ニ 二つの連続した同一子音字

(a) 原語の語尾で同じ子音字が繰り返されていれば切り離さない。

(例)    
cross-ing                      dress-er

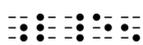
(b) 短母音に続く一つの子音字で終わる単語が, 変化のため語尾の子音字が繰り返された場合には, その子音字は二つに切り分ける。

(例)    
big-ger                      stop-ped  
   
writ-ten                      swim-ming

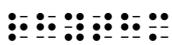
ヌ 例外的通則

(a) 一音節に発音する語でも, 語源からみて綴り字を切ってもよい語がある。

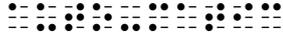
また, 二音節の語で一音節の発音をもつ場合も同様である。

(例)   →   
layer                      [ l é ə r ]                      lay-er  
  →   
perhaps                      [ p r æ p s ]                      per-haps

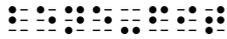
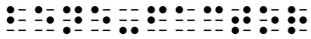
(b) 二音節に発音する語でも, 綴りを切らない語がある。

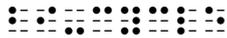
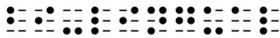
(例)    
prism                      rhythm

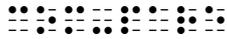


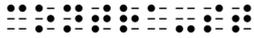
エ auto- 自動の, 自  
(例)    
auto-matic auto-mobile

オ be- 名詞, 形容詞, 動詞からの動詞化  
(例)    
be-friend be-calm

カ bene- 良い, 恩恵  
(例)    
bene-fit bene-factor

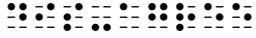
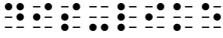
キ bi- 2, 2回, 両方の  
(例)    
bi-cycle bi-lingual

ク co-, com-, con- 共同の, 共通  
(例)    
com-pare con-tinue

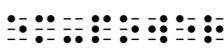
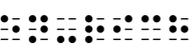
ケ contra- 逆の, 反対  
(例)    
contra-dict contra-st

コ counter- 反対, 逆, 対抗  
(例)   
counter-attack

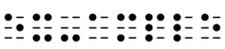
サ de- 奪い取る, 廃止する  
(例)   
de-merit

シ dis- 奪取, 不, 否  
(例)    
dis-agree dis-like

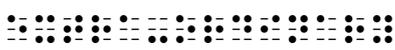
ス em-, en- …の状態にさせる (する)

(例)    
em-power en-rich

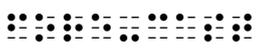
セ ex- 外へ

(例)    
ex-port ex-ample

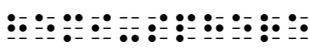
ソ extra- …の外の

(例)   
extra-ordinary

タ fore- …の前の (に)

(例)    
fore-cast fore-head

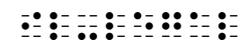
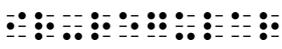
チ hemi- 片方の

(例)   
hemi-sphere

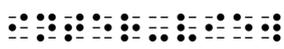
ツ im-, in- 中に (へ)

(例)    
im-port in-door

テ il-, im-, in-, ir- 否定

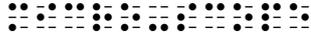
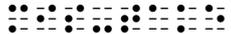
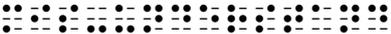
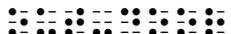
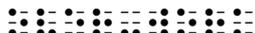
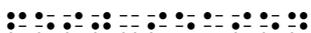
(例)    
il-legal ir-regular

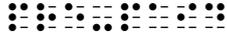
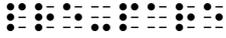
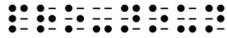
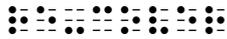
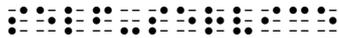
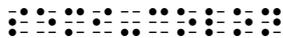
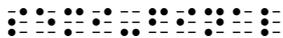
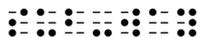
ト inter- の間 (内) に, 相互に (の)

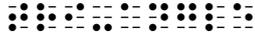
(例)    
inter-national inter-view

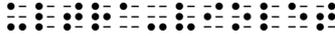
ナ mal- 悪い

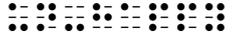
(例)   
mal-treat

- ニ micro- 小さい, 微少な  
 (例)    
 micro-scope micro-wave
- ヌ mis- 誤って, 悪い  
 (例)    
 mis-take mis-understand
- ネ mono- 1, 単 (一) の  
 (例)    
 mono-rail mono-tone
- ノ non- 否定の否..., 無...  
 (例)    
 non-stop non-profit
- ハ out- 外へ (に), ...より多く...する  
 (例)    
 out-door out-grow
- ヒ over- あまりに, 過度に, 越して  
 (例)    
 over-work over-time
- フ pan- すべての, あまねく, 全  
 (例)    
 Pan-Pacific pan-orama
- へ poly- 多くの  
 (例)    
 poly-phenol poly-phony
- ホ post- ...の<sup>のち</sup>後, ...の<sup>あと</sup>後で, ...<sup>ご</sup>後  
 (例)    
 post-script post-season

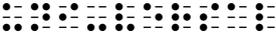
- マ pre- あらかじめ, …<sup>まえ</sup>前の  
 (例)    
 pre-paid pre-prepare
- ミ pro- 代理, 賛成  
 (例)    
 pro-noun pro-Japanese
- ム re- 再び…しなおす  
 (例)    
 re-cover re-form
- メ self- 自ら, 自分で (に, を)  
 (例)    
 self-control self-service
- モ semi- 半分の, 半  
 (例)    
 semi-colon semi-final
- ヤ sub- 下の (位の), 副の  
 (例)    
 sub-way sub-title
- ユ super- 非常に, …の上に, 高度の  
 (例)    
 super-man super-express
- ヨ syl-, sym-, syn- 共に, 同時, 類似, 合わせて  
 (例)    
 sym-phony syn-chronize
- ラ trans- 変えて, 越えて, 横切って, かなた  
 (例)    
 trans-form trans-port

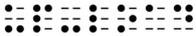
リ tri- 3, 3倍の, 三重の  
(例)     
tri-angle tri-cycle tri-ple

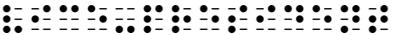
ル ultra- 超えた, 過ぎた  
(例)    
ultra-sonic ultra-violet

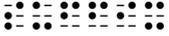
レ un- 打ち消し, 反対  
(例)    
un-happy un-lock

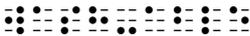
ロ under- 下に (の)  
(例)    
under-line under-throw

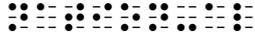
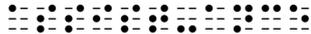
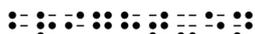
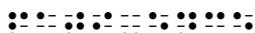
ワ uni- 一つ, 単 (一) の  
(例)    
uni-form uni-versal

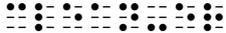
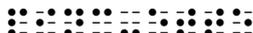
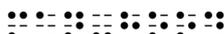
ガ up- 上の方に (の, へ)  
(例)    
up-stairs up-load

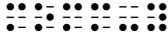
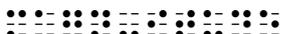
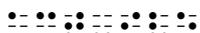
ギ vice- 代理, 副  
(例)    
vice-captain vice-president

接尾辞  (suffix)

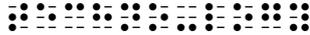
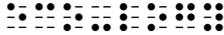
ア -able (-ible) …できる。(形)  
(例)    
port-able wash-able

- イ -al 状態，関係などを表す。(形，名)  
 (例)    
 nation-al music-al
- ウ -ance 行動，状態，性質を表す。(名)  
 (例)    
 assist-ance perform-ance
- エ -ant …性の，…をする。(形)  
 (例)    
 assist-ant inst-ant
- オ -ation 動作や結果の状態を表す。(名)  
 (例)   
 gradu-ation
- カ -cy 職，地位，性質，状態などを表す。(名)  
 (例)    
 fan-cy priva-cy
- キ -ed …した，…もった。(形)  
 (例)    
 frighten-ed unit-ed
- ク -ee …されるもの，…を受けの人。(名)  
 (例)    
 employ-ee train-ee
- ケ -en 形容詞から動詞を作る。(動)  
 (例)    
 bright-en dark-en
- コ -ence 性質，状態などを表す。(名)  
 (例)   
 pati-ence

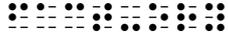
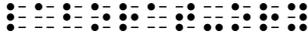
- サ -er …をする人 (物)。(名)  
 (例)    
 teach-er clean-er
- シ -ery 製造所, …業。(名)  
 (例)    
 bak-ery win-ery
- ス -ese …語 (人), …語 (の)。(名, 形)  
 (例)    
 Japan-ese Chin-ese
- セ -ess 女性を表す。(名)  
 (例)   
 princ-ess
- ソ -et 小さいものを表す。(名)  
 (例)   
 pock-et
- タ -ette 小さいものを表す。(名)  
 (例)    
 cigar-ette pinc-ette
- チ -ful …に満ちた, …いっぱい。(形, 名)  
 (例)    
 beauti-ful power-ful
- ツ -hood 状態, 人格を表す。(名)  
 (例)    
 child-hood man-hood
- テ -ic (al) 名詞から形容詞を作る。(形)  
 (例)    
 atom-ic chem-ical

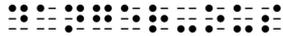
- ト -ie, -y 愛称。(名)  
 (例)    
 cook-ie momm-y
- ナ -ify …にする (なる), …化する。(動)  
 (例)    
 class-ify simpl-ify
- ニ -ine 化学薬品, 女性を表す。(名)  
 (例)    
 caffe-in (e) hero-ine
- ヌ -ish …らしい, … (地名) の。(形)  
 (例)    
 boy-ish Engl-ish
- ネ -ist 人を表す。(名)  
 (例)    
 art-ist pian-ist
- ノ -itis (病気の名前の) …炎。(名)  
 (例)   
 appendic-itis
- ハ -itude 抽象名詞を作る。(名)  
 (例)    
 att-itude magn-itude
- ヒ -ity 形容詞に付けて状態を表す名詞を作る。(名)  
 (例)    
 activ-ity real-ity
- フ -ive 傾向, 性質, 機能を表す。(形)  
 (例)    
 act-ive expens-ive

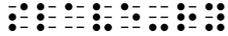
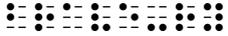
- ヘ -ize …化する。(動)  
 (例) custom-ize memor-ize
- ホ -le 反復を表す。(動)  
 (例) twink-le
- マ -less …のない, …できない。(形)  
 (例) care-less use-less
- ミ -let 小さいもの。(名)  
 (例) book-let leaf-let
- ム -like …らしい, …のような。(形)  
 (例) child-like animal-like
- メ -ling 小さい物, ちっぽけな物。(名)  
 (例) duck-ling
- モ -ly 形容詞や名詞から副詞や形容詞を作る。(副, 形)  
 (例) bad-ly friend-ly
- ラ -ment 結果, 手段, 状態を表す。(名)  
 (例) achieve-ment apart-ment
- リ -ness 性質, 状態を表す。(名)  
 (例) kind-ness happi-ness

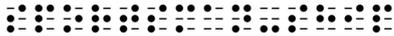
ル -logy …学。(名)  
(例)    
techno-logy                      eco-logy

レ -or …する人(物)。(名)  
(例)    
doct-or                      elevat-or

ロ -ory …所, …場。(名)  
(例)    
fact-ory                      laborat-ory

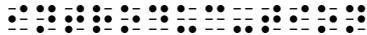
ガ -ous 名詞から形容詞を作る。(形)  
(例)    
danger-ous                      fam-ous

ギ -ry 状態, 性質, 学術を表す。(名)  
(例)     
slave-ry                      brave-ry                      chemist-ry

グ -ship 状態や役割を表す。(名)  
(例)    
friend-ship                      sportsman-ship

ゲ -sion 動作又は状態を表す。(名)  
(例)   
vi-sion

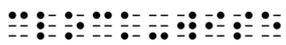
ゴ -some 傾向, 性質, 状態を表す。(名)  
(例)    
trouble-some                      lone-some

ザ -tion 状態や動作の結果を表す。(名)  
(例)    
introduc-tion                      ques-tion

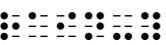
ジ -ward(s) …の方へ。(副)

(例)    
after-ward(s) back-ward

ズ -wise …のように。(副)

(例)   
clock-wise

ゼ -y 名詞から形容詞を作る。(形)

(例)    
luck-y rain-y





- (c) □⠠□や□⠠□などが、単語の一部を短縮する点字略字として用いられる場合については、後に学ぶ。
- (d) "b but, but b" などと、唱えて記憶するのもよい。

⑨ 点字略字の解説 II

ア 2マスの短縮語 (Two-cell Initial-letter Contractions)

(a) 5の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — day    ⠠⠠ — ever    ⠠⠠ — father  
 ⠠⠠ — here    ⠠⠠ — know    ⠠⠠ — lord (君主)  
 ⠠⠠ — mother    ⠠⠠ — name    ⠠⠠ — one  
 ⠠⠠ — part    ⠠⠠ — question    ⠠⠠ — right  
 ⠠⠠ — some    ⠠⠠ — time    ⠠⠠ — under  
 ⠠⠠ — work    ⠠⠠ — young    ⠠⠠ — there  
 ⠠⠠ — character (性格)    ⠠⠠ — through  
 ⠠⠠ — where    ⠠⠠ — ought (ought to~ …すべきである)

(b) 4・5の点と組み合わせるもの

⠠⠠⠠ — upon    ⠠⠠⠠ — word    ⠠⠠⠠ — these  
 ⠠⠠⠠ — those    ⠠⠠⠠ — whose

(c) 4・5・6の点と組み合わせるもの

⠠⠠⠠ — cannot    ⠠⠠⠠ — had    ⠠⠠⠠ — many  
 ⠠⠠⠠ — spirit (精神)    ⠠⠠⠠ — world    ⠠⠠⠠ — their

イ 使い方

これらの33語は、前置点と頭文字との2マスで表した短縮語である。これらの前後ろは、1マスあける。ただし、次の場合は、マスあけしない。

- (a) コンマ, セミコロン, コロン, ピリオドなどの句読符とは続ける。
- (b) 大文字, イタリック符などの点字独特の記号とは続ける。
- (c) これらが語の一部であっても、元の発音を残し、意味が不明瞭にならない場合は、これらを他の綴りと続けて用いることができる。

(使い方の例)

⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠

→ Do you know the name of my mother?

(あなたは、ぼくの母の名前を知っていますか。)

⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ Their father had many younger sisters.

(彼らの父親には、妹がたくさんいました。)

⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ There are some people under the tree.

(その木の下に何人かの人があります。)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

→ Those people cannot go there.  
(あの人たちは、そこへ行けません。)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

→ These people are very young.  
(この人たちは、とても若い。)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

→ Many boys and girls are here and there .  
(たくさんの男の子や女の子があちこちにいます。)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ All right, Mother!  
(いいよ、お母さん。)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

→ Where do you come from? Where do you go?  
(どこから来て、どこへ行くの。)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ Once upon a time, there was an old man.  
(むかし、むかし、ひとりのおじいさんがいました。)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

→ Whose one is this?  
(これは、だれのものですか。)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ The dog ran through the woods.  
(その犬は、森を走り抜けた。)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ I cannot work there.  
(私は、そこでは働けない。)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ Have you ever seen the young man?  
(今までにその青年に会ったことがありますか。)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ May I ask you a question?  
(質問してもいいですか。)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

→ Asia is a part of the world.  
(アジアは、世界の一部です。)





## ⑩ 点字略字の解説Ⅲ

### 1 マスと 2 マスの短縮部

#### ア 1 マスの短縮部 (One-cell Part-word Contractions)

- (a) 1 マスの短縮部の中で、他に優先して用いられるもの

⠠ — and    ⠠ — for    ⠠ — of    ⠠ — the  
⠠ — with

- (b) 原則として、音節をまたがない限り、単語のどの部分にも用いるもの

⠠ — ch    ⠠ — gh    ⠠ — sh    ⠠ — th    ⠠ — wh  
⠠ — ed    ⠠ — er    ⠠ — ou    ⠠ — ow    ⠠ — st  
⠠ — ar    □⠠□ — en    □⠠□ — in

- (c) 単語のはじめの部分には用いないもの

⠠ — ble    ⠠ — ing

#### イ 2 マスの短縮部 (Two-cell Final-letter Contractions)

- (a) 4・6の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — ound    ⠠⠠ — ance    ⠠⠠ — sion  
⠠⠠ — less    ⠠⠠ — ount

- (b) 5・6の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — ence    ⠠⠠ — ong    ⠠⠠ — ful  
⠠⠠ — tion    ⠠⠠ — ness    ⠠⠠ — ment    ⠠⠠ — ity

- (c) 6の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — ation    ⠠⠠ — ally

#### ウ 使い方

これら34の短縮部は、単語の中のそれに対応する綴り字を、1マスか2マスの記号に縮めて表すために用いられる。これらは、原則として同一の音節内で用いられ、接頭辞と語根の間、語根と接尾辞の間及び複合語の各要素の間をまたいでは用いられない。

さらに、これらの使用が、発音や意味の理解を妨げる場合には用いない。また、同じ場所で2つ以上の短縮部の使用が可能な場合には、マス数を節約できる方が選ばれる。マス数が同じであれば1マスの短縮部が優先される。中でも、and, for, of, the, withの短縮部は、他に優先して用いる。

これらの1マスと2マスの短縮部は、一部の例外を除いて、原則として句読符や点字独特の記号と続けて用いる。これらの使い方の細目は次のとおりである。

(a) 1 マスの短縮部の場合

and, for, of, the, with の短縮部は、単語のはじめの部分、単語の中の部分及び単語の後ろの部分のどの部分にも用いることができる。また、2つ以上の短縮部が用いられる可能性があるときは、節約できるマス数が同じ場合、これらが優先して用いられる。これらの5つの点字略字の短縮語としての用法は、既に点字略字の解説 I で説明されている。これらは1マスの短縮語として用いられる場合も、1マスの短縮部として用いられる場合もこれらに対応する綴り字は、全く同じであるが、用法は異なるので、混同しないように注意する必要がある。

(使い方の例)

⠠⠠⠠⠠⠠ — Andrew    ⠠⠠⠠⠠ — candy    ⠠⠠ — hand  
⠠⠠ — form (型)    ⠠⠠⠠⠠⠠ — effort (努力)    ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ — office  
⠠⠠⠠⠠ — soft    ⠠⠠⠠⠠ — roof (屋根)    ⠠⠠ — then  
⠠⠠⠠⠠ — other    ⠠⠠⠠⠠ — without (…なしに)

(使ってはならない例)

professor (pro-fes-sor) (教授) を ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ と書いてはならない。

(※音節注意)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (southeast) は複合語であるから、そのつなぎ目をまたいで ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ とは書けない。

(b) ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ の8つは、これらで表される短縮語と短縮部の用法は異なる。また、⠠⠠⠠⠠⠠以外の7つは、短縮される綴り字の範囲も、短縮語と短縮部で異なっている。ch, gh, sh, th, wh, ed, er, ou, ow, st, ar, en, in の短縮部は単語のはじめの部分、単語の中の部分及び単語の後ろの部分のどの部分にも用いることができる。ただし、en, in の短縮部と短縮部などの下がり記号が2つ以上続く場合には前か後ろに1の点か4の点、又は1・4の点を含む記号がない限り、en, in を表す短縮部を用いない。

(使い方の例)

⠠⠠⠠⠠⠠ → church  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → childlike (子供らしい)  
⠠⠠⠠⠠ → ghost (幽霊)    ⠠⠠⠠⠠⠠ → eight  
⠠⠠ → she    ⠠⠠⠠⠠ → wash  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → fisherman (漁師)  
⠠⠠⠠⠠⠠ → three    ⠠⠠⠠⠠⠠ → teeth (歯の複数形)  
⠠⠠⠠⠠ → what    ⠠⠠⠠ → who  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → educate (教育する)  
⠠⠠⠠⠠⠠ → liked    ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → catcher  
⠠⠠⠠⠠ → touch    ⠠⠠ → our

㊦㊦ → own (…自身の)      ㊦㊦ → how  
 ㊦㊦㊦ → best      ㊦㊦㊦㊦ → sister  
 ㊦㊦㊦ → start      ㊦㊦ → arm  
 ㊦㊦㊦㊦ → aren't      ㊦㊦㊦㊦㊦ → weren't  
 ㊦㊦㊦㊦㊦ → haven't      ㊦㊦㊦㊦㊦ → English  
 ㊦㊦㊦ → often      ㊦㊦ → ink      ㊦㊦㊦ → think  
 ㊦㊦㊦   ㊦㊦㊦㊦㊦   ㊦㊦   ㊦㊦㊦㊦   ㊦   ㊦㊦㊦   ㊦㊦㊦㊦

→ Her dress is made of fine linen.

(彼女のドレスは、上等の麻で作られている。)

(使ってはならない例)

㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦ (lighthouse) は、複合語であるから、そのつなぎ目をまたいで、㊦㊦㊦㊦㊦㊦ とは書けない。

㊦㊦㊦㊦㊦㊦ (mistake) の接頭辞と語根の間をまたいで、㊦㊦㊦㊦㊦㊦ とは書けない。

㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦ (grasshopper) (grass-hopper) (きりぎりす) は、複合語であるから、そのつなぎ目をまたいで、㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦ とは書けない。

㊦㊦㊦㊦㊦㊦ (rawhide) (生皮) も、同じく㊦㊦㊦㊦㊦㊦ とは書けない。

㊦㊦㊦㊦㊦㊦ (freedom) (自由) の語根と接尾辞の間をまたいで、㊦㊦㊦㊦㊦㊦ とは書けない。

㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦ (stateroom) (state-room) (特等室) は、複合語であるから、そのつなぎ目をまたいで、㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦ とは書けない。

㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦ (phoenix) (不死鳥) は、音節をまたいで㊦㊦㊦㊦㊦㊦ とは書けない。

(c) b l e , i n g を表す短縮部は、単語のはじめには用いない。単語の中の部分、単語の後ろの部分及び2行にまたがる単語の次の行のはじめには用いる。ただし、接頭辞が加わって単語の中の部分になった場合には、もとの形を変えないため用いない。

(使い方の例)

㊦㊦ → able      ㊦㊦㊦ → standing

㊦㊦㊦ → singing      ㊦㊦㊦ → table

㊦㊦㊦㊦㊦ (※そこで行替えする場合)

㊦ → morning

㊦㊦㊦㊦ (※そこで行替えする場合)

㊦ → Bible (聖書)

(使ってはならない例)

㊦㊦㊦㊦㊦㊦ (blemish) (きず) の ble は、語のはじめだから ㊦㊦㊦㊦ とは書け

ない。

(d) 2マスの短縮部の場合

2マスの短縮部は、単語のはじめには用いない。単語の中の部分、単語の後ろの部分及び2行にまたがる単語の次の行のはじめに用いる。ただし、ハイフンやアポストロフィーの後及び接頭辞が加わって、単語の中の部分になった場合には用いない。また、2マスの短縮部は、短縮語として語全体を表すために用いることは決してない。

(使い方の例)

⠠⠠⠠⠠ → round    ⠠⠠⠠⠠ → sound    ⠠⠠⠠⠠ → dance

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → assistance (手伝い)

⠠⠠⠠⠠⠠ → danced    ⠠⠠⠠⠠⠠ → dancer

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → television (テレビ)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → useless (役に立たない)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → mountain

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → country

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → science

⠠⠠⠠⠠⠠ → longer    ⠠⠠⠠⠠ → song

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → wonderful (すばらしい)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → faithfully (忠実に)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → section

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → usefulness (有用)

⠠⠠⠠⠠⠠ → moment (瞬間)    ⠠⠠⠠⠠ → city

⠠⠠⠠⠠ → station    ⠠⠠⠠⠠⠠ → really

⠠⠠⠠⠠⠠ → finally (最後に)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (※ここで行替えする場合)

⠠⠠⠠ → vitality (活力)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (※ここで行替えする場合)

⠠⠠⠠⠠⠠ → fundamental (根本的な)

(使ってはならない例)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (ancestor) (先祖) の ance は、語のはじめだから、

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠とは書けない。

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (lesson) も ⠠⠠⠠⠠⠠⠠とは書けない。

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (fulfill) (果たす) も、同じく ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠とは書けない。

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (grey'ound) (グレーハウンド種の) の ound は、アポストロフィーの後だから、⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠とは書けない。

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (com-pli-ment) (おせじ) の ment は、ハイフンの後



⑪ 点字略字の解説IV

ア 省略語 (Abbreviations) 1

(a) 最初の2マスを残して後ろを省略する場合

- ⠠⠠ — about  
⠠⠠ — according (accoding to~ …によれば)  
⠠⠠ — after ⠠⠠ — again ⠠⠠ — also  
⠠⠠ — because ⠠⠠ — before  
⠠⠠ — behind (…の後ろに) ⠠⠠ — below (下の方に)  
⠠⠠ — beneath (…の下に)  
⠠⠠ — beside (…のそばに)  
⠠⠠ — between ⠠⠠ — beyond (…の向こうに)  
⠠⠠ — blind (目の見えない) ⠠⠠ — either  
⠠⠠ — friend

(b) 骨組みだけを残して、母音などを省略する場合

- ⠠⠠ — children ⠠⠠ — could  
⠠⠠ — first ⠠⠠ — good  
⠠⠠ — him ⠠⠠ — its  
⠠⠠ — letter ⠠⠠ — little  
⠠⠠ — much ⠠⠠ — must  
⠠⠠ — paid (支払った) ⠠⠠ — quick  
⠠⠠ — said ⠠⠠ — should  
⠠⠠ — such ⠠⠠ — today  
⠠⠠ — tomorrow ⠠⠠ — tonight  
⠠⠠ — would ⠠⠠ — your  
⠠⠠⠠ — above (…の上に) ⠠⠠⠠ — afternoon  
⠠⠠⠠ — afterward (後で)  
⠠⠠⠠ — against (…に向かって)  
⠠⠠⠠ — braille (点字) ⠠⠠⠠ — great  
⠠⠠⠠ — together

イ 使い方

これら43語の省略語は、ひと続きに書き、行末でも切らない。また省略語の後ろは、1マスあける。ただし、次の場合は、マスあけしない。

- (a) コンマ、セミコロン、コロンの句読符とは続ける。  
(b) 大文字、イタリック符などの点字独特の記号とは続ける。  
(c) これらから派生した語の場合など、発音や意味を不明瞭にしない限り、接頭

辞や接尾辞と続けて用いる。その際、その派生語が行末に書ききれないときには、つなぎ目で切り、行末にハイフンを添えるが、省略語そのものは2行に分けてはならない。

(使い方の例)

⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

→ Your friend must run after him.

(あなたの友達は、彼を追いかけねばならない。)

⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠

→ Their children will go there before lunch tomorrow.

(彼らの子供たちは、明日昼食前にそこへ行くだろう。)

⠠⠠⠠⠠⠠ → besides (その上)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → blindfold (目かくしをする)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → friendly (親しい)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → good-by

⠠⠠⠠⠠⠠ → letters

⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → mustn't

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → quicken (いそがせる)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → hereafter (今後)

⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → yours

(使ってはならない例)

drafter [d r æ f t ə r] (draft-er) (製図器) を ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ と書いてはならない。

(※音節注意)

shoulder [ʃ ó u l d ə r] (肩) を ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ と書いてはならない。

(※発音注意)

## ウ 学習のヒント

- (a) 省略語の使い方は、2マスの短縮語と原則的には同じである。
- (b) 省略語を読み、その綴りを言ったり、逆に綴りを読みながら省略語を言うなどして記憶するのもよい。
- (c) 省略語1は数も多いが、教科書に出てきた順序に記憶しておくのもよい方法である。
- (d) 意味と関連させて整理するのもよい。

(参考例)

⠠⠠⠠ (blind)      ⠠⠠⠠⠠⠠ (braille)

⠠⠠ (child)      ⠠⠠⠠⠠ (children)

⠠⠠ (can)      ⠠⠠⠠⠠ (could)      ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (couldn't)

ㄩ (shall)      ㄩ (should)      ㄩ (shouldn't)  
 ㄩ (will)      ㄩ (would)      ㄩ (wouldn't)  
 ㄩ (little)      ㄩ (much)      ㄩ (many)      ㄩ (more)  
 ㄩ (after)      ㄩ (before)  
 ㄩ (between)      ㄩ (behind)      ㄩ (beside)  
 ㄩ (below)      ㄩ (beneath)      ㄩ (under)  
 ㄩ (say)      ㄩ (said)  
 ㄩ (pay)      ㄩ (paid)  
 ㄩ (today)      ㄩ (tomorrow)      ㄩ (tonight)

⑫ 点字略字の解説 V

ア 省略語 (Abbreviations) 2

(a) 最初の 3 マスを残して、後ろを省略する場合

⠠⠠⠠⠠	— across	⠠⠠⠠⠠	— almost
⠠⠠⠠⠠	— already	⠠⠠⠠⠠	— always
⠠⠠⠠⠠	— altogether (全く)		
⠠⠠⠠⠠	— although (…だけれども)		
⠠⠠⠠⠠	— immediate (直接の)		
⠠⠠⠠⠠	— necessary (必要な)		
⠠⠠⠠⠠	— neither (neither A nor B AもBも～ない)		
⠠⠠⠠⠠	— o'clock		
⠠⠠⠠⠠	— perhaps (たぶん)		

(b) … self, … selves が付く語の一部を省略する場合

⠠⠠⠠⠠	— myself	⠠⠠⠠⠠	— yourself
⠠⠠⠠⠠	— himself	⠠⠠⠠⠠	— herself
⠠⠠⠠	— itself	⠠⠠⠠⠠	— oneself
⠠⠠⠠⠠	— thyself (汝自身)		
⠠⠠⠠⠠⠠	— ourselves		
⠠⠠⠠⠠⠠	— yourselves		
⠠⠠⠠⠠⠠	— themselves		

(c) e を省いて現在分詞を作る語の一部を省略する場合

⠠⠠⠠⠠	— conceive (思いつく)		
⠠⠠⠠⠠⠠	— conceiving		
⠠⠠⠠⠠	— deceive (だます)	⠠⠠⠠⠠⠠	— deceiving
⠠⠠⠠⠠	— declare (宣言する)	⠠⠠⠠⠠⠠	— declaring
⠠⠠⠠⠠⠠	— perceive (気がつく)	⠠⠠⠠⠠⠠⠠	— perceiving
⠠⠠⠠⠠	— receive (受け取る)	⠠⠠⠠⠠⠠	— receiving
⠠⠠⠠⠠	— rejoice (喜ばせる)	⠠⠠⠠⠠⠠	— rejoicing

イ 使い方

これら 33 語の省略語も、ひと続きに書き、行末でも切らない。また省略語の前  
後ろは、1 マスあける。ただし、次の場合は、マスあけしない。

- (a) コンマ、セミコロン、コロンの句読符とは続ける。
- (b) 大文字、イタリック符などの点字独特の記号とは続ける。
- (c) これらから派生した語の場合など、発音や意味を不明瞭にしない限り、接頭辞



⠠⠠⠠ (either)      ⠠⠠⠠⠠⠠ (neither)  
⠠⠠ (can)      ⠠⠠⠠ (could)      ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (couldn't)  
⠠⠠ (shall)      ⠠⠠⠠ (should)      ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (shouldn't)  
⠠⠠ (will)      ⠠⠠⠠ (would)      ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (wouldn't)  
⠠⠠⠠ (little)      ⠠⠠⠠ (much)      ⠠⠠⠠ (many)      ⠠⠠ (more)  
⠠⠠⠠ (after)      ⠠⠠⠠ (before)  
⠠⠠⠠ (between)      ⠠⠠⠠ (behind)      ⠠⠠⠠ (beside)  
⠠⠠⠠ (below)      ⠠⠠⠠ (beneath)      ⠠⠠⠠ (under)  
⠠⠠⠠⠠⠠ (already)      ⠠⠠⠠⠠⠠ (always)  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (sometimes)  
⠠⠠⠠ (ever)      ⠠⠠⠠⠠⠠ (never)  
⠠⠠⠠⠠⠠ (say)      ⠠⠠⠠⠠ (said)  
⠠⠠⠠⠠⠠ (pay)      ⠠⠠⠠⠠ (paid)  
⠠⠠⠠⠠ (today)      ⠠⠠⠠⠠ (tomorrow)      ⠠⠠⠠⠠ (tonight)  
⠠⠠ (you)      ⠠⠠⠠ (your)      ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (yours)  
⠠⠠⠠⠠⠠ (yourself)      ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (yourselves)  
⠠⠠ (it)      ⠠⠠⠠ (its)      ⠠⠠⠠⠠ (itself)  
⠠⠠⠠⠠ (they)      ⠠⠠⠠⠠ (their)      ⠠⠠⠠⠠ (them)  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (themselves)





⑭ 点字略字の解説 VII

ア 下がり記号の短縮部 (Part-word Lower-sign Contractions)

- (a) 単語の始めの部分にだけ用いるもの

⠠⠃⠠ — be    ⠠⠎⠠ — con    ⠠⠔⠠ — dis  
 ⠠⠎⠠ — com

- (b) 単語の中の部分にだけ用いるもの

⠠⠠⠠⠠ — ea    ⠠⠠⠠⠠ — bb    ⠠⠠⠠⠠ — cc  
 ⠠⠠⠠⠠ — dd    ⠠⠠⠠⠠ — ff    ⠠⠠⠠⠠ — gg

イ 使い方

句読符と同じように、1の点も4の点も含んでいない下がり記号の短縮語は、互いに続けられないことを既に学んでいる。en と in の綴り字を表す2つの短縮部だけは、下がり記号であっても、制限つきではあるが、他の1マスの短縮部と共に単語の終わりの部分にも用いることができた。しかしながら、ここで扱う10個の下がり記号の短縮部は、単語のはじめか中のどちらか一つの部分にしか使えず、その用法も厳しく制限されている。

- (a) be, con, dis を表す短縮部は、単語のはじめか2行にまたがる単語の次の行のはじめの音節に用いる。さらに、複合語のハイフンの後ろ及びダッシュやアポストロフィーの後ろに続けて用いる。また、大文字やイタリック符の後ろに続けて用いる。

なお、これらは、単語のはじめの部分にだけ用いるものであるから、ハイフンの後ろや次の行のはじめにこれらの綴りだけがきてその単語が終わる場合には用いない。

(使い方の例)

⠠⠃⠠⠠⠠⠠ → believe  
 ⠠⠔⠠⠠⠠⠠ → discover (発見する)  
 ⠠⠎⠠⠠⠠⠠ → concert (コンサート, 演奏会)  
 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ → self-control (自制)

(使ってはならない例)

⠠⠃⠠⠠ (best) の be は、独立した1音節ではないので、⠠⠃⠠とは書けない。  
 ⠠⠔⠠⠠ (dish) も、同じく⠠⠔⠠とは書けない。  
 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ (unbelievable) (信じられない) の be は、接頭辞の un と結合して、語の中の部分となったので、⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠とは書けない。

- (b) com を表す短縮部は、語のはじめか、2行にまたがる単語の次の行のはじめに用いる。

この場合、com だけで1音節を構成していなくてもよい。また、大文字やイタリック符と続けて用いる。この記号は、同じ点から構成されているので、ハイフン、ダッシュ、アポストロフィーと続けては用いられない。

(使い方の例)

ˌˌˌ → come      ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ → computer

ˌˌˌˌˌ → comment (簡単な注釈や批評)

- (c) bb, cc, dd, ff, gg を表す5個の短縮部は、単語の中だけに用い、単語のはじめの部分や終わりの部分には用いられない。接頭辞や複合語を構成する要素が前に来たり、接尾辞のうち、ed, en, er, ing が後ろに続いたため、これらが単語の中ほどに来た場合は用いてもよい。これらは、意味の理解を妨げない限り、接頭辞と語根の間の音節をまたいで使用してもよい。しかし、複合語の要素の間及び語根と接尾辞の間はまたがない。さらに、ハイフンやアポストロフィーとは続けて用いない。

(使い方の例)

ˌˌˌˌˌ → added (付け加えた)      ˌˌˌˌˌ → eggs

ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ → different

ˌˌˌˌˌˌ → hobby (趣味)

ˌˌˌˌˌˌ → bigger

ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ → address (住所)

ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ → accident

ˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌ → difficult

(使ってはならない例)

ˌˌˌˌˌ (add) の dd は、語の終わりの部分であるから、ˌˌˌˌˌ とは書けない。

ˌˌˌˌˌ (egg) も、ˌˌˌˌˌ とは書けない。

ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ (wedding) (結婚式) の dd は、語根と接尾辞の間の音節をまたいでいるから、ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ とは書けない。

ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ (effort) の場合、マス数が増えるので、ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ とは書けない。

ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ (office) の of は ff に優先されるので、ˌˌˌˌˌˌˌˌˌ とは書けない。

ˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌ (ebb-tide) (引き潮) の bb は、ハイフンと続いているのでˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌˌ とは書けない。

- (d) ea を表す短縮部は、単語の中だけに用い、単語のはじめの部分や単語の後ろの部分には用いない。接尾辞を加えたり、複合語の要素が後ろに来て、単語の中の部分となれば、これを用いるが、逆に、接頭辞や複合語の要素が前に来て、単語の中の部分となった場合は、これを用いない。接頭辞と語根、語根と接尾辞及び複合語の各要素間などの音節を越えてこれを用いない。さらに、ハイフンやアポストロフィーとは続けない。

(使い方の例)

⋮⋮⋮ → mean    ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → beautiful  
⋮⋮⋮⋮⋮ → teacup    ⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ → seashore (海岸)

(使ってはならない例)

⋮⋮⋮ (eat) の ea は、語のはじめの部分であるから、⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮ (tea) の ea は、語の後ろの部分であるから、⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (southeast) の ea は、複合語の要素が前に来て、単語の中の部分となったのであるから、⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (uneasy) (不安な) の ea は、接頭辞が前にきて、単語の中の部分となったものであるから、⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (changeable) (変更可能の) の ea は、語根と接尾辞の間の音節をまたいでいるので、⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (pineapple) (パイナップル) の ea は、複合語の各要素の間の音節をまたいでいるので、⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮ (year) の ar は、ea より優先されるので、⋮⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮⋮⋮ (theater) の the も、ea より優先されるので、⋮⋮⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (sea-snake) (海へび) の ea は、ハイフンとつながっているため、⋮⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。  
⋮⋮⋮⋮⋮⋮ (sou'east) (southeast の短縮形) の ea は、アポストロフィーとつながっているため、⋮⋮⋮⋮⋮⋮とは書けない。

## ウ 学習のヒント

下がり記号の短縮語と短縮部を、句読符と共に前後ろのマスあけの関係で関連付けて整理するとよい。

2の点は、前に続けるとコンマになり、前後ろに続けると ea の短縮部となる。しかし後ろにだけ続けたり、前後ろをあけたりする場合はない。

2・3の点は、前に続ければセミコロン、前後ろに続けると bb の短縮部、後ろに続けると be の短縮部、前後ろをあけると be の短縮語となる。

2・5の点は、前に続けるとコロン、前後ろ続きが cc の短縮部、後ろ続きは con の短縮部となるが、前後ろあけはない。

また、2・5・6の点も、前続きは終止符、前後ろ続きは dd、後ろ続きは dis の短縮部で、前後ろあけはない。

2・6の点は、前、前後ろ又は後ろに続ければ、en の短縮部となり、前後ろあけは enough の短縮語となる。

2・3・5の点は、前に続ければ感嘆符、前後ろ続きが ff の短縮部、後ろ続きは to の短縮語であるが、前後ろあけはない。

2・3・5・6の点は、前に続ければ閉じ括弧、前後ろ続きは **gg** の短縮部、後ろ続きは開き括弧となり、前後ろあけは **were** の短縮語となる。

2・3・6の点は、前に続けば疑問符、後ろに続けばコーテーションマークの開き、前後ろあけは **his** の短縮語となるが、前後ろに続けるのはインナーコーテーションマークの開き程度である。

3・5の点は、**in** を表すが、前後ろあけは短縮語、その他は短縮部である。

3・5・6の点は、前に続けばコーテーションマークの閉じ記号で、後ろに続ければ **by** の短縮語、前後ろあけは **was** の短縮語となるが、前後ろに続けるのはインナーコーテーションマークの閉じ程度である。

最後に、3・6の点は、前に続けば行末のハイフン、前後ろに続ければ普通のハイフン。後ろに続けるのは **com** の短縮部となるが、前後ろあけはない。

## エ 点字略字を学び終えて

これで、米英で普通に用いられている標準的な英語の点字を学ぶことができた。まず、1年で点字略字を用いない英語の点字を学んだ後、2年以降、点字略字を含む英語の点字を7つの段階に分けて学んだ。最初の3つの段階は、単語全体を1マスや2マスの点字に短縮して表す短縮語と1マスか2マスの点字で、単語の一部を構成する綴り字のグループを短縮して表す短縮部であった。後の4つの段階は、母音などを省略して2～5マスの文字などで単語全体を表す省略語と下がり記号の短縮語と短縮部だった。

なお、これらの7つの段階に点字略字を整理して、次の章に段階別一覧表を掲げた。これで、米英の書籍や雑誌及び盲学校高等部の点字の教科書を自由に読むことができ、英文を速く正確に書くための基礎的能力を習得したことになる。更に、一層正確に書くためには本書の後半に掲載された規則に完全に習熟することが必要である。

⑮ 英語の点字略字段階別一覧表

ア 1マスの短縮語 (One-cell Whole-word Contractions)

(a) アルファベットと同じ形のもの

⠠ — but    ⠠ — can    ⠠ — do  
⠠ — every    ⠠ — from    ⠠ — go  
⠠ — have    ⠠ — just    ⠠ — knowledge  
⠠ — like    ⠠ — more    ⠠ — not  
⠠ — people    ⠠ — quite    ⠠ — rather  
⠠ — so    ⠠ — that    ⠠ — us  
⠠ — very    ⠠ — will    ⠠ — it  
⠠ — you    ⠠ — as

(b) その他の1マスの短縮語

⠠ — and    ⠠ — for    ⠠ — of    ⠠ — the  
⠠ — with    ⠠ — child    ⠠ — shall  
⠠ — this    ⠠ — which    ⠠ — out  
⠠ — still

イ 2マスの短縮語 (Two-cell Initial-letter Contractions)

(a) 5の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — day    ⠠⠠ — ever    ⠠⠠ — father  
⠠⠠ — here    ⠠⠠ — know    ⠠⠠ — lord  
⠠⠠ — mother    ⠠⠠ — name    ⠠⠠ — one  
⠠⠠ — part    ⠠⠠ — question  
⠠⠠ — right    ⠠⠠ — some    ⠠⠠ — time  
⠠⠠ — under    ⠠⠠ — work    ⠠⠠ — young  
⠠⠠ — there    ⠠⠠ — character  
⠠⠠ — through    ⠠⠠ — where    ⠠⠠ — ought

(b) 4・5の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — upon    ⠠⠠ — word    ⠠⠠ — these  
⠠⠠ — those    ⠠⠠ — whose

(c) 4・5・6の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — cannot    ⠠⠠ — had    ⠠⠠ — many  
⠠⠠ — spirit    ⠠⠠ — world    ⠠⠠ — their

ウ 1マスと2マスの短縮部

1マスの短縮部 (One-cell Part-word Contractions)

- (a) 1マスの短縮部の中で、他に優先して用いられるもの

⠠ — and    ⠠ — for    ⠠ — of    ⠠ — the  
⠠ — with

- (b) 原則として、音節をまたがない限り、単語のどの部分にも用いるもの

⠠ — ch    ⠠ — gh    ⠠ — sh    ⠠ — th  
⠠ — wh    ⠠ — ed    ⠠ — er    ⠠ — ou  
⠠ — ow    ⠠ — st    ⠠ — ar    □⠠□ — en  
□⠠□ — in

- (c) 単語のはじめの部分には用いないもの

⠠ — ble    ⠠ — ing

2マスの短縮部 (Two-cell Final-letter Contractions)

- (a) 4・6の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — ound    ⠠⠠ — ance    ⠠⠠ — sion  
⠠⠠ — less    ⠠⠠ — ount

- (b) 5・6の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — ence    ⠠⠠ — ong    ⠠⠠ — ful  
⠠⠠ — tion    ⠠⠠ — ness    ⠠⠠ — ment  
⠠⠠ — ity

- (c) 6の点と組み合わせるもの

⠠⠠ — ation    ⠠⠠ — ally

エ 省略語 (Abbreviations) 1

- (a) 最初の2マスを残して後ろを省略する場合

⠠⠠ — about    ⠠⠠ — according  
⠠⠠ — after    ⠠⠠ — again    ⠠⠠ — also  
⠠⠠ — because    ⠠⠠ — before  
⠠⠠ — behind    ⠠⠠ — below  
⠠⠠ — beneath    ⠠⠠ — beside  
⠠⠠ — between    ⠠⠠ — beyond  
⠠⠠ — blind    ⠠⠠ — either  
⠠⠠ — friend

- (b) 骨組みだけを残して、母音などを省略する場合

⠠⠠ — children    ⠠⠠ — could

𠄎𠄎𠄎 — first    𠄎𠄎𠄎 — good    𠄎𠄎𠄎 — him  
 𠄎𠄎𠄎 — its    𠄎𠄎𠄎 — letter    𠄎𠄎𠄎 — little  
 𠄎𠄎𠄎 — much    𠄎𠄎𠄎 — must    𠄎𠄎𠄎 — paid  
 𠄎𠄎𠄎 — quick    𠄎𠄎𠄎 — said    𠄎𠄎𠄎 — should  
 𠄎𠄎𠄎 — such    𠄎𠄎𠄎 — today  
 𠄎𠄎𠄎 — tomorrow    𠄎𠄎𠄎 — tonight  
 𠄎𠄎𠄎 — would    𠄎𠄎𠄎 — your  
 𠄎𠄎𠄎 — above    𠄎𠄎𠄎 — afternoon  
 𠄎𠄎𠄎 — afterward    𠄎𠄎𠄎 — against  
 𠄎𠄎𠄎 — braille    𠄎𠄎𠄎 — great  
 𠄎𠄎𠄎 — together

オ 省略語 (Abbreviations) 2

(a) 最初の3マスを残して、後ろを省略する場合

𠄎𠄎𠄎 — across    𠄎𠄎𠄎 — almost  
 𠄎𠄎𠄎 — already    𠄎𠄎𠄎 — always  
 𠄎𠄎𠄎 — altogether    𠄎𠄎𠄎 — although  
 𠄎𠄎𠄎 — immediate    𠄎𠄎𠄎 — necessary  
 𠄎𠄎𠄎 — neither    𠄎𠄎𠄎 — o'clock  
 𠄎𠄎𠄎 — perhaps

(b) … self, … selves が付く語の一部を省略する場合

𠄎𠄎𠄎 — myself    𠄎𠄎𠄎 — yourself  
 𠄎𠄎𠄎 — himself    𠄎𠄎𠄎 — herself  
 𠄎𠄎𠄎 — itself    𠄎𠄎𠄎 — oneself  
 𠄎𠄎𠄎 — thyself    𠄎𠄎𠄎 — ourselves  
 𠄎𠄎𠄎 — yourselves  
 𠄎𠄎𠄎 — themselves

(c) e を省いて現在分詞を作る語の一部を省略する場合

𠄎𠄎𠄎 — conceive    𠄎𠄎𠄎 — conceiving  
 𠄎𠄎𠄎 — deceive    𠄎𠄎𠄎 — deceiving  
 𠄎𠄎𠄎 — declare    𠄎𠄎𠄎 — declaring  
 𠄎𠄎𠄎 — perceive  
 𠄎𠄎𠄎 — perceiving  
 𠄎𠄎𠄎 — receive    𠄎𠄎𠄎 — receiving  
 𠄎𠄎𠄎 — rejoice    𠄎𠄎𠄎 — rejoicing

カ 下がり記号の短縮語 (Whole-word Lower-sign Contractions)

(a) 独立して用いるもの

□⋮□ — be    □⋮□ — enough    □⋮□ — were

□⋮□ — his    □⋮□ — in    □⋮□ — was

(b) 次の語に続けて用いるもの

⋮□□ — to    ⋮⋮□□ — into    ⋮□□ — by

キ 下がり記号の短縮部 (Part-word Lower-sign Contractions)

(a) 単語のはじめの部分にだけ用いるもの

⋮□□ — be    ⋮□□ — con    ⋮□□ — dis

⋮□□ — com

(b) 単語の中の部分にだけ用いるもの

□□⋮□□ — ea    □□⋮□□ — bb    □□⋮□□ — cc

□□⋮□□ — dd    □□⋮□□ — ff    □□⋮□□ — gg

⑮ 英語の点字略字アルファベット順一覧表

1マスや2マス, 又は下がり記号の短縮語と短縮部及び省略語のすべてをアルファベット順に整理すると次のとおりである。

about = ⠠⠠⠠⠠⠠

above = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

according = ⠠⠠⠠⠠

across = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

after = ⠠⠠⠠

afternoon = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

afterward = ⠠⠠⠠⠠⠠

again = ⠠⠠⠠

against = ⠠⠠⠠⠠⠠

ally = ⠠⠠⠠⠠

almost = ⠠⠠⠠⠠⠠

already = ⠠⠠⠠⠠⠠

also = ⠠⠠⠠

although = ⠠⠠⠠⠠

altogether = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠

always = ⠠⠠⠠⠠⠠

ance = ⠠⠠⠠⠠

and = ⠠⠠

ar = ⠠⠠

as = ⠠⠠

ation = ⠠⠠⠠⠠

bb = □□⠠⠠□□

be = □⠠⠠□

because = ⠠⠠⠠⠠

before = ⠠⠠⠠⠠

behind = ⠠⠠⠠⠠

below = ⠠⠠⠠⠠

beneath = ⠠⠠⠠⠠

beside = ⠠⠠⠠⠠

between = ⠠⠠⠠⠠

beyond = ⠠⠠⠠⠠

ble = ⠠⠠

blind = ⠠⠠⠠⠠

braille = ⠠⠃⠗⠠⠇⠠⠇⠠⠇  
 but = ⠠⠃⠠⠗⠠⠗  
 by = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠃  
 can = ⠠⠃⠠⠗⠠⠗  
 cannot = ⠠⠃⠠⠗⠠⠗⠠⠗  
 cc = ⠠⠃⠠⠃⠠⠃⠠⠃  
 ch = ⠠⠃⠠⠒  
 character = ⠠⠃⠠⠒⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠒  
 child = ⠠⠃⠠⠒⠠⠗⠠⠗  
 children = ⠠⠃⠠⠒⠠⠃⠠⠒⠠⠗⠠⠗  
 com = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠃  
 con = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠃  
 conceive = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗⠠⠗⠠⠗  
 conceiving = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗  
 could = ⠠⠃⠠⠗⠠⠗⠠⠗  
 day = ⠠⠃⠠⠗⠠⠗  
 dd = ⠠⠃⠠⠃⠠⠃⠠⠃  
 deceive = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗⠠⠗  
 deceiving = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗  
 declare = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗⠠⠗  
 declaring = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗⠠⠗⠠⠗⠠⠗  
 dis = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠃  
 do = ⠠⠃⠠⠗  
 ea = ⠠⠃⠠⠃⠠⠃⠠⠃  
 ed = ⠠⠃⠠⠗  
 either = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗  
 en = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃  
 ence = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗  
 enough = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗⠠⠗  
 er = ⠠⠃⠠⠗  
 ever = ⠠⠃⠠⠗⠠⠗⠠⠗  
 every = ⠠⠃⠠⠗⠠⠗  
 father = ⠠⠃⠠⠗⠠⠃⠠⠗  
 ff = ⠠⠃⠠⠃⠠⠃⠠⠃  
 first = ⠠⠃⠠⠗⠠⠗⠠⠗  
 for = ⠠⠃⠠⠗

friend = ⠠⠠⠠⠠⠠  
 from = ⠠⠠  
 ful = ⠠⠠⠠  
 gg = ⠠⠠⠠⠠⠠  
 gh = ⠠⠠  
 go = ⠠⠠  
 good = ⠠⠠⠠  
 great = ⠠⠠⠠⠠  
 had = ⠠⠠⠠  
 have = ⠠⠠  
 here = ⠠⠠⠠  
 herself = ⠠⠠⠠⠠  
 him = ⠠⠠⠠  
 himself = ⠠⠠⠠⠠  
 his = ⠠⠠⠠  
 immediate = ⠠⠠⠠⠠⠠  
 in = ⠠⠠⠠  
 ing = ⠠⠠  
 into = ⠠⠠⠠⠠  
 it = ⠠⠠  
 its = ⠠⠠⠠  
 itself = ⠠⠠⠠  
 ity = ⠠⠠⠠  
 just = ⠠⠠  
 know = ⠠⠠⠠  
 knowledge = ⠠⠠  
 less = ⠠⠠⠠  
 letter = ⠠⠠⠠  
 like = ⠠⠠  
 little = ⠠⠠⠠  
 lord = ⠠⠠⠠  
 many = ⠠⠠⠠  
 ment = ⠠⠠⠠  
 more = ⠠⠠  
 mother = ⠠⠠⠠  
 much = ⠠⠠⠠

must = ⠠⠍⠗⠗  
myself = ⠠⠍⠑⠗⠑⠗⠑  
name = ⠠⠗⠗⠗  
necessary = ⠠⠗⠑⠗⠑⠗⠑  
neither = ⠠⠗⠑⠗⠑⠗  
ness = ⠠⠗⠑⠗  
not = ⠠⠗⠗  
o'clock = ⠠⠒⠑⠗⠗⠑⠗  
of = ⠠⠒⠒  
one = ⠠⠒⠑⠗  
oneself = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗⠑  
ong = ⠠⠒⠒⠑  
ou = ⠠⠒⠒  
ought = ⠠⠒⠑⠗⠒  
ound = ⠠⠒⠑⠗⠒  
ourselves = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑  
ount = ⠠⠒⠑⠗⠒  
out = ⠠⠒⠒  
ow = ⠠⠒⠒  
paid = ⠠⠒⠑⠗  
part = ⠠⠒⠑⠗  
people = ⠠⠒⠑⠒  
perceive = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗⠑  
perceiving = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗⠑⠗⠑  
perhaps = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗  
question = ⠠⠒⠑⠗⠒  
quick = ⠠⠒⠑⠒  
quite = ⠠⠒⠒  
rather = ⠠⠒⠒  
receive = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗  
receiving = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗⠑  
rejoice = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗  
rejoicing = ⠠⠒⠑⠗⠑⠗⠑  
right = ⠠⠒⠑⠒  
said = ⠠⠒⠑⠗  
sh = ⠠⠒⠒

shall = ⠠⠠⠠⠠  
 should = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠  
 sion = ⠠⠠⠠⠠  
 so = ⠠⠠  
 some = ⠠⠠⠠⠠  
 spirit = ⠠⠠⠠⠠  
 st = ⠠⠠  
 still = ⠠⠠  
 such = ⠠⠠⠠⠠  
 th = ⠠⠠  
 that = ⠠⠠  
 the = ⠠⠠  
 their = ⠠⠠⠠⠠  
 themselves = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠  
 there = ⠠⠠⠠⠠  
 these = ⠠⠠⠠⠠  
 this = ⠠⠠  
 those = ⠠⠠⠠⠠  
 through = ⠠⠠⠠⠠  
 thyself = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠  
 time = ⠠⠠⠠⠠  
 tion = ⠠⠠⠠⠠  
 to = ⠠⠠⠠⠠  
 today = ⠠⠠⠠⠠  
 together = ⠠⠠⠠⠠⠠⠠  
 tomorrow = ⠠⠠⠠⠠  
 tonight = ⠠⠠⠠⠠  
 under = ⠠⠠⠠⠠  
 upon = ⠠⠠⠠⠠  
 us = ⠠⠠  
 very = ⠠⠠  
 was = ⠠⠠⠠⠠  
 were = ⠠⠠⠠⠠  
 wh = ⠠⠠  
 where = ⠠⠠⠠⠠  
 which = ⠠⠠

whose = ⠠⠏⠗⠏⠠⠎  
will = ⠠⠋⠋⠏  
with = ⠠⠋⠋⠠⠞  
word = ⠠⠋⠗⠔⠠⠎  
work = ⠠⠋⠗⠎  
world = ⠠⠋⠗⠔⠠⠎  
would = ⠠⠋⠗⠔⠠⠎  
you = ⠠⠋⠠⠎  
young = ⠠⠋⠠⠎⠠⠎  
your = ⠠⠋⠠⠎⠠⠎  
yourself = ⠠⠋⠠⠎⠠⠎⠠⠎  
yourselves = ⠠⠋⠠⠎⠠⠎⠠⠎⠠⠎

⑩ 英語の点字略字字形別一覧表

英語の点字略字のすべてを字の形を見出しとしてまとめると次の一覧表のとおりである。字の形の配列順序は、「点字の配列表」の順序に従った。

他の綴り字がある場所を示す場合には□□を用い、単語がくる場所を表す場合は\*を用いている。

字の形の見出し語は、原則として同じ形のものは一つとし、その字形が表す綴り字については、短縮語を前に、短縮部を後ろに掲げてある。

⠠⠠	=	about
⠠⠠⠠	=	above
⠠⠠⠠	=	according
⠠⠠⠠⠠	=	across
⠠⠠⠠	=	after
⠠⠠⠠⠠	=	afternoon
⠠⠠⠠⠠	=	afterward
⠠⠠⠠	=	again
⠠⠠⠠⠠	=	against
⠠⠠⠠	=	also
⠠⠠⠠⠠	=	almost
⠠⠠⠠⠠	=	already
⠠⠠⠠⠠	=	altogether
⠠⠠⠠⠠	=	although
⠠⠠⠠⠠	=	always
⠠⠠	=	but
⠠⠠⠠	=	blind
⠠⠠⠠⠠	=	braille
⠠⠠	=	can
⠠⠠⠠	=	could
⠠⠠	=	do
⠠⠠⠠⠠	=	declare
⠠⠠⠠⠠⠠	=	declaring
⠠⠠⠠⠠	=	deceive
⠠⠠⠠⠠⠠	=	deceiving
⠠⠠	=	every
⠠⠠⠠	=	either
⠠⠠	=	from
⠠⠠⠠	=	friend



⠠⠠⠠⠠ = such  
 ⠠⠠ = that  
 ⠠⠠⠠ = today  
 ⠠⠠⠠⠠ = together  
 ⠠⠠⠠ = tomorrow  
 ⠠⠠⠠ = tonight  
 ⠠⠠ = us  
 ⠠⠠ = very  
 ⠠⠠ = it  
 ⠠⠠⠠ = itself  
 ⠠⠠⠠ = its  
 ⠠⠠ = you  
 ⠠⠠⠠ = your  
 ⠠⠠⠠⠠ = yourself  
 ⠠⠠⠠⠠⠠ = yourselves  
 ⠠⠠ = as  
 ⠠⠠⠠ = and  
 ⠠⠠ = for  
 ⠠⠠ = of  
 ⠠⠠ = the  
 ⠠⠠⠠⠠⠠ = themselves  
 ⠠⠠ = with  
 ⠠⠠ = child ; ch  
 ⠠⠠⠠ = children  
 ⠠⠠ = gh  
 ⠠⠠ = shall ; sh  
 ⠠⠠⠠ = should  
 ⠠⠠ = this ; th  
 ⠠⠠⠠⠠ = thyself  
 ⠠⠠ = which ; wh  
 ⠠⠠ = ed  
 ⠠⠠ = er  
 ⠠⠠ = out ; ou  
 ⠠⠠⠠⠠⠠ = ourselves  
 ⠠⠠ = ow  
 ⠠⠠ = will

⠠⠠⠠⠠ = would  
 ⠠⠠⠠⠠ = ⠠⠠ ea ⠠⠠  
 ⠠⠠⠠⠠ = be ; be ⠠⠠ ; ⠠⠠ bb ⠠⠠  
 ⠠⠠⠠⠠ = because  
 ⠠⠠⠠⠠ = before  
 ⠠⠠⠠⠠ = behind  
 ⠠⠠⠠⠠ = below  
 ⠠⠠⠠⠠ = beneath  
 ⠠⠠⠠⠠ = beside  
 ⠠⠠⠠⠠ = between  
 ⠠⠠⠠⠠ = beyond  
 ⠠⠠⠠⠠ = con ⠠⠠ ; ⠠⠠ cc ⠠⠠  
 ⠠⠠⠠⠠⠠ = conceive  
 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ = conceiving  
 ⠠⠠⠠⠠ = dis ⠠⠠ ; ⠠⠠ dd ⠠⠠  
 ⠠⠠⠠⠠ = enough ; en  
 ⠠⠠⠠⠠ = ⠠⠠ ff ⠠⠠  
 ⠠⠠⠠⠠\* = to \*  
 ⠠⠠⠠⠠ = were ; ⠠⠠ gg ⠠⠠  
 ⠠⠠⠠⠠ = his  
 ⠠⠠⠠⠠ = in  
 ⠠⠠⠠⠠⠠\* = into \*  
 ⠠⠠⠠⠠ = was  
 ⠠⠠⠠⠠\* = by \*  
 ⠠⠠ = still ; st  
 ⠠⠠ = ⠠⠠ ing  
 ⠠⠠ = ⠠⠠ ble  
 ⠠⠠ = ar  
 ⠠⠠⠠⠠ = com ⠠⠠  
 ⠠⠠⠠⠠ = upon  
 ⠠⠠⠠⠠ = these  
 ⠠⠠⠠⠠ = those  
 ⠠⠠⠠⠠ = whose  
 ⠠⠠⠠⠠ = word  
 ⠠⠠⠠⠠ = cannot  
 ⠠⠠⠠⠠ = had

⠠⠠⠠⠠ = many  
 ⠠⠠⠠⠠ = spirit  
 ⠠⠠⠠⠠ = their  
 ⠠⠠⠠⠠ = world  
 ⠠⠠⠠⠠ = day  
 ⠠⠠⠠⠠ = ever  
 ⠠⠠⠠⠠ = father  
 ⠠⠠⠠⠠ = here  
 ⠠⠠⠠⠠ = know  
 ⠠⠠⠠⠠ = lord  
 ⠠⠠⠠⠠ = mother  
 ⠠⠠⠠⠠ = name  
 ⠠⠠⠠⠠ = one  
 ⠠⠠⠠⠠⠠ = oneself  
 ⠠⠠⠠⠠ = part  
 ⠠⠠⠠⠠ = question  
 ⠠⠠⠠⠠ = right  
 ⠠⠠⠠⠠ = some  
 ⠠⠠⠠⠠ = time  
 ⠠⠠⠠⠠ = under  
 ⠠⠠⠠⠠ = young  
 ⠠⠠⠠⠠ = there  
 ⠠⠠⠠⠠ = character  
 ⠠⠠⠠⠠ = through  
 ⠠⠠⠠⠠ = where  
 ⠠⠠⠠⠠ = ought  
 ⠠⠠⠠⠠ = work  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ ound  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ ance  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ sion  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ less  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ ount  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ ence  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ ong  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ ful  
 ⠠⠠⠠⠠ = □□ tion

☰☱☲☳ = ☐☐ ness

☰☱☲☳ = ☐☐ ment

☰☱☲☳ = ☐☐ ity

☰☱☲☳ = ☐☐ ation

☰☱☲☳ = ☐☐ ally

## 2. 資料編 第2巻（英語の基本的知識）

### 英語の基本的知識について

英語は、実際の具体的な場面で、聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする活動を通して学んでいきます。ですから、楽しく根気よく、ゆっくり確実に学んで、その結果を一つずつ積み上げていくことが大切です。

しかしながら、いつも繰り返し出てくる基本的な事柄と、ときどきしか出てこない事柄とがあります。そこで、いつも繰り返し出てくる基本的な事柄を確実に学んで覚えていけば、英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりするとき大変心強いものです。

この資料編の第2巻に、英語の基本的な知識と興味深い単語などがまとめられていますので、学習の参考にしてください。

①の「英語の発音方法」では、母音や子音の発音の仕方が説明されています。資料編第1巻の5の「発音記号の書き方」と合わせて学びましょう。

②の「英語の発音と綴り字」では、子音や母音の発音とアルファベットの綴り方との関係が説明されています。資料編第1巻の2の「アルファベットと発音」と合わせて学びましょう。

③の「英語の基本文型」では、動詞を中心とした文の構造が取り上げられています。

④の「英語の修飾語と修飾される語との関係」では、飾る言葉と飾られる言葉との関係が、日本語の順序と異なっている特徴が説明されています。

⑤の「語源から単語を覚える方法」では、一つの基本的な語源から、幾つもの単語が派生しているので、それらを踏まえた単語の覚え方が取り上げられています。資料編第1巻の7の「主な接頭辞と接尾辞」と合わせて学びましょう。

⑥の「中学基本英単語・熟語（品詞別・類別）」では、基本的で繰り返し出てくる単語を取り上げて、それらをまとめたり、覚えたりするために役立つようにしています。

⑦の「国名・地域名などに関する語」では主な国や国民、あるいは地域や都市などの名前を集めました。

### ① 英語の発音方法

英語の発音は、日本語の発音と相当異なっているので、日本人が学ぶのはそんなにやさしいことではない。ここでは、英語の母音や子音の発音の方法を一つずつ説明している。また、その発音と発音記号の関係も明らかにしている。

発音記号（*phonetic signs*）は、英語の発音を示す約40の記号で、新しく出会った単語でも、この発音記号によってほぼ正確に発音できる。発音記号は、母音と子音の組合せでできている。発音記号の正しい読み方を覚えよう。（以下の説明は米音を中心に解説してある。）

ア 単母音 (vowel)

[i] 舌の前の方を高くして、日本語の「エ」と「イ」の間ぐらいの音。「エ」と言うときの口の大きさを「イ」と発音する。

s i t [s i t]      f i l l [f i l]

[i:] 長めの母音で日本語の「イー」とほとんど同じ音。くちびるを横に開いて緊張させ、舌に力を入れて発音する。

b e e [b i :]      c h i e f [tʃ i : f]

[e] 日本語の「エ」とほとんど同じ音。「エ」よりもやや口を大きめに開いて、下顎を少し引いて「エ」と発音する。

d e s k [d e s k]      n e t [n e t]

[æ] 日本語の「エ」と [ア] の中間の音で、やや長く発音する。

c a t [k æ t]      m a n [m æ n]

[ʌ] 日本語の「ア」に「オ」が混ざった感じの音で、口の中程から、やや奥で短めに発音する。

c o m e [k ʌ m]      l o v e [l ʌ v]

[ɑ:] あくびをするように口を大きく開け、舌の位置を低くして発音する。

c a l m [k ɑ : m]      f a t h e r [f ɑ : ð ə r]

[ə] あいまい母音といわれ、アクセントのない音節に現れる。くちびるを少し開いてぼんやりした感じで「ア」と発音する。

a b o u t [ə b a u t]      w o m a n [w ú m ə n]

[ə:r] 日本語の「アー」を口をやや閉じて発音し、そり舌にして [r] を添える。英音は [r] が入らない。

b i r d [b ə : r d]      w o r k [w ə : r k]

[u] くちびるを丸めて突出し、日本語の「ウ」よりも強く発音する。

l o o k [l u k]      c o o k [k u k]

[u:] [u] よりもさらにくちびるを強く丸めて、口笛を吹く感じで「ウー」と発音する。

p o o l [p u : l]      s c h o o l [s k u : l]

[ɑ] 米音は口を大きく開け、舌の奥を高くして「ア」と言う。

b o x [b ɑ k s]      s t o p [s t ɑ p]

[ɔ] 英音では多くの場合、[ɔ] と表記して、口を大きく開け、くちびるを丸めて「オ」と発音する。

b o x [b ɔ k s]      s t o p [s t ɔ p]

[ɔ:] [ɔ] よりもくちびるをすぼめて「オー」と発音する。

b a l l [b ɔ : l]      b o u g h t [b ɔ : t]

イ 二重母音 (diphthong)

- [e i] [e] を強く言って, [i] を弱く発音する。  
game [geim] say [sei]
- [a i] 日本語の「ア」を強く長く言いながら, [i] に移っていく。  
eye [ai] write [rait]
- [a u] 日本語の「ア」を強く長く言いながら, [u] に移っていく。  
cow [kau] house [haus]
- [ɔ i] [ɔ] を, 丸く突き出した口で強く長めに言ってから, [i] を添える。  
boy [boi] oil [ɔil]
- [o u] くちびるを丸く突き出して「オ」と言いながら, 口の開きをやや小さくして「ウ」を添える。  
boat [bout] cold [kould]
- [i ə r] [i] の後に [ə] を添えながら, そり舌にして, [r] を入れる。  
ear [iər] hear [hiər]
- [e ə r] [e] を発音しながら [ə] を添え, さらにそり舌にして, [r] を入れる。  
air [eər] bear [beər]
- [u ə r] [u] を発音しながら [ə] を添え, さらにそり舌にして, [r] を入れる。  
poor [puər] tour [tuər]

ウ 子音 (consonant)

- [p] 上下のくちびるを閉じ, 息をためて, 一気に「プッ」と吹く感じの無声音。  
park [pɑ:k] cap [kæp]
- [b] [p] が有声音になったもので, 日本語の「バ行」の音の出だしとほとんど同じ音。  
book [buk] band [bænd]
- [t] 日本語の「ツ」を発音するときの舌の位置で, 息をためて勢いよく発音する。  
tea [ti:] cut [kʌt]
- [d] [t] が有声音になったもの。  
day [dei] glad [glæd]
- [k] 日本語の「カ行」の音の出だしとほとんど同じ音で, 力強く発音する。  
cake [keik] kind [kaind]
- [g] [k] が有声音になったもの。  
good [gud] egg [eg]
- [f] 上の歯を下のくちびるの内側につけて, その狭い隙間から息を吹き出す。日本語の「フ」とは違うので注意。  
foot [fut] enough [inʌf]

- [v] [f] が有声音になったもの。[b] とははっきり区別することが大切。  
 voice [vɔɪs] wave [weɪv]
- [s] 舌先を軽く歯ぐきに触れ、くちびるを横に引くようにして勢いよく「ス」と発音する。  
 sea [si:] soup [su:p]
- [z] [s] が有声音になったもの。  
 zoo [zu:] size [saɪz]
- [θ] 舌の先を上歯につけて、その間から息を出す。舌の先を軽くかんでもよい。  
 [s] とははっきり区別すること。  
 think [θɪŋk] month [mʌnθ]
- [ð] [θ] が有声音になったもの。  
 they [ðeɪ] brother [brʌðə]
- [ʃ] くちびるを少し丸めて突き出すようにして「シュ」と発音する。  
 shop [ʃɒp] fish [fɪʃ]
- [ʒ] [ʃ] が有声音になったもの。[dʒ] とは違い、舌の先を歯ぐきにつけない。  
 usual [ju:ʒuəl] vision [vɪʒən]
- [tʃ] 日本語の「チ」を、くちびるを丸めて突き出す感じで発音する。  
 cheap [tʃi:p] catch [kæʃ]
- [dʒ] [tʃ] が有声音になったもの。  
 judge [dʒʌdʒ] edge [edʒ]
- [h] くちびるを軽く開き、息を吹きかけるようにして発音する。  
 hot [hɒt] who [hu:]
- [m] くちびるを固く閉じて、鼻から「ム」と発音する。  
 my [maɪ] some [sʌm]
- [n] 舌の先を上歯ぐきに強くつけて、鼻から息を「ヌ」と発音する。  
 noon [nu:n] news [n(j)u:z]
- [ŋ] 舌の後の方を上あごの奥につけ、鼻から声を出して「ング」と発音する。  
 pink [pɪŋk] song [sɔ(:)ŋ]
- [l] 舌の先を歯ぐきにつけたまま、「ル」と発音する。  
 little [lɪtl] like [laɪk]
- [r] 舌の先をまきあげ、歯ぐきに近づけて発音する。前に軽く「ウ」の音を添えようとまくいく。  
 river [rɪvə]
- [w] くちびるを丸くすぼめて突き出し、「ウ」と発音する。  
 watch [wɒʃ] swim [swɪm]

[j] 日本語の「ヤ行」の音の出だしとほぼ同じで、「イ」をきしませて発音するところの音になる。

y e s [ j e s ]            f a m i l i a r [ f ə m í l i j ə r ]

## ② 英語の発音と綴り字

英語を読んでいて、この綴り字をどう発音したらいいのか分からないことがある。逆に、発音できる単語をどう綴って書いたらよいか分からないときもある。

英語のアルファベットと日本語の仮名の最も大きな違いは、日本語が原則として、一字一音主義なのに対して、英語にはそのようなはっきりとした原則がないことである。しかし、英語の発音と綴り字の関係が無規則のように思えても、一定の規則がある。この規則をつかむと英語の発音と綴り字の関係がよく分かるようになる。

英語の発音と綴り字の関係は、フォニックス (p h o n i c s) といって、英語の初期の学習ではとても大切な分野である。

フォニックスの規則の規則1から規則8までは、これらの綴り字と子音の発音との関係を表している。また、規則9から規則17まではこれらの綴り字と母音の発音との関係を表している。

### フォニックスの規則

規則1 次の子音を表すアルファベットは、原則として、規則的で、hとwを除いては、その表す音が文字の英語読みに含まれている。

b [b]	b a c k	b o a t	b a s k e t
d [d]	d a y	d i n n e r	d o l l a r
f [f]	f a c e	f i t	f a t
h [h]	h i t	h a l f	h a n d
j [dʒ]	j a m	j u s t	J a c k
k [k]	k i n d	k e y	k i d
l [l]	l a t e	l i n e	l e n d
m [m]	m a k e	m i l k	m o t h e r
n [n]	n e w	n a m e	n o s e
p [p]	p e n	p i a n o	s t a m p
r [r]	r a i n	r e d	r e s t
s [s]	s a d	s i n g e r	s u m m e r
t [t]	t i m e	t e a m	t e a c h e r
v [v]	v e r y	v o i c e	v i s i t
w [w]	w a y	w e l l	w i t
z [z]	z e r o	z e b r a	z o o

(注) sは語中、語尾ではhusband, alwaysのように[z]の場合がある。また、use, closeのように品詞によって[s]や[z]になる場合がある。

規則2 子音を表すアルファベットの中でも、c, gは特別である。

ア cはe, i, yの前では[s], それ以外では[k]となる。

[s] cent city cycle

[k] camp coat cry

イ gはe, i, yの前では[dʒ], それ以外では[g]となる。

[dʒ] gentle cage gym

[g] gas goal ground

規則3 子音を表すアルファベットが二つ以上重なって一つの音を表すもの。

ch [tʃ] chair chalk speech

sh [ʃ] shop wash fish

ph [f] phone graph elephant

th [θ] thank mouth theater

th [ð] this mother they

ng [ŋ] sing king ring

ng [ŋg] single angry

ck [k] back truck sick

tch [tʃ] catch switch kitchen

ck [k] back shock truck

ts [ts] cats bats pants

ds [dz] cards hands records

dg [dʒ] bridge judge edge

tes [ts] tastes gates decorates

規則4 次の子音を表すアルファベットは発音されない。

ア 語頭のknのk, wrのw。

know knife wrong wrist

イ 語尾のmbのb, mnのn, gnのg。

climb bomb autumn foreign

ウ 語中のghtのgh, tenのte。

fight eight often listen

規則5 qはuを伴って用いられ、次のように二通りに発音される。

[kw] 語のはじめ・語の中  
queen quiz square  
[k] 語のおわり  
antique unique

規則6 yの発音は、次の三通りある。

[j] 語のはじめ、母音を表すアルファベットの  
young yes  
[i] 語の中、子音を表すアルファベットの  
bicycle crystal  
[a i] 語の中、子音を表すアルファベットの  
cycle type  
[a i] yで終わって他に母音を表すアルファベットを含まないとき  
my cry sky fly

規則7 xの発音は、次の四通りある。

[z] 語のはじめ xylophone  
[gz] 語の中 example  
[ks] 語の中 export  
[ks] 語のおわり box six

規則8 whの発音は、次の二通りある。

[(h)w] a, e, iの前 white whale  
[h] oの前 who whose

規則9 母音を表すアルファベットのあとが、子音を表すアルファベットで終わるときは、母音を表すアルファベットは、次の発音になる。

a [æ] bat cap map  
e [e] bed jet ten  
i [i] lip big hit  
o [ɑ] (米) [ɔ] (英) pot drop not  
u [ʌ] cup sun nut

規則 1 0 母音を表すアルファベットのあとが、「子音を表すアルファベット (r を除く) + e」で終わるときは、その母音は、アルファベットの読みと同じになる。

a [e i]	game	tape	skate
e [i :]	eve	these	evening
i [a i]	bike	rice	drive
o [o u]	hope	joke	home
u [j u :]	cube	cute	excuse

規則 1 1 「母音を表すアルファベット+r」は、のぼす音になる。

a r [ɑ : r]	art	hard	March
e r [ə : r]	her	person	serve
i r [ə : r]	bird	first	shirt
u r [ə : r]	burn	Thursday	turn
o r [ɔ : r]	fork	cord	sport
w a r [w ɔ : r]	war	warm	
w o r [w ə : r]	work	word	world

規則 1 2 「母音を表すアルファベット+r e」は、語尾にくる場合、多くは、次の発音になる。

-a r e [e ə r]	care	rare
-i r e [a i ə r]	fire	tired
-o r e [ɔ ə r]	store	score
-u r e [j u ə r]	sure	pure

規則 1 3 母音を表すアルファベットが二つで、多くは次の二重母音を表す。

a i [e i]	paint	mail
a u [ɔ :]	August	because
e a [i :]	eat	peace
e e [i :]	feet	speed
o a [o u]	boat	coat
o i [ɔ i]	point	noise
o u [a u]	house	sound

規則 1 4 次の一組みのアルファベットは、多くは次の二通りに発音される。

ew [j u :]    few    news  
      [u :]    crew    flew  
oo [u :]    food    moon  
      [u]     book    foot  
ow [a u]    cow    brown  
      [ou]    snow    low

規則 1 5 aw, ay, oy が語尾にくるときなどは、次のように発音される。

aw [ɔ :]    saw    law  
ay [e i]    day    play  
oy [ɔ i]    boy    toy

規則 1 6 二重母音を表すアルファベットに r がつく」場合、次のように発音される。

air [e ə r]    air    chair  
ear [i ə r]    ear    dear  
      [e ə r]    bear    pear  
      [ə : r]    learn    earth  
oar [ɔ : r]    oar  
oor [u ə r]    poor  
      [ɔ : r]    door    floor  
our [a u ə r]    our    hour  
      [ɔ : r]    course    four  
eer [i ə r]    beer    cheer  
ower [a u r]    flower    shower

規則 1 7 アクセントが置かれない母音を表すアルファベットは、弱く発音する。

a [ə]    about    arrive    Japán  
e [ə]    cómedy    cámera    ópera  
i [i]    Africa    úniform  
                  hóspital  
o [ə]    sécond    pílot    lémon  
u [ə]    álbum    círcus    stádíum  
(注) 母音が弱く、短く発音されて表されないこともある。  
      lesson [lésn]  
      beautiful [bjú:tifl]

③ 英語の基本文例

英文の語の配列順序は、日本語の語順と相当異なっている。そのため、英文を聞いたり、読んだりしながら、即座にその意味を理解できるようになるには、英語の文の構造を十分に理解し、覚えておく必要がある。

ア「動詞を中心とした基本文例」では、教科書で取り上げられている基本文を中心に35取り上げた。

イ「英作文に使える文例」は、アで取り上げた基本文例を更に補充したものである。

ア 動詞を中心とした基本文例

1 How many days are there in a week?

一週間は何日ありますか。

2 What time does your school begin?

あなたの学校は何時に始まりますか。

3 My brother can swim very well.

私の兄は大変上手に泳げます。

4 Mary is as tall as I.

メアリーは私と同じ背の高さです。

5 Jane is taller than Mary.

ジェーンはメアリーより背が高いです。

6 Jane is the tallest of the three.

ジェーンは三人のうちでいちばん背が高いです。

7 She can run the fastest of all.

彼女はみんなのうちで、いちばん速く走れます。

8 The movie is more interesting than that.

その映画はあの映画よりおもしろい。

9 It is the most difficult question in today's homework.

それはきょうの宿題で、いちばんむずかしい問題です。

10 Which do you like better, tea or coffee?

お茶とコーヒーではどちらが好きですか。

11 It was fine last Sunday.

この前の日曜日は天気がよかったです。

12 My family went on a picnic by car.

私の家族は車でピクニックに行きました。

13 May I borrow this book for a week?

この本を一週間お借りしてもよろしいですか。

- 14 You must study hard every day.  
君は、毎日一生懸命に、勉強しなければなりません。
- 15 She will go to the movies with me.  
彼女は私とっしょに映画を見に行くでしょう。
- 16 Will you please open the window?  
窓を開けていただけませんか。
- 17 Shall I wait for you at the gate?  
門のところであなたをお待ちしましょうか。
- 18 It was raining when I got to the airport.  
私が空港に着いたとき、雨が降っていました。
- 19 I want to buy a dictionary.  
私は辞書を買いたいのです。
- 20 I have a lot of things to do this afternoon.  
今日の午後、私はすることがたくさんあります。
- 21 I called him to talk about our trip.  
私達の旅行について話をするために、私は彼に電話をしました。
- 22 I don't know how to use this camera.  
私はこのカメラの使い方を知りません。
- 23 We can not tell when to start,where to go and what to do.  
私達は、いつ出発しどこへ行きそして何をしていいのか、わかりません。
- 24 The news made me happy.  
その知らせを聞いて私はよろこんだ。
- 25 It will stop raining before dark.  
暗くならないうちに、雨がやむでしょう。
- 26 Ben is loved by everybody in his class.  
ベンはクラスみんなに愛されています。
- 27 I have never been to Hokkaido.  
私は一度も北海道へ行ったことがありません。
- 28 My sister has been sick in bed since Tuesday.  
私の妹は火曜日以来ずっと病気で寝ています。
- 29 Have you finished your homework yet?  
君はもう宿題を終えましたか。
- 30 It is necessary for us to help one another.  
私達はおたがいに助け合うことが必要です。
- 31 The woman standing over there is my aunt.  
あそこに立っている婦人は私の伯母さんです。

- 32 Have you ever read any book written by Soseki Natsume?  
夏目漱石の書いた本を読んだことがありますか。
- 33 I have a pen pal who lives in New York.  
私はニューヨークに住んでいるペンフレンドがいます。
- 34 The subject which I like best is history.  
私がいちばん好きな科目は歴史です。
- 35 I don't know who she is.  
私には彼女がだれだかわかりません。

イ 英作文に使える文例

- 1 As a rule I read the newspaper before breakfast.  
私は朝食前に新聞を読むことにしています。
- 2 Isn't that glowing sunset pretty? I'm sure it'll be a nice day tomorrow.  
夕焼けがきれいですね。明日はきっといい天気ですよ。
- 3 If it rains tomorrow, I'll stay home.  
明日雨なら私は家にいます。
- 4 It's been five years since he died.  
彼が亡くなってから5年になります。
- 5 When I got to the station, the train had already left.  
駅へ着いたときには列車はもう出ていました。
- 6 I was about to leave when he came to see me.  
出掛けようとしていると、彼がたずねてきました。
- 7 If I go to Kyoto once again, I'll have been there three times.  
もう一度京都へ行くと、三度行ったことになります。
- 8 I wonder if it is still raining.  
まだ雨が降っているかしら。
- 9 I've been waiting for him for half an hour.  
私は30分彼を待っています。
- 10 It's no use asking him about it.  
彼にそのことを頼んでも無駄です。
- 11 You should see Nikko while you are in Japan.  
日本にいらっしゃる間に、ぜひ日光をごらんください。
- 12 All you have to do is to study hard.  
あなたはしっかり勉強しさえすればいいのです。
- 13 He may well say so.  
彼がそういうのはもっともだ。

- 14 He must have been very angry.  
彼はとても怒っていたにちがいありません。
- 15 Can the rumor be true?  
その噂はいったい本当かしら。
- 16 He was able to pass the test.  
彼はそのテストに合格できた。
- 17 He didn't need to go there.  
彼はそこへ行く必要はありませんでした。
- 18 He is a man who I think can be relied upon.  
彼は信用できる男だと思います。
- 19 He was hit by a taxi.  
彼はタクシーにぶつかりました。
- 20 I went fishing in the lake.  
私は湖に魚を釣りに行きました。
- 21 This album reminds me of my school days.  
このアルバムを見ていると、学生時代が思い出されます。
- 22 She has a baby on her back.  
彼女は赤ちゃんをおぶっています。
- 23 I don't think he'll come today.  
彼は、今日は来ないと思います。
- 24 It was not until this morning that I heard of his death.  
今朝になって、はじめて彼の亡くなったことを知りました。
- 25 This book is three times as thick as that one.  
この本はあの本の3倍の厚さがあります。
- 26 Nothing gives me more pleasure than taking a walk in the woods.  
森の中を散歩するほど楽しいことはありません。
- 27 I don't always stay up late at night.  
私は夜ふかしをするとは限りません。
- 28 You can't pay too much attention to what he says.  
彼のいうことにいくら注意を払っても、払いすぎることはありません。
- 29 It is not too much to say that he is the greatest artist of the day.  
彼は当代随一の画家といっても過言ではありません。
- 30 I'm thinking of climbing Mt.Fuji in July.  
7月に富士山に登ろうかと思っています。
- 31 I'd rather be alone than keep bad company.  
悪い友達とつきあっているくらいなら、一人でいるほうがいいです。

- 32 Turn right and you'll find the station you're looking for.  
右に曲がると、探していらっしゃる駅があります。
- 33 Neither you nor he is to blame.  
あなたにも彼にも罪はありません。
- 34 The higher we climbed, the cooler it became.  
高く登れば登るほど、だんだん涼しくなった。
- 35 I couldn't help laughing at the sight.  
私はその光景を見て笑わざるを得ませんでした。
- 36 The problem was too difficult for me to explain.  
その問題は難しすぎて私には説明できませんでした。
- 37 This book is far from being easy.  
この本はやさしいどころではありません。
- 38 What a wonderful story this is !  
これはなんとすばらしい物語でしょう。
- 39 How beautiful these flowers are!  
これらの花はなんて美しいんでしょう。
- 40 Mr.Brown bought a new car last week,didn't he?  
ブラウンさんは先週新車を買いましたね。
- 41 I had him carry my baggage.  
私は彼に私の荷物を運んでもらいました。
- 42 I saw him crossing the street.  
私は彼がその通りを横切っているのを見ました。
- 43 The book is so interesting that everyone reads it.  
その本はとてもおもしろいので、みんなが読みます。
- 44 I was too sleepy to read any more.  
私はとても眠くてもう本が読めませんでした。
- 45 I studied English as hard as possible.  
私はできるだけ一生懸命に英語を勉強しました。
- 46 You had better take an umbrella with you.  
君は傘をもっていった方がいいですよ。
- 47 I was sure that he would come.  
私はきっと彼が来るだろうと思っていました。
- 48 I know a girl whose father is an artist.  
私は父親が芸術家である少女を知っています。
- 49 He is one of the singers whom I like.  
彼は私が好きな歌手のひとりです。

50 Dr. Yukawa is the first Japanese that won the Nobel prize.

湯川博士はノーベル賞を得た最初の日本人です。

51 This is the village where we were born.

これが私達が生まれた村です。

52 Winter is the season when young people go skiing and skating.

冬は若者がスキーやスケートに行く季節です。

④ 英語の修飾語と修飾される語との関係

英語の文章を聞いたり読んだりしながら、即座にその意味を理解できるようになるには、基本文型とともに、修飾語と修飾される語との関係を理解し覚えることが必要である。

日本語では、修飾語の形容詞は修飾される名詞の前にしかこない。また副詞も動詞の前にしかこない。一方、英語でも短い形容詞や副詞の場合、日本語と同じように名詞や動詞の前にくることもある。ただ、多くの場合、名詞の後にそれを修飾する形容詞などがきたり、動詞の後にそれを修飾する副詞などがきたりする。

このように英語の語順が日本語の語順と異なっている理由として、次のような理由があげられる。英語では最初に大切な事柄を述べて、後からそれを詳しく説明するという習慣があるからである。特に、形容詞句や形容詞節、あるいは副詞句や副詞節などのように修飾語の構造が複雑になると前にくることはできない。

ア airplane から ウ something までは名詞を修飾する語句との関係が取り上げられている。このコーテーションに含まれた修飾語句の部分がどんなに複雑になっても、修飾される名詞との関係が変わらないことを理解して覚えよう。

エ swim では、動詞とそれを修飾する副詞との関係が示されている。コーテーションに含まれた修飾語句と動詞との語順を理解して覚えよう。

なお、これらの修飾語句を先に訳すことにこだわるのは適切ではない。英語の語順どおり素直に意味を理解できるようにすることが大切である。

ア airplane 飛行機 (無生物)

a new airplane (新しい飛行機)

a painted airplane (塗装された飛行機)

a flying airplane (飛んでいる飛行機)

an airplane painted colorfully (カラフルに塗装された飛行機)

an airplane flying in the air (空を飛んでいる飛行機)

an airplane to be painted (塗装されるべき飛行機)

an airplane to be painted colorfully (カラフルに塗装されるべき飛行機)

an airplane in the airport (空港にある飛行機)

the airplane I want to board (私が乗りたい飛行機)

イ baby 赤ちゃん (人物など)  
a pretty baby (かわいい赤ちゃん)  
a cherished baby (可愛がられている赤ちゃん)  
a crying baby (泣いている赤ちゃん)  
a baby crying in the bed (ベッドで泣いている赤ちゃん)  
a baby cherished by all (みんなに可愛がられている赤ちゃん)  
a baby to be nursed (世話をされるべき赤ちゃん)  
a baby to be nursed carafully (気をつけて世話をされるべき赤ちゃん)  
a baby in the baby buggy (乳母車の赤ちゃん)  
the baby who is crying in the bed (ベッドで泣いている赤ちゃん)  
the baby I met yesterday (私が昨日逢った赤ちゃん)  
the baby whose eyes are blue (目が青い赤ちゃん)

ウ something 何か (不定代名詞など)  
something cold (何か冷たいもの)  
something to drink (何か飲むもの)  
something cold to drink (何か冷たい飲み物)  
something written (書かれた何か)  
something written on the wall (壁に書かれた何か)  
something moving in the dark (暗やみで動いているもの)  
something in the box (箱の中にある何か)  
something I saw yesterday (私が昨日見た何か)  
something that moved in the dark (暗やみで動いていた何か)

エ swim 泳ぐ (完全自動詞)  
I often swim. (私はよく泳ぐ)  
I never swim. (私は決して泳がない)  
I swim well. (私は上手に泳ぐ)  
I swim the fastest of all. (私はみんなの中でいちばん速く泳ぐ)  
I swim in the swimming pool. (私はプールで泳ぐ)  
I swim in the afternoon. (私は午後泳ぐ)  
I swim to cross the river. (私は川を横切るために泳ぐ)  
I swim to reach at the opposite side of the river. (私は泳いで川の向こう側に着く)  
I swim when I am free. (私はひまな時泳ぐ)  
I swim because it is hot today. (今日、暑いから私は泳ぐ)

⑤ 語源から単語を覚える方法

現在, 英米人の平均的な日常生活では1万語ぐらいが使われていると言われている。これらを1つずつ覚えていくのはそうやさしいことではない。

英語の単語は, その核(語根)となる部分の前後に接頭辞や接尾辞をつけることによって多くの複合語が作られ, その数が増えていく。

そこで基本的な語根及び接頭辞や接尾辞を覚え, それらが組み合わされて多くの複合語が派生していく関係を理解し覚えることが必要である。1から26までは1つの語根に接頭辞や接尾辞を結び付けて, 多くの複合語が派生していく関係を取り上げた。27から31までは, 一つの接頭辞にいろいろな語根を結び付けて複合語が派生する関係を取り上げた。

ア 語根に接頭辞や接尾辞を結びつけてできた単語

(1) a c t = (d o 行う)

a c t i v e	活動的な
a c t u a l	実際の
a c t u a l l y	実際に
a c t i v i t y	活動
a c t i o n	行動, 活動
a c t o r	俳優
r e a c t	反応する (r e もとに)
r e a c t i o n	反応

(2) a u d = (h e a r 聞く)

a u d i o	音声の
a u d i e n c e	聴衆
a u d i t i o n	(歌手などの) 試聴テスト
a u d i t o r i u m	講堂 (t o r i u m 場所)
a u d i b l e	聞くことのできる (b l e できる)
a u d i t o r	監査役 (o r 人)
i n a u d i b l e	聞き取れない (i n ~でない)

(3) a q u a = (w a t e r 水)

a q u a l u n g	アクアラング (l u n g 肺)
a q u a m a r i n e	アクアマリン (m a r i n e 海)
a q u a r i u m	水族館 (r i u m 場所)
s u b a q u e o u s	水面下の (s u b 下の)
a q u a n a u t	潜水技術者 (n a u t 人)
a q u a d u c t	水路, 高架式水道 (d u c t 導管)

	aquatic	水性の, 水生植物
	aquaplane	水上スキー板 (plane 板)
(4)	bat = (beat 打つ)	
	bat	バットで打つ, バット
	batter	打者 (er 人)
	battle	戦う, 戦い
	abate	弱くする, 減少させる (a ~の方へ)
	combat	戦う, 戦い (com ~と一緒に)
	debate	討論する, 戦う (de 強意)
(5)	bio = (life 生命)	
	biochemistry	生化学 (chemistry 化学)
	biography	伝記 (graphy 書く)
	biology	生物学 (logy 学問)
	autobiography	自叙伝 (auto 自らの graphy 書く)
	amphibious	水陸両生の (amphi 両方の)
	biologist	生物学者 (ist 人)
	bionics	生体工学 (ics 学問)
	biorhythm	生体リズム, バイオリズム (rhythm リズム)
	biotic	生命に関する
	biotechnology	生物工程 (techno 科学技術)
(6)	cent = (hundred 100)	
	century	100年, 1世紀
	centennial	100年祭
	percent	パーセント (per 各々に)
	percentage	百分率
	centigrade	100分度の→摂氏の (grade 段階)
	centimeter	100分の1メートル
	centipede	むかで (pede 足)
(7)	cre = (make 作る)	
	create	創造する
	creative	創造的な
	creator	創造者, 創作者 (or 人)
	creature	(神の) 創造物, 生物, 人

	creation	創造 (物)
	recreation	レクリエーション (re 再び)
(8)	dict = (say 言う)	
	dictate	(口で言って) 書き取らせる
	dictation	書き取り
	dictator	命令者, 独裁者 (or 人)
	dictionary	辞書
	predict	予言する (pre 前もって)
	prediction	予言, 予報
	contradict	否定する (contra 反対に)
	contradiction	否定
	indicate	指示する (in 中に)
(9)	fact, fect = (make 作る; do なす)	
	fact	事実
	factor	要因
	factory	工場
	manufacture	手工業 (manu 手)
	affect	影響を与える (af ~に対して)
	perfect	完全な (per すっかり)
	imperfect	不完全な (im ~でない)
	perfectly	完全に
	perfection	完全, 完全なもの
	infect	感染する (in 中へ)
	infectious	伝染病の
	defect	逃亡する, 欠陥 (de ~から離れて)
	defective	欠陥のある
	effect	結果, 効果 (e = ex 外へ)
	effective	効果のある
(10)	form = (形を作る)	
	transform	変形する (trans 向こうへ)
	transformation	変形
	uniform	制服 (uni 一つの)
	formal	形式の, 正式の
	informal	形式ばらない, 略式の (in ~でない)
	formality	形式

	f o r m a l l y	正式に
	f o r m a t i o n	形成
	f o r m u l a	決まり文句, 公式
	c o n f o r m	一致する, 従う (c o n ~と共に)
	c o n f o r m i t y	一致, 相似
	d e f o r m	形をくずす (d e ~からはなれて)
	d e f o r m a t i o n	形をくずすこと
	i n f o r m	知らせる (i n 中に)
	i n f o r m a t i o n	知識, 情報
	p e r f o r m	成し遂げる (p e r すっかり)
	p e r f o r m a n c e	遂行, (演劇の) 公演
	r e f o r m	改正する (r e 再び)
(11)	g a r d, g u a r d =	(k e e p; w a t c h 見張る)
	g u a r d	防ぐ, ガードマン
	g u a r d i a n	保護者, 管理者
	r e g a r d	注意する, 考慮する (r e 再び)
	d i s r e g a r d	無視する, 無視 (d i s ~でない)
	r e g a r d l e s s	不注意な, 無視して (l e s s ~がない)
(12)	g r a p h, g r a m =	(w r i t e 書く)
	p a r a g r a p h	段落 (p a r a かたわら)
	t e l e g r a p h	打電する, 電信 (t e l e 遠い)
	g r a m m a r	文法
	p r o g r a m	プログラム (p r o 前もって)
	t e l e g r a m	電報
	a u t o g r a p h	サイン (a u t o 自分で)
	a u t o b i o g r a p h y	自叙伝 (b i o 生きる)
	c a l l i g r a p h y	達筆, 書道 (c a l l i 美しい)
	g e o g r a p h y	地理 (g e o 地面)
	p h o t o g r a p h	写真 (p h o t e 光)
	p h o t o g r a p h e r	写真家 (e r 人)
(13)	j e c t =	(t h r o w 投げる)
	i n j e c t	注入する (i n 中へ)
	i n t e r j e c t i o n	不意の発声 (i n t e r ~の間)
	e j e c t	投げ出す (e = e x 外へ)

	conjecture	推測 (con 一緒に)
	subject	従属させる, 教科 (sub 下へ)
	reject	拒絶する (re 戻す)
	project	計画する (pro 前の方へ)
	object	反対する (ob ~に反対して)
	objection	反対
(14)	log, logy =	(speak 話す)
	epilogue	エピローグ (epi 後で)
	dialogue	対話 (dia 二つの)
	monologue	独白 (mono 単一)
	prologue	プロローグ (pro 前もって)
	logic	論理学
	biology	生物学 (bio 生きる)
	psychology	心理学 (psycho 心)
	zoology	動物学 (zoo 動物)
(15)	mani, manu =	(hand 手)
	manual	手引書, 手の, 力仕事の
	manifest	はっきりしている
	manipulate	操作する
	manipulation	操作
	manuscript	原稿 (script 書く)
	manufacture	手工業 (fact 作る)
	manufacturer	手工業者 (er 人)
(16)	memo =	(mindful 心に留めた)
	memorial	記念の, 記念物
	memorable	記念すべき, 忘れられない (able 可能な)
	remember	覚えている, 思い出す (re 再び)
	remembrance	記憶, 思い出
	memory	記念 記憶
	memorize	暗記する
	commemorate	記念する (com 十分に)
	commemoration	記念
(17)	mount =	(go up 登る)
	mountain	山
	mountainous	山の多い

	mountaineer	登山家 (er 人)
	mountaineering	登山
	amount	量 (a ~へ)
	dismount	降りる (dis ~でない)
(18)	oper = (work 行う)	
	operate	働く, 動く
	operator	交換手 (or 人)
	operation	働き, 操作, 手術
	cooperate	協力する (co=con 一緒に)
	cooperation	協力
(19)	part = (divide 分ける)	
	apart	分かれて, 離れて (a=ad ~に対して)
	apartment	アパートの一世帯分の住宅
	party	一行
	partly	一部は, 部分的に
	depart	出発する (de 離れて)
	departure	出発
	department	部
	impart	伝える (im 中)
	partial	部分的な, 不公平な
	impartial	公平な (im ~でない)
	participate	参加する
	participation	参加
	participant	参加者
	particular	特別の
	partner	相手 (er 人)
	participle	分詞
(20)	pend, pense = (hang ぶらさがる)	
	appendix	付録 (ap=ad ~に)
	pendulum	時計の振り子
	pending	未決定の
	pendant	ペンダント
	depend	頼る (de ~でない)
	dependent	頼っている
	independent	頼らない (in ~でない)

	i n d e p e n d e n c e	独立
	s u s p e n d	延期する (s u s = s u b 下に)
	s u s p e n s e	未解決, 不安
	i m p e n d i n g	差し迫った (i m ~に接して)
(21)	p o r t = (c a r r y 運ぶ)	
	p o r t e r	運搬人 (e r 人)
	i m p o r t	輸入する (i m 中へ)
	i m p o r t a n t	大切な, 重要な
	i m p o r t a n c e	重要
	p a s s p o r t	パスポート (p a s s 通る)
	e x p o r t	輸出する (e x 外へ)
	d i s p o r t	戯れる (d i s 離れる)
	p o r t a b l e	携帯用の (a b l e 可能な)
	r e p o r t	報告する 報告書 (r e 戻る)
	r e p o r t e r	レポーター
	s u p p o r t	支持する (s u p 下を)
	s u p p o r t e r	支持者, サポーター
	t r a n s p o r t	輸送する (t r a n s 向こうへ)
	t r a n s p o r t a t i o n	輸送
	d e p o r t	追放する (d e 去る)
(22)	p r e s s = (押す)	
	e x p r e s s	表現する (e x 外に)
	e x p r e s s i o n	表現
	d e p r e s s	不況にする (d e 下に)
	d e p r e s s i o n	不況
	c o m p r e s s	圧縮する (c o m 一緒に)
	p r e s s u r e	圧力, 圧迫
	i m p r e s s	印象づける (i m 中へ)
	i m p r e s s i o n	印象
	i m p r e s s i v e	印象的な
	o p p r e s s	悩ます (o p ~に対して)
	o p p r e s s i o n	圧迫, 虐待
	s u p p r e s s	鎮圧する (s u p = s u b 下に)
	s u p p r e s s i o n	鎮圧, 抑圧
	r e p r e s s	抑制する (r e 後へ)
(23)	s c o p e = (見る機械)	

microscope 顕微鏡 (micro 微小)  
 periscope 潜望鏡 (peri 周囲)  
 stereoscope 立体鏡 (stereo 立体)  
 telescope 望遠鏡 (tele 遠い)  
 optiscope オプチスコープ (opti 視覚の)  
 gyroscope ジャイロスコープ (gyrate 旋回する)  
 fiberscope ファイバースコープ (fiber 繊維)  
 kaleidoscope 万華鏡  
 stethoscope 聴診器

- (24) scrib, scrip = (write 書く)
- scribe 筆記者, 書家  
 script 文学, 台本  
 describe 述べる, 描く (de 下に)  
 inscribe 記入する, 彫る (in 中に)  
 inscription 銘, 碑文, 銘刻  
 manuscript 原稿, 写本 (manu 手で)  
 postscript 追伸, あと書き (post 後に)  
 prescribe 処方する, 規定する  
 (pre あらかじめ)  
 scripture 聖典, 教典  
 subscribe 署名する, 予約する (sub 下に)  
 subscriber 予約者, 加入者, 購読者 (er 人)
- (25) sect = (cut 切る)
- sect 分脈  
 section 区分  
 sector 部門, 扇形 (or もの)  
 intersection 交差点 (inter ~の間の)  
 dissect 解剖する (dis 離れる)  
 insect 昆虫 (in 中に)  
 insecticide 殺虫剤 (cide 殺す)
- (26) term = (end 終わり limit 限界)
- terminal 終点の, 末期, 終着駅  
 terminate 終わらせる, 終わる  
 termination 終末  
 determine はっきり決める (de 完全に)  
 determination 決心

	e x t e r m i n a t e	絶滅させる (e x 外へ)
	m i d t e r m	学期半ばの (m i d 中間の)
	t e r m - e x a m s	期末テスト
(27)	t r a c t = (d r a w 引っ張る)	
	a t t r a c t	引付ける (a t = a d ~の方へ)
	a t t r a c t i v e	人目を引く, 魅力的な
	a t t r a c t i o n	引付けるもの
	a b s t r a c t	抽象, 抽象的 (a b ~から離れて)
	c o n t r a c t	同意する, 契約する (c o n 一緒に)
	d i s t r a c t	そらす, 散らす (d i s 分かれて)
	e x t r a c t	抜粋する (e x 外へ)
	p r o t r a c t	長引かせる (p r o 前の方に)
	r e t r a c t	後ろへ引っ張る (r e 後に)
	s u b t r a c t	引く, 感じる (s u b 下に)
	t r a c t o r	牽引車, トラクター (o r もの)
(28)	u n i = (o n e 一つの)	
	u n i o n	組合, 連邦
	r e u n i o n	再会 (r e 再び)
	u n i q u e	独特の
	u n i f o r m	制服
	u n i f o r m i t y	一律
	u n a n i m o u s	満場一致 (a n i m o u 心)
	u n i v e r s i t y	総合大学
	u n i v e r s e	宇宙
	u n i v e r s a l	総体的な, 普遍的な, 共通の
	u n i t	一つにする, 結合させる
	u n i t y	単一性, 協調
	u n i s o n	斉唱, 一致
(29)	v i v = (l i v e 生きる)	
	v i v i d	生き生きとした
	v i v i d l y	生き生きと
	r e v i v e	生き返る, 復活させる (r e 再び)

	r e v i v a l	復活
	s u r v i v e	生き残る (s u r 越えて)
	s u r v i v a l	生存, 存続
	s u r v i v o r	生存者 (o r 人)
(30)	v i s = (s e e 見る)	
	v i s i o n	視力
	t e l e v i s i o n	テレビ (t e l e 遠い)
	v i s u a l	視覚の
	v i s u a l l y	視覚的に
	v i s u a l i z e	眼前に浮かびあがらせる (i z e ~化する)

イ 一つの接頭辞にいろいろな語根を結びつけてできた単語

(1)	t e l e = (f a r 遠い)	
	t e l e p h o n e	電話 (p h o n e 音)
	t e l e p h o t o g r a p h	望遠写真 (p h o t o 光, g r a p h 書く)
	t e l e s c o p e	望遠鏡 (s c o p e 見る)
	t e l e v i s i o n	テレビジョン (v i s i o n 見る)
	t e l e x	テレックス通信
	t e l e g r a m	電報 (g r a m 書く)
	t e l e g r a p h	電信 (g r a p h 書く)
	t e l e p o r t a t i o n	瞬間移動 (p o r t 運ぶ)
	t e l e p a t h y	テレパシー (p a t h y 感情)
(2)	t r a n s = (a c r o s s 横切って)	
	t r a n s f i g u r e	外観を変える (f i g u r e 姿)
	t r a n s c e n d	超越する
	t r a n s f u s e	注入する (f u s e 注ぐ)
	t r a n s p o r t	輸出する (p o r t 運ぶ)
	t r a n s m i s s i o n	伝送 (m i s s i o n 送る)
	t r a n s l a t e	翻訳する (l a t e 運ぶ)
	t r a n s p o r t e r	輸送者 (p o r t 運ぶ, e r 人)
	t r a n s p a c i f i c	太平洋横断の (p a c i f i c 太平洋)

transplant	移植する (plant 植物)
transcribe	写す (scribe 書く)
transact	取引する (act する)
transform	変形する (form 形)
(3) sub = (under 下に)	
subject	従属させる, 教科 (ject 投げる)
submarine	海底の (marine 海)
subscribe	署名する (scribe 書く)
subway	地下鉄 (way 道)
submission	服従 (mission 送る)
suburb	郊外 (urb=urban 都会)
subsist	生存する (sist 立つ)
(4) con = (together 一緒)	
concourse	広場 (course 走り集まる)
condition	条件 (dition 話し合う)
congratulate	祝う (gratu 喜ぶ)
connect	連結する (nect 結ぶ)
conserve	保存する (serve 守る)
contest	競争 (test ためす)
confuse	混乱する (fuse 注ぐ)
convenience	便利 (veni 来る)
(5) super = (above 超える)	
supernatural	超自然 (natural 自然の)
supermarket	スーパーマーケット (market 市場)
superman	スーパーマン (man 人)
superstar	スーパースター (star 星)
supersonic	超音速の (sonic 音の)
superjet	超音速ジェット機 (jet ジェット機)
superexpress	超特急 (express 急行)
superstition	迷信 (stition 目をみはること)
superimpose	字幕 (impose 課する)
supervisor	管理者 (vise 締める)

- (6) pre = (before 前の, 前もって)
- prehistoric 有史以前の  
(historic 歴史の)
- precaution 用心, 警戒, 予防策  
(caution 注意)
- precede 先に行く (cede 行く)
- prelude 前兆, 前奏曲
- prepay 前納する, 前払いする (払う pay)
- prewar 戦前の (war 戦争)
- prenatal 出産前の (nat 生まれる)
- previse 予知する (vise 見る)
- (7) multi = (many 多くの)
- multicolored 多色の, 多彩な  
(colored 色のついた)
- multiple 多様な
- multiplication 増加, 繁殖, 掛け算
- multination 多国籍 (nation 国)
- multiply 増やす (ply 重ねる)
- multitude 多数 (tude 状態)
- multimedia マルチメディア (media 媒体)
- multiform 多形の, 多様の (form 形)
- multilingual 多言語を話す  
(lingual 言語の)
- multipurpose 多目的 (purpose 目的)
- multiscreen マルチスクリーン  
(screen 画面)
- (8) pan = (all 全ての, 総)
- pan-American 全米の
- pan-pacific 汎太平洋の, 全太平洋の
- panorama 広大な眺め, 全景, 概観
- pantheism 多神教 (the 神, ism 考え)
- panacea 万能の対策, 万能薬
- pandemic 全地域に広がる
- (9) bi = (two, twice 2つの)
- biannual 年2回の, 2年ごとの, 隔年の

	(a n n u a l 年1回の)
b i c a m e r a l	二院制の
b i c e p s	二頭筋
b i c y c l e	自転車 (c y c l e 車輪)
b i f o c a l	2焦点の, 遠近両用の
b i l i n g u a l	2カ国語による, 2カ国語が話せる (l i n g u a l 言語の)
b i n a u r a l	両耳用の, 立体音の
(10) f o r e =	(b e f o r e 前)
f o r e a r m	前腕, 二の腕 (a r m 腕)
f o r e f a t h e r	祖先, 先祖 (f a t h e r 父)
f o r e f o o t	前足 (f o o t 足)
f o r e h e a d	額, 前頭部 (h e a d 頭)
f o r e n a m e	(性に対する) 名 (n a m e 名)
f o r e w o r d	序文, 前書き (w o r d 言葉)
f o r e c a s t	予報する, 予測する (c a s t 投げかける)
f o r e s e e	予知する, 予見する (s e e 見る)
f o r e m o s t	真っ先に (m o s t 最も)
f o r e f r o n t	最前線, 活動の中心 (f r o n t 前)
(11) i n t e r =	(b e t w e e n ~の間)
i n t e r v a l	間隔, 合間, 音程 (v a l = w a l l)
i n t e r c h a n g e	インターチェンジ, 立体交差点 (c h a n g e 変える)
i n t e r c h a n g e a b l e	交換できる (a b l e 出来る)
i n t e r c o m m u n i c a t i o n	相互の交通, 交際, 連絡 (c o m m u n i c a t i o n 伝達)
i n t e r p e r s o n a l	個人と個人の間, 人間関係の (p e r s o n a l 個人の)
i n t e r p o s e	間に入る, 仲裁に入る (p o s e 置く)
i n t e r r e l a t i o n	相互関係 (r e l a t i o n 関係)
i n t e r n a t i o n a l	国際的な (n a t i o n 国)
i n t e r c o u r s e	交際 (c o u r s e 進む, 走る)
i n t e r f a c e	共通部分, 共通領域
i n t e r v i e w	会見, 面接 (v i e w 見る)
i n t e r a c t i o n	相互作用
I n t e r n e t	インターネット

(12) re = (again, back 再び, 戻す)

recollect	思い出す (collect 集める)
reform	改正する, 改革する (form 形づくる)
revise	改訂する, 修正する
return	戻る
revive	生き返る, 復活する (vive 生きる)
revival	再生, 復活, 復興
replay	再試合, 再演, (テレビの) 再生 (play する, 演ずる)
reprint	復刻, 再版する (print 印刷する)
require	要求する (quire 求める)
request	リクエストする, 頼む (quest 求める)
recreate	気晴らしをさせる (create 創る)

ウ 一つの接尾辞にいろいろな語根を結びつけてできた単語

(1) able = (able 可能な, ~できる)

portable	持ち運びが出来る, 携帯用の (port 運ぶ)
reportable	報告できる, 報道に値する (report 報告する)
available	価値のある, 利用できる (avail 役に立つ)
imaginable	想像できる (imagine 想像する)
practicable	実行可能な, 使用できる (practice 実行する)
printable	印刷可能な (print 印刷する)
claimable	要求できる (claim 要求する)
fusible	可溶性の (fuse 溶かす)
adaptable	適応できる (adapt 適応する)
flexible	柔軟な (flex 曲げる ible = able)
capable	有能な (cap つかむ)

(2) er, ar, or, ist, an, ess = (~する人)  
ee = (~される人)

player	選手, 演奏者 (play 競技をする, 演奏する)
singer	歌手 (sing 歌う)

c o n d u c t o r 指揮者, 案内者, 車掌  
( c o n d u c t 導く)  
a c t o r 俳優 ( a c t 演じる)  
p i a n i s t ピアニスト ( p i a n o ピアノ)  
s c i e n t i s t 科学者 ( s c i e n c e 科学)  
m a g i c i a n 手品師 ( m a g i c 手品)  
g u a r d i a n 保護者, 管理者 ( g u a r d 守る)  
p r i n c e s s 王女  
e m p l o y e e 従業員 ( e m p l o y 雇う)  
e x a m i n e e 受験者 ( e x a m i n e 試験をする)

(3) l e s s = ( w i t h o u t ~のない)  
c a r e l e s s 不注意な ( c a r e 注意, 用心)  
c o r d l e s s コードなしの ( c o r d コード)  
e n d l e s s 果てしない ( e n d 終わり)  
h a r m l e s s 無害の ( h a r m 害)  
p a p e r l e s s 紙を使わない ( p a p e r 紙)  
s e a m l e s s 縫い目のない ( s e a m 縫い目)  
s t a i n l e s s ステンレス ( s t a i n しみ)  
s u g a r l e s s 無糖の ( s u g a r 砂糖)  
u s e l e s s 無駄な, 無益な ( u s e 使いみち)  
w i r e l e s s 無線の ( w i r e 電線)

⑥ 中学基本英単語・熟語（品詞別・類別）

この一覧表では、二つ以上の品詞をもつ語についてはその品詞をすべて載せ、行末に品詞記号で示してある。訳語はごく基本的なもののみを記してある。

○ 単語

1 名詞

(1) 天文，自然，気象に関する名詞

s k y	空
s t a r	星 (動)
s u n	太陽，日光
m o o n	月
e a r t h	地球，地面
e a s t	東 (形) (副)
w e s t	西 (形) (副)
s o u t h	南 (形) (副)
n o r t h	北 (形) (副)
s e a s o n	季節
s p r i n g	春，泉 (動)
s u m m e r	夏 (形)
a u t u m n	秋
f a l l (米) = a u t u m n	秋 (動)
w i n t e r	冬
s e a	海
r i v e r	川
l a k e	湖
p o n d	池
m o u n t a i n	山
M t. = m o u n t	山
h i l l	丘，小山
d a y	日，昼間
n i g h t	夜，晚
m o r n i n g	朝，午前
n o o n	正午
a f t e r n o o n	午後
e v e n i n g	夕方，晚
w i n d	風

r a i n	雨 (動)
s n o w	雪 (動)
c l o u d	雲, 曇り (動)

(2) 月, 曜日に関する名詞

J a n u a r y	1月
F e b r u a r y	2月
M a r c h	3月
A p r i l	4月
M a y	5月
J u n e	6月
J u l y	7月
A u g u s t	8月
S e p t e m b e r	9月
O c t o b e r	10月
N o v e m b e r	11月
D e c e m b e r	12月
S u n d a y	日曜日
M o n d a y	月曜日
T u e s d a y	火曜日
W e d n e s d a y	水曜日
T h u r s d a y	木曜日
F r i d a y	金曜日
S a t u r d a y	土曜日

(3) 時間, 色に関する名詞

y e a r	年, 歳
m o n t h	月
w e e k	週
h o u r	時間
m i n u t e	分, ほんのちょっとの時間
t i m e	時刻, 時間, 時代, 時, 回
y e s t e r d a y	昨日 (副)
t o d a y	今日, 現代 (副)
t o m m r o w	明日 (副)
c o l o (u) r	色, 絵の具 (動)
w h i t e	白 (色) (形)
b l a c k	黒 (色) (形)

r e d	赤 (色) (形)
y e l l o w	黄 (色) (形)
b l u e	青 (色) (形)
g r e e n	緑 (色) (形)
b r o w n	茶色 (形)

(4) 動物, 植物に関する名詞

a n i m a l	動物
b i r d	鳥
c a t	猫
c o w	雌牛
d o g	犬
f i s h	魚
h o r s e	馬
f l o w e r	花
g r a s s	草
t r e e	木
w o o d	森, 木材
l i l y	ユリ
r o s e	バラ

(5) 人間, 人体, 食物, 食事に関する名詞

m a n	人間, 男, 大人
m e n	m a n の複数
w o m a n	婦人
w o m e n	w o m a n の複数
b a b y	赤ん坊
c h i l d	子供
c h i l d r e n	c h i l d の複数
b o y	少年, 乳児
g i r l	少女
f a t h e r	父親
m o t h e r	母親
f a m i l y	家族
p e o p l e	人々
s o n	息子
d a u g h t e r	娘
b r o t h e r	兄 (弟)

s i s t e r	姉 (妹)
u n c l e	おじ
a u n t	おば
g e n t l e m a n	紳士
l a d y	貴婦人
f r i e n d	友人, 味方
t e a c h e r	先生, 教師
s t u d e n t	生徒
d o c t o r	医者
c o o k	コック, 料理人 (動)
M r . = m i s t e r	さん, 君
M r s . = m i s t r e s s	婦人
M s .	さん
M i s s	嬢
h a i r	毛, 頭髪
h e a d	頭, 長
f a c e	顔 (動)
e a r	耳
e y e	目, 視力
n o s e	鼻
m o u t h	口
h a n d	手
f o o t	足, フィート (単位)
f e e t	f o o t の複数
b a c k	背中, 後
b r e a d	パン, 食物
c a k e	菓子, ケーキ
c o f f e e	コーヒー
a p p l e	りんご
f r u i t	くだもの
o r a n g e	オレンジ
m e a t	食用肉
m i l k	牛乳, ミルク (動)
e g g	たまご
s u g a r	砂糖
t e a	茶

f o o d	食物
b r e a k f a s t	朝食
l u n c h	昼食
s u p p e r	夕食
d i n n e r	夕食, ごちそう
d i s h	料理, 皿

(6) 建造物, 公共施設に関する名詞

b r i d g e	橋
b u i l d i n g	建物, 建築物
h o m e	家, 家名 (形) (副)
h o t e l	ホテル
h o u s e	家
l i b r a r y	図書館, 蔵書
s c h o o l	学校, 授業
s t a t i o n	駅, 所, 局 (動)
s h o p	店 (動)
s t o r e	店, 貯え (動)
p a r k	公園, 駐車場 (動)
r o a d	道路
s t r e e t	街路, 通り
c l a s s r o o m	教室
r o o m	部屋, 余地
k i t c h e n	台所
b a t h	風呂, 入浴
s t u d y	書齋, 勉強 (動)
f l o o r	床, (建物の) 階
d o o r	戸, ドア
g a t e	門, 玄関
w i n d o w	窓
g a r d e n	庭園 (動)
w a l l	壁, 塀
c o u n t r y	国, 田舎
c i t y	市, 都市
t o w n	町, 都会
v i l l a g e	村, 村民

(7) 国, 地域に関する名詞

Amer i c a	アメリカ
Amer i c a n	アメリカ人 (形)
A s i a	アジア
Eng l a n d	イギリス
Eng l i s h	イギリス人, 英語 (形)
Eur o p e	ヨーロッパ
J a p a n	日本
J a p a n e s e	日本人, 日本語 (形)

(8) 日用品に関する名詞

b a g	かばん, 袋
b a l l	球, ボール
b a s k e t	かご
b e d	ベッド, 川床
b e n c h	ベンチ
b l a c k b o a r d	黒板
b o o k	本
b o x	箱
c a p	(つばのない) 帽子
c h a i r	椅子
c h a l k	白墨, チョーク
c l o c k	柱 (掛け) 時計
c u p	茶碗
d e s k	机
d i a r y	日記 (帳)
d i c t i o n a r y	辞書
d o l l	人形
g l a s s	ガラス, コップ, (複数) 眼鏡
h a t	(つばのある) 帽子
i n k	インク
k n i f e	ナイフ
m a p	地図 (帳)
n e w s p a p e r	新聞 (紙)
n o t e b o o k	ノート
p a p e r	紙, 新聞
p e n	ペン

pencil	鉛筆
piano	ピアノ
picture	絵, 写真, 映画
radio	ラジオ
shoes	靴
table	テーブル
telephone	電話 (器) (動)
television	テレビ
watch	腕 (懐中) 時計, 見張り

(9) 運動, 乗り物に関する名詞

baseball	野球
skate	スケート (靴) (動)
ski	スキー (動)
tennis	テニス
game	競技, 試合
sport	スポーツ
bicycle	自転車
boat	ボート, 小舟
bus	バス
car	車, 自動車
plane	飛行機, 平面
train	列車, 汽車

(10) 数に関する名詞

one	1
two	2
three	3
four	4
five	5
six	6
seven	7
eight	8
nine	9
ten	10
eleven	11
twelve	12
thirteen	13

f o u r t e e n	1 4
f i f t e e n	1 5
s i x t e e n	1 6
s e v e n t e e n	1 7
e i g h t e e n	1 8
n i n e t e e n	1 9
t w e n t y	2 0
t h i r t y	3 0
f o r t y	4 0
f i f t y	5 0
s i x t y	6 0
s e v e n t y	7 0
e i g h t y	8 0
n i n e t y	9 0
h u n d r e d	1 0 0
t h o u s a n d	1 0 0 0
f i r s t	第1
s e c o n d	第2
t h i r d	第3
f o u r t h	第4
f i f t h	第5
s i x t h	第6
s e v e n t h	第7
e i g h t h	第8
n i n t h	第9
t e n t h	第10
e l e v e n t h	第11
t w e l f t h	第12

(11) その他の名詞

c e n t e r	中央, 中心
c l a s s	級, 学級
c l u b	クラブ
f a r m	農場
f i e l d	野原, 競技場
h o l i d a y	休日
l e f t	左 (形) (副)

l e s s o n	学科, 授業
l e t t e r	手紙, 文字, (複数) 学問, 文学
l i g h t	光 (形) (動)
m a i l	郵便 (物) (動)
m i l e	マイル
m o n e y	お金, 金銭
m u s i c	音楽
n a m e	名前
p a g e	ページ
p o c k e t	ポケット
q u e s t i o n	質問, 問題
r i g h t	正しいこと, 権利, 右 (形) (副)
s o n g	歌
s t o n e	石, 石材
s t o r y	物語, ~階
t h i n g	物, こと
w a t e r	水
w a y	道 (のり), 方法, 方向
w o r d	(単) 語, 言葉, 約束, 伝言
w o r l d	世界, 世の中

## 2 代名詞

### (1) 人や物につけて用いる代名詞

I	私は (が)
m y	私の
m e	私に
m i n e	私のもの
m y s e l f	私自身
y o u	あなた (たち) (が) ~ (に)
y o u r	あなた (たち) の
y o u r s	あなた (たち) のもの
y o u r s e l f	あなた自身
y o u r s e l v e s	あなたたち自身
h e	彼は (が)
h i s	彼の, 彼のもの
h i m	彼を (に)
h i m s e l f	彼自身

s h e	彼女は (が)
h e r	彼女の, 彼女を (に)
h e r s	彼女のもの
h e r s e l f	彼女自身
i t	それは (が), それを (に)
i t s	そのの
w e	我々は (が)
o u r	我々の
u s	我々を (に)
o u r s	我々のもの
o u r s e l v e s	我々自身
t h e y	彼らは (が), それらは (が)
t h e i r	彼らの, それらの
t h e m	彼らを (に), それらを (に)
t h e i r s	彼らのもの
t h e m s e l v e s	彼ら (それら) 自身
t h i s	これは (を) (形) (副)
t h e s e	t h i s の複数 (形)
t h a t	あれは (を) (形) (節)
t h o s e	t h a t の複数 (形)
s u c h	このような, そのような (形)
s a m e	同じようなこと (もの) (形)
a l l	すべて (形) (副)
b o t h	両方 (形)
a n y	何か, どれか (形) (副)
s o m e	ある人 (もの), いくらか (形)
e v e r y	みんな (形)
e a c h	めいめい (形)
o n e	人, 物, 一つ, 一人 (名) (形)
o t h e r	他の人 (物) (形)
a n o t h e r	もう一つの物, この人 (形)
e i t h e r	どちらか一方 (副) (接)
e v e r y o n e	誰でも
a n y o n e	誰か, 誰でも
s o m e o n e	誰か
e v e r y t h i n g	何でも

a n y t h i n g 何か, 何でも  
s o m e t h i n g あるもの

(2) 疑問詞や関係詞として用いる代名詞

w h o 誰が ~するところの人 (物)  
w h o s e 誰の ~するところの人  
w h o m 誰を (に), ~するところの人  
w h a t 何が (を), ~するところの (物)  
(こと) (形)  
w h i c h どちらの, ~するところの (物)  
(こと) (形)  
t h a t ~するところの (物) (こと) (形)  
a s のような (接) (前) (副)

3 冠詞, 形容詞

a 一つの, ~につき  
a n 一つの  
t h e その, あの (副)  
a l l 全部の (代) (副)  
a n o t h e r もう一つの, 他の (代)  
a n y 何か, いくらか, 誰も (代) (副)  
b a c k 後の (名) (副)  
b a d 悪い, (病気等の) 重い  
b e s t g o o d, w e l l の最上級 (名)  
(副)  
b e t t e r g o o d, w e l l の比較級 (副)  
b i g 大きい, 成長した  
b o t h 両方とも (代)  
b u s y 忙しい, (電話が) 話し中で  
c l e a n 清潔な (動) (副)  
c l o u d y 曇りの  
c o l d 寒い, 冷たい (名)  
d a r k 暗い, 濃い (名)  
d e a r 親愛な  
d o w n 下りの (副) (前)  
e a c h 各々の (代)  
e a r l y 早い (副)  
e a s y 容易な, 安楽な

e i t h e r	どちらかの, 各々の (代) (副) (接)
e n o u g h	十分な (名) (副)
e v e n	平らな (副)
e v e r y	すべての (代)
f a r	遠い, はるかな (副)
f a s t	速い (副)
f e w	少数の, ほとんどない (名)
f i n e	立派な, 晴れた
g l a d	うれしい
g o o d	よい, おいしい, 上手な (名)
g r e a t	偉大な, 大きな
h a l f	半分の (名) (副)
h a p p y	幸福な, うれしい
h a r d	固い, 難しい, 熱心な (副)
h i g h	高い, 高級な (副)
h o t	暑い (気候), 熱い (熱), 熱した
i l l	病気の, 悪い (副)
i n t e r e s t i n g	おもしろい
j u s t	正しい, 公平な (副)
k i n d	親切な (名)
l a r g e	大きい, 広い
l a s t	最後の, この前の (名)
l a t e	遅い, 最近の (副)
l e f t	左の (名) (副)
l i g h t	明るい (名) (動)
l i t t l e	小さい, 少しの, ほとんどない (名) (副)
l o n g	長い (名) (副)
l o w	低い, 安い (副)
m a n y	多数の (名) (代)
m o r e	m a n y, m u c h の比較級 (名) (副)
m o s t	m a n y, m u c h の最上級 (名) (副)
m u c h	多量の (名) (副)
n e a r	近い (副) (前)

n e w	新しい
n e x t	次の, 隣の (副)
n i c e	よい, 結構な
n o	少しも～ない (副)
o f f	離れた (副) (前)
o l d	年とった, 古い
o n e	一つの, ある (名) (代)
o n l y	ただ一つの (副)
o t h e r	他の, 別の (代)
p a s t	過去の (名) (副) (前)
p o o r	貧乏な, かわいそうな, へたな
p r e s e n t	出席して, 現在の (名) (動)
p r e t t y	きれいな (副)
r a i n y	雨降りの
r e a d y	準備ができて
r i c h	金持ちの
r i g h t	正しい, 右の (名) (副)
s a m e	同じ, 同様の (代) (副)
s h o r t	短い, 足りない (副)
s i c k	病気で (の)
s m a l l	小さい
s o m e	いくつ (いくら) かの何か (代)
s o r r y	気の毒に思う, 残念に思う
s t i l l	静かな (副)
s t r o n g	強い, 濃い
s u c h	その (この) ような, たいそう (代)
t a l l	背の高い
t h a t	あの (その) (代) (接)
t h e s e	これらの (代)
t h i s	この (代) (副)
t h o s e	それら (あれら) (代)
t h r o u g h	通して (副) (前)
u p	登りの (副) (前)
v e r y	まさにその (副)
w a r m	暖かい (動)
w e l l	健康に (副) (間投)

what	何の, どんな, 何という (代)
which	どちらの (代)
wide	広い (副)
young	若い (名)

#### 4 副詞

about	およそ, 周りを (前)
above	上方に (前)
after	後に (前) (接)
again	再び
ago	(今より) 前に
all	すべて (代) (形)
almost	ほとんど
along	沿って (前)
already	すでに
also	~もまた
always	いつも, 常に
any	少し (で) も (代) (形)
as	~と同じく (代) (前) (接)
away	離れて
back	後に (へ) (名) (形)
before	前に (前) (接)
behind	後に (前)
best	wellの最上級 (名) (形)
better	wellの比較級 (形)
between	間に (前)
but	ほんの (前) (接)
by	そば, 近くに (前)
clean	きれいに (動) (形)
down	下へ (に) (形) (前)
early	早く (形)
either	~もまた (ない) (形) (接)
else	その外に (接)
enough	十分な (名) (形)
even	~でさえも (形)
ever	かつて, いつか
far	遠くに, ずっと (形)

f a s t	早く, ぐっすりと (形)
f i r s t	はじめに (名) (形)
h a r d	一生懸命に, ひどく (形)
h e r e	ここに (で)
h i g h	高く (形)
h o w	どのように
i l l	悪く (形)
j u s t	ちょうど (形)
l a t e	遅く (形)
l i t t l e	少しは, ほとんどない (名) (形)
l o n g	長い間 (名) (形)
l o w	低く, 安く (形)
m o r e	もっと, さらに (名) (形)
m o s t	もっとも (名) (形)
n e a r	近く (形) (前)
n e v e r	決して~ない
n e x t	次に (形)
n o	いいえ (形)
n o t	~ない
n o w	今, さあ, さて
o' c l o c k	~時
o f f	離れて (形) (前)
o f t e n	しばしば
o n	続けて, 身につけて, 通じて (前)
o n c e	一度, かつて (名) (接)
o n l y	単に, たった (形)
o u t	外に (へ), 消えて
o v e r	終わって, 向こうに, 繰り返して (前)
p a s t	過ぎて (名) (形) (前)
p e r h a p s	たぶん
p r e t t y	かなり (形)
q u i c k l y	素早く
q u i t e	まったく
r o u n d	回って (名) (形) (前)
s a m e	同様に (代) (形)
s h o r t	急に (形)

s i n c e	その後 (前) (接)
s l o w l y	ゆっくり
s o	そう, そんなに (代) (形)
s o m e t i m e s	ときどき
s o o n	間もなく, すぐに
s t i l l	まだ, それでもなお (形)
t h e	～すればするほどますます, それだけ (冠)
t h e n	その時に, それから, それでは
t h e r e	そこに (で)
t h i s	それだけ (形) (接)
t h r o u g h	貫いて, 通して (形) (前)
t o d a y	今日, 現在 (名)
t o g e t h e r	一緒に
t o m o r r o w	明日 (名)
t o o	～もまた, あまりに～すぎる
u p	上に, 上って, おきて (形) (前)
v e r y	非常に (形)
w e l l	よく, 上手に (形) (間投)
w h e n	いつ, ～する (時) (接)
w h e r e	どこに (へ), ～する (所)
w h y	なぜ, ～する (理由) (間投)
w i d e	広く (形)
w i t h o u t	外 (側) に (前)
y e s	はい
y e s t e r d a y	昨日 (名)
y e t	まだ～ない, もう, まだ～だ (接)

## 5 動詞, 助動詞

(1) 規則変化 (d, e dをつけて過去, 過去分詞をつくるもの) 動詞

a n s w e r	答える (名)
a r r i v e	到着する
a s k	たずねる, 頼む
c a l l	呼ぶ, 訪ねる (名)
c a r r y	運ぶ, 伝える
c l e a n	きれいにする (形) (副)
c l i m b	登る

c r o s s	横切る (名) (形)
c r y	叫ぶ, 泣く (名)
d a n c e	踊る (名)
f i n i s h	終わる, 終わる (名)
h e l p	助ける, 手伝う (名)
h o p e	望む, 期待する (名)
i n v i t e	招く, 誘う
k n o c k	打つ, たたく (名)
l e a r n	学ぶ, 覚える
l i k e	好む, ~したい (名)
l i s t e n	聞く
l i v e	住む, 生きる
l o o k	見る, 見える (名)
l o v e	愛する (名)
n e e d	必要とする (名) (助)
o p e n	開く, 開ける, 始まる, 始める (形)
p a i n t	塗る, 描く (名)
p l a y	遊ぶ, 演じる, 競技をする, 弾く (名)
p l e a s e	喜ばす, 好む
p r e s e n t	贈る (名) (形)
r e a c h	着く, 到着する
s m i l e	微笑する (名)
s t a r t	出発する, 始まる, 始める (名)
s t a y	とどめる (名)
s t u d y	学ぶ (名)
t a l k	話す, しゃべる (名)
t h a n k	感謝する (名)
t r a i n	訓練する (名)
t r y	試みる, 努力する (名)
t u r n	回転する (させる), 変える, 変わる (名)
u s e	使用 (利用) する (名)
v i s i t	訪問する (名)
w a i t	待つ, 給仕する
w a l k	歩く (名)
w a n t	欲する, ~したい (名)

w a s h	洗う
w i s h	願う, 望む (名)
w o r k	働く, 勉強する (名)

(2) 不規則変化 ((1)以外の場合のもの) 動詞

b e (a m, i s, a r e)	～である, ～がいる
b e c o m e	～になる
b e g i n	始める, 始まる
b r e a k	壊す, 破る
b r i n g	持ってくる
b u i l d	建てる
b u y	買う
c a t c h	とらえる, 理解する
c o m e	来る
c u t	切る, 切れる, 刈る (名)
d o, d o e s	する (助)
d r a w	ひく, 描く
d r i n k	飲む (名)
d r i v e	運転する (名)
e a t	食べる
f a l l	落ちる, 倒れる (名)
f i n d	見付ける, 分かる
f l y	飛ぶ, 飛ばす (名)
f o r g e t	忘れる
g e t	得る, ～になる
g i v e	与える, 払う
g o	行く, 去る
g r o w	成長する, 育てる
h a v e, h a s	持つ (助)
h e a r	聞く, 聞こえる
h o l d	持つ, もよおす
k e e p	保つ, ～にしておく
k n o w	知っている
l e a v e	去る, そのままにしておく
l e n d	貸す
l e t	～させる, 貸す
l i e	横になる, 位置する

l o s e	失う, 遅れる
m a k e	作る, ~を~にする, ~になる (名)
m e e t	会う, 出迎える (名)
p u t	置く
r e a d	読む
r i d e	乗る (名)
r i s e	登る, 起きる (名)
r u n	走る, 流れる (名)
s a y	言う
s e e	見る, 逢う, 分かる
s e l l	売る, 売れる
s e n d	贈る
s h i n e	光る, 輝く (名)
s h o w	示す, 見せる (名)
s h u t	閉じる, 締める (形)
s i n g	歌う, さえずる
s i t	座る
s l e e p	眠る (名)
s p e a k	話す, 言う
s p e n d	費やす, 過ごす
s p r i n g	はねる (名)
s t a n d	立つ, 位置する (名)
s w i m	泳ぐ (名)
t a k e	取る, 連れていく
t e a c h	教える
t e l l	話す, 言う
t h i n k	考える
t h r o w	投げる (名)
u n d e r s t a n d	理解する
w r i t e	書く

(3) 助動詞

b e	進行形, 受け身, b e + ~ t o ~ (動)
c a n	~できる, ~してもよい
c o u l d	c a n の過去
d o, d o e s	疑問文, 否定文 (動)
h a d	h a v e の過去 (動)

h a v e , h a s	+過去分詞でと現在完了形 (動)
m a y	～しても
m u s t	～しなければならない
n e e d	～する必要がある
s h a l l	～であろう
s h o u l d	s h a l l の過去
w i l l	～であろう
w o u l d	w i l l の過去

## 6 前置詞

a b o u t	～について, ～ごろ, ～の周りに (副)
a b o v e	～の上に (へ) (副)
a c r o s s	～を横切って (副)
a f t e r	～の後に (副)
a l o n g	～に沿って (副)
a m o n g	～の中で
a s	～として (代) (副) (接)
a t	～に, ～で
b e f o r e	～の前に (副) (接)
b e h i n d	～の後に (副)
b e s i d e	～の側に (の)
b e t w e e n	～の間に (副)
b u t	～を除いて (副) (接)
b y	～の側に, ～によって, ～までに (副)
d o w n	～の下方へ (形) (副)
d u r i n g	～の間中
f o r	～のために (接)
f r o m	～から
i n	～の中に (副)
i n t o	～の中へ
n e a r	～の近くに (形) (副)
o f	～の, ～について
o f f	～から離れて (形) (副)
o n	～の上に, ～日に (副)
o v e r	～の上に, ～を超えて, ～一面に (副)

p a s t	～すぎ (名) (形) (副)
r o u n d	～の周りに (名) (形) (副)
s i n c e	～以来 (副) (接)
t h r o u g h	～を通して (形) (副)
t i l l	～まで (接)
t o	～へ, ～に対して
u n d e r	～の下に
u p	～の上に (形) (副)
w i t h	～と共に, ～で
w i t h o u t	～なしで (副)

## 7 接続詞

a f t e r	～した後で (副) (前)
a n d	～と～, そして
a s	～しながら, ～なので, ～のように (代) (副) (前)
b e c a u s e	なぜならば
b e f o r e	しないうちに (副) (前)
b u t	しかし (副) (前)
e i t h e r	～か～か, (代) (形) (副)
e l s e	さもないと (副)
f o r	というのは (前)
i f	もし～ならば, たとえ～でも, ～かどうか
o n c e	一度～すると (名) (副)
o r	あるいは, さもないと, すなわち
s i n c e	～して以来 (副) (前)
s o	そういうわけで (代) (副)
t h a n	～より
t h a t	～という (こと) (代) (形)
t h o u g h	～だけれど, たとえ～でも (副)
t i l l	～するまで (前)
w h e n	～するときに (副)
y e t	だが, それでも (副)

## 8 間投詞

g o o d b y e	さようなら
w e l l	まあ, さて (形) (副)
w h y	おや, まあ (副)

○ 熟語

1 数量, 程度を表すもの

a few	多少の, 少しはある
a little	少しはある
a lot of	たくさん
a pair of	一組みの
a piece of	一片の
as ~ as	と同じくらい~
as ~ as ~ can	~ができるだけ~
plenty of	たくさん
so ~ that	たいへん~なので~
too ~ to	あまり~で~できない

2 時間, 場所を表すもの

as soon as	するとすぐに
at once	すぐに
in front of	~の前に
out of	~から

3 動作, 状態を表すもの

be able to	~できる
be fond of	~を好む
be full of	~で満ちている
be interested in	~に興味を持っている
had better	~したほうがよい
have to	~しなければならない

4 関連を表すもの

both ~ and	両方とも
each other	お互いに (二つの場合)
either ~ or ~	~か~か
one another	お互いに (三つ以上の場合)

5 その他

of course	もちろん
-----------	------

⑦ 国, 地域に関する名詞

Africa [æfrɪkə] (名) アフリカ

African [æfrɪkən]	(名) アフリカ人
	(形) アフリカ (人) の
America [əməˈrɪkə]	(名) アメリカ, 米国
America [əməˈrɪkən]	(名) アメリカ人
	(形) アメリカ (人) の
Asia [éiʒə/éiʃə]	(名) アジア
Atlantic [ətɫæntɪk] (the Atlantic)	(名) 大西洋
	(形) 大西洋の
Australia [ɔ(:)stréɪljə]	(名) オーストラリア
Britain [brɪtən]	(名) 大英帝国
British [brɪtɪʃ]	(形) 英国 (人) の
Canada [kænədə]	(名) カナダ
China [tʃáinə]	(名) 中国
Chinese [tʃaɪní:z]	(名) 中国人 (語)
	(形) 中国人 (語) の
Egypt [í:dʒɪpt]	(名) エジプト
England [ɪŋɡlənd]	(名) イギリス, イングランド, 英国
English [ɪŋɡlɪʃ]	(形) イギリス (人) の,
	(名) 英国
Englishman [ɪŋɡlɪʃmən]	(名) イギリス人, 英国人
Europe [jú(:)rəp/júərəp]	(名) ヨーロッパ
European [ju(:)rəpi(:)ən]	
	[juərəpi(:)ən]
	(名) ヨーロッパ人
	(形) ヨーロッパ人の
France [fræns/frɑ:ns]	(名) フランス
French [frɛntʃ]	(名) フランス人 (語)
	(形) フランス (人・語) の
Germany [dʒə:məni]	(名) ドイツ
German [dʒə:mən]	(名) ドイツ人 (語)
	(形) ドイツ (人・語) の
Greece [grɪ:s]	(名) ギリシア
Greek [grɪ:k]	(名) ギリシア人 (語)
	(形) ギリシア (人・語) の

I n d i a [ ɪ n d i ə ]	(名) インド
I n d i a n [ ɪ n d i ə n ]	(名) インド人, インディアン (形) インドの
I t a l y [ ɪ t ə l i ]	(名) イタリア
I t a l i a n [ i t æ l j ə n ]	(名) イタリア人 (語) (形) イタリア (人・語) の
J a p a n [ d ʒ ə p æ n ]	(名) 日本
J a p a n e s e [ d ʒ ə p æ n i : z ]	(名) 日本人 (語) (形) 日本 (人・語) の
L o n d o n [ l ʌ n d ə n ]	(名) ロンドン (英国の首都)
N e w Y o r k [ n j u : j ɔ : k ]	(名) ニューヨーク
P a c i f i c [ p ə s ɪ f i k ] ( t h e P a c i f i c )	(名) 太平洋
P a r i s [ p æ r i s ]	(名) パリ (フランスの首都)
R u s s i a [ r ʌ ʃ ə ]	(名) ロシア
R u s s i a n [ r ʌ ʃ ə n ]	(名) ロシア人 (語) (形) ロシア (人・語) の
S a n F r a n c i s c o [ s æ n f r ə n s i s k o u ]	(名) サンフランシスコ
S c o t l a n d [ s k ɔ t l ə n d / s k ɔ t l ə n d ]	(名) スコットランド
S p a i n [ s p e i n ]	(名) スペイン
S p a n i s h [ s p æ n i ʃ ]	(名) スペイン人 (語) (形) スペイン (人・語) の都
S w i t z e r l a n d [ s w ɪ t s ə l ə n d ]	(名) スイス
U n i t e d S t a t e s ( o f A m e r i c a ) [ j u : n a i t i d s t e i t s ] ( t h e U n i t e d S t a t e s [ o f A m e r i c a ] )	(名) アメリカ合衆国
W a s h i n g t o n [ w ɔ ʃ i ŋ t ə n ]	(名) ワシントン
W a s h i n g t o n , D . C .	(名) ワシントン (米国の首都)

### 3. 資料編 第3巻（英会話のための用例と単語）

#### 英会話のための用例と単語について

最近、日本の国際化が急速に進み、英語で会話をする機会がふえてきています。また、盲学校にもALT（Assistant Language Teacher）が来て、英語で会話をする機会がふえてきています。

そのような機会に出会った場合、参考になる英会話の用例や話したい内容をあらかず単語を多く覚えていれば自信を持って英会話を楽しむことができます。さらに、将来、外国に出かけることがあっても困らないようになるでしょう。

そこで、この資料編の第3巻では、英会話のための用例と身近なことを話題にする時に必要な単語がまとめられています。それらを覚えて英会話の上達に役立ててください。

①「英会話のための用例」では、10の話題を取り上げ、それぞれ、英文、注（単語などの説明）、日本語訳の三つの部分で構成されています。

前半の(1) 学校紹介、(2) 学校案内、(3) 盲学校と点字、(4) 通学と寄宿舎、(5) ある日の英語の授業では、教室や校内でのいろいろな場面での英会話の用例を取り上げ、身近な話題で英会話を展開する方法に馴染んでもらうことにしています。

後半の(6) 学校給食、(7) 盲人スポーツ、(8) 夏休みの思い出、(9) 修学旅行にて、(10) 将来の夢では、さらに発展的な話題を取り上げ、いきいきとした英会話を楽しんでもらうことにしています。

②「英会話で活用できる単語」では、7つの項目に分類して、英会話によく用いられる単語をまとめました。

(1)「盲学校で使われる身近な語」、(2)「体の部分と健康に関する語」、(3)「衣食住に関する語」、(4)「自然現象に関する語」、(5)「環境に関する語」、(6)「人間関係に関する語」、(7)「情報に関する語」では、日常身の回りにある身近な話題を取り上げるとき必要な単語を、類似の内容ごとに分類してまとめています。

(8)「国名・地域名などに関する語」では、英会話によく出てくると思われる国名や都市名を発音記号を付けてまとめています。また、(9)「頭字略語」では、互いに関係のあるものを分類してまとめ、そのもとになる語のつづりをそえています。

① 英会話の用例

(1) Introduction

Ms. Tanaka : Good morning, everyone.

All students : Good morning, Ms. Tanaka.

Ms. Tanaka : Today we have a big news.

We have Ms. White with us today.

Ms. White, would you introduce yourself?

Ms. White : My name is Susan White.

I'm from America

Please call me Susie.

Yumi : Nice to meet you, Susie.

My name is Takahashi Yumi.

I like English.

I'm in the English Club.

Ms. White : Oh, good. You speak English very well.

Hiroshi : I'm Kato Hiroshi.

I like baseball.

Nice to meet you, Susie.

Ms. White : Nice to meet you, Hiroshi.

Keiko : My name is Kimura Keiko.

Keiko means grace and Kimura means tree village in Chinese characters.

I like music.

How do you do, Ms. White?

Ms. White : How do you do, Keiko? So your name is a grace tree village?

That's interesting.

Keiko : I play the piano.

Ms. White : Oh, good.

Yumi : When did you come to Japan?

Ms. White : Last year.

Yumi : Is this your first visit to Japan?

Ms. White : Yes.

Yumi : How do you like Japan?

Ms. White : Oh, I like Japan very much.

I'm interested in Japanese culture.

Hiroshi : Do you like baseball?

Ms. White : No, I don't. I play tennis.

I was a member of the tennis club in my junior high school days.

Keiko : Do you like music?

Ms. White : Yes, I do. I like the Beatles.  
Do you know the Beatles?

Keiko : Of course. The Beatles are still popular in Japan.  
I have some of their CDs.

Ms. White : What song do you like best?

Keiko : "Yesterday." We learned it in music class.

Ms. White : How many professional baseball teams do you have in Japan, Hiroshi?

Hiroshi : Twelve. There are two Leagues, the Central League and the Pacific League.  
Each has six teams.

Ms. White : Do you want to go to America some day, Yumi?

Yumi : Of course. I'd like to go to America to study English conversation when I become a senior high school student.

Ms. White : I hope you will.

Ms. Tanaka : I'm afraid we must finish our class. Ms. White, we enjoyed talking with you. Thank you.

Ms. White : My pleasure.

Ms. Tanaka : That's all for today. Goodbye everyone.

All students : Goodbye.

.....注.....

introduce yourself	自己紹介する
Chinese characters	漢字
culture	文化
the Beatles	ビートルズ
professional	プロの
The Central League and the Pacific League	セントラルリーグとパシフィックリーグ
conversation	会話
my pleasure	喜んで

(1) 紹介

田中先生 : 皆さん, おはようございます。

全生徒 : 田中先生, おはようございます。

田中先生：今日はビッグニュースがありますよ。  
ホワイト先生を迎えたんです。  
ホワイト先生、自己紹介をしていただけませんか。

ホワイト先生：私の名前はスーザン・ホワイトと言います。  
私はアメリカの出身です。  
どうかスージーと呼んで下さいね。

由美：はじめまして、スージー先生。  
私の名前は高橋由美です。  
私は英語が好きなんです。  
私は英語クラブに所属しています。

ホワイト先生：すてきね。あなたの英語はとてもうまいわ。

宏：僕は加藤宏と言います。  
僕は野球が好きです。  
はじめまして、スージー先生。

ホワイト先生：はじめまして、宏君。

恵子：私の名前は木村恵子です。  
恵子は漢字で恵むの意味で、木村は木と村を表わします。  
私の趣味は音楽です。はじめまして、ホワイト先生。

ホワイト先生：はじめまして、恵子さん。  
あなたの名前は恵みある木の村という意味ね。おもしろいわ。

恵子：私はピアノをひきます。

ホワイト先生：おお、すごい。

由美：日本へはいついらしたんですか。

ホワイト先生：昨年来たのよ。

由美：日本に来たのは初めてですか。

ホワイト先生：ええ。

由美：日本はいかがですか。

ホワイト先生：はい、私は日本が大好きなのよ。  
日本の文化に興味があるの。

宏：野球を好きですか。

ホワイト先生：いいえ、好きじゃないの。私はテニスをしますよ。  
中学時代、テニスクラブの一員だったの。

恵子：音楽は好きですか。

ホワイト先生：ええ、好きよ。ビートルズが好きなの。  
ビートルズを知ってる。

恵子：もちろんです。ビートルズは日本ではまだ人気があります。

彼らの CD を何枚か持っています。

ホワイト先生：何の歌を一番好きかしら。

恵子：「イエスタデイ」です。音楽の時間に習いました。

ホワイト先生：日本にはプロの野球チームがいくつあるかしら，宏。

宏：12あります。2つのリーグがあります。

セントラルリーグとパシフィックリーグです。各々のリーグには6つチームがあります。

ホワイト先生：由美さん，いつかアメリカに行きたいの。

由美：もちろんですとも。高校生のうちに英会話を勉強したいのでアメリカに行きたいと思っています。

ホワイト先生：そうできるといいね。

田中先生：そろそろ授業が終りに近づいてきました。

ホワイト先生，お話ができて嬉しく思います。

どうもありがとうございました。

ホワイト先生：私も嬉しいです。

田中先生：授業を終わります。

さようなら。

全生徒：さようなら。

(2) A Tour around the School

Hiroshi : Welcome to our school, Susie.

Ms. White : Thank you.

Hiroshi : Now I'll show you around our school.  
First, I'll show you our principal's office.  
Shall we go now?

Ms. White : Sure.

Hiroshi : Here we are.

( Hiroshi knocks at the door.)

Mr. Suzuki : Please come in.

Hiroshi : Mr. Suzuki, this is Ms. White. Ms. White, this is our Principal Mr. Suzuki.

Mr. Suzuki : Nice to meet you. I hope you enjoy your visit.

Ms. White : Thank you very much.

Yumi : Let's go to the next room.  
It's just upstairs and on the left.  
The science room is in the corner.  
We like experiments.  
We keep goldfish in the aquarium.

Ms. White : Oh, nice.

Yumi : Let's go to the next room. Do you hear the piano?  
Seventh graders are studying music now.  
This room is the first music room. The second one is on the third floor.  
In addition, we have a lesson room for koto.

Ms. White : What's koto?

Yumi : A koto is a traditional Japanese musical instrument.  
This room is used by our koto club members. It has tatami mats.  
We can hear the koto after school on Thursday.

Ms. White : Oh, wonderful.

Yumi : They will perform at our school festival. So, they've been practicing the  
koto very hard.  
Do you like music?

Ms. White : Yes. I play the piano and the guitar.

Hiroshi : Oh, that's nice. Now, let's go to the massage room.

Ms. White : Oh, they are working very hard.

Hiroshi : They want to become a massage therapist.  
 Massage is helpful when you are tired. Try it.

Ms. White : Oh, no thank you.

Hiroshi : Then let's go to the library. We have many things.  
 For example, there are braille books, braille dictionaries, large print books,  
 a lot of tapes made by volunteers, regular dictionaries and so on.

Ms. White : How many braille books do you have?

Hiroshi : About 5,000 books.

Ms. White : Wow! That's great!

Hiroshi : Let's go down and back to our classroom.

Ms. White : O.K. Thank you very much.

・・・・・・・・・・注・・・・・・・・・・

principal	校長
upstairs	二階へ
experiment	実験
goldfish	金魚
aquarium	水槽, 金魚鉢
in addition	さらに
traditional musical instrument	伝統音楽の楽器
school festival	文化祭
braille books	点字の本
braille dictionaries	点字の辞書
large print books	拡大本
regular dictionaries	普通の辞書

(2) 学校案内

宏 : スージー先生, ようこそ我が校へいらっしゃいました。

ホワイト先生 : こんにちは。

宏 : さて, 盲学校をご案内いたします。  
 初めに, 校長室へご案内いたします。  
 では参りましょうか。

ホワイト先生 : はい。

宏 : ここです。

(宏がドアをノックする。)

鈴木校長：どうぞ中にお入り下さい。

宏：校長先生，こちらがホワイト先生です。

ホワイト先生，こちらは鈴木校長先生です。

鈴木校長：ごゆっくりどうぞ。

ホワイト先生：ありがとうございます。

由美：次の部屋へ参ります。階段を上り，左に曲がって下さい。

理科室が角にあります。私たちは実験が好きなんです。水槽に金魚を飼っていますよ。

ホワイト先生：おお，可愛いですね。

由美：次の部屋へ参ります。ピアノの音が聞こえてきますね。

1年生が今，音楽の勉強をしているんです。

この部屋は第一音楽室です。第二音楽室は三階にあります。

さらに，琴の練習室もあります。

ホワイト先生：琴って何ですか。

由美：琴は日本の伝統的な楽器です。琴のクラブ員によってこの部屋は使われるんですよ。床は畳になっているんです。木曜日の放課後に琴を聴くことができます。

ホワイト先生：素晴らしいですね。

由美：文化祭で演奏することになっているんです。だから，一生懸命練習をしているんです。音楽は好きですか。

ホワイト先生：ええ，ピアノとギターをひきます。

宏：へえ，それはすごいですね。さあ，マッサージ室へ行ってみましょう。

ホワイト先生：一生懸命がんばっておりますね。

由美：みんな，マッサージ師になろうとしているんです。

マッサージは，体が疲れている時にいいですよ。

試してみますか。

ホワイト先生：おお，結構です。

宏：では，図書室へ参ります。たくさんの物があります。例えば点字の本，点字の辞書，拡大本，ボランティアによって作られたたくさんのテープ，普通の辞書があります。

ホワイト先生：点字の本は何冊あるんですか。

宏：5，000冊位ありますね。

ホワイト先生：わあ，すごいですね。

宏：では教室へ戻りましょう。

ホワイト先生：ええ。どうもありがとう。

(3) School for the Blind and Braille

Hideo : May I talk with you?

Ms. White : Of course.

Hideo : Have you ever been to a school for the blind in America?

Ms. White : I never have. I'd like to know a lot about school for the blind.

Hideo : Well, it's difficult to speak English. But I'll try.

Ms. White : Thank you.

Hideo : There're about seventy schools for the blind in Japan.

Ms. White : Oh, really? You have many schools for the blind.

Hideo : Yes. But a school for the blind doesn't mean that all the students are blind.  
Some of them are partially sighted.

Ms. White : That's true.

Hideo : We get almost the same education at schools for the blind as that at ordinary schools. The big difference is that we can have special instruction to make up for disabilities caused by blindness. Our school has many courses, a kindergarten course, an elementary course, a junior high course, a senior high course, and even a vocational education course.

Ms. White : Interesting. What kind of vocational education course is it?

Hideo : Acupuncture, moxibustion and massage. We call the course riryoka. Many blind people make their living by them.

Ms. White : I see. In America some blind students do go to schools for the blind, too. But many blind students go to local schools. And we don't have special jobs for the blind. By the way, it's difficult to read braille, isn't it?

Hideo : Not at all. We can read as fast as you can.

Ms. White : Oh, really? Your fingers must be very sensitive. And how do you write braille?

Hideo : O.K. I'll show you. This is the braille plate. This template has two lines. You see? And each line has 32 cells. Would you like to try it?

Ms. White : Sure.

Hideo : Well, take this stylus.

Ms. White : O.K.

Hideo : On the template you can feel 6 dots along the cell edges. Dot 1, dot 2, dot 3, dot 4, dot 5 and dot 6. A combination pattern of the dots expresses a letter. For example, the combination pattern of dot 1 and dot 2 expresses the letter b. Try it.

Ms. White : Uh, dot 1 ... dot 2 ... Is that O.K.?

Hideo : Congratulations! You've just written b.

Ms. White : Thanks. You're a good teacher.

Hideo : Thank you. Now let's read. First take the paper off the braille plate. Turn it over.  
And touch the dots with your finger. It reads b.

Ms. White : Oh, the dots feel strange.

Hideo : You know, braille plates are very handy. But when we want to write much faster,  
we use a typewriter. When we need many copies, we use a personal computer.

Ms. White : A personal computer?

Hideo : Thanks to computers, we can easily make corrections. Volunteers transcribe  
many books into braille using personal computers.

Ms. White : Oh, wonderful! Today I've learned a lot. Thank you. And your English is  
excellent!

Hideo : Thank you.

.....注.....

the blind	盲人
partially sighted	弱視の
education	教育
special instruction	特別指導
to make up for disabilities caused by blindness	視覚障害を補うための
kindergarten course	幼稚部
elementary course	小学部
vocational education	職業教育
acupuncture	はり
moxibustion	きゅう
make their living	生計を立てる
local school	地域の学校
sensitive	感覚が鋭い
braille plate	点字板
template	点字定規
cell	マス
stylus	点筆
dot	点
combination pattern	組み合わせ
express	表す
turn ~ over	裏返す
strange	奇妙な

typewriter	タイプライター
thanks to ~	~のおかげで
make corrections	訂正する
transcribe	点訳する
excellent	上手な

### (3) 盲学校と点字

英雄：お話ししてもいいですか。

ホワイト先生：もちろん、どうぞ。

英雄：アメリカの盲学校に行ったこと、ありますか。

ホワイト先生：1度もないの。盲学校のことをいろいろ知りたいわ。

英雄：英語は難しいけど、ちょっと盲学校のことを紹介してみようかな。

ホワイト先生：ありがとう。

英雄：日本には盲学校は約70校あるんです。

ホワイト先生：ずいぶんあるのね。

英雄：でも盲学校といってもみんな全盲っていうわけじゃなく、弱視の生徒もいます。

ホワイト先生：そうね。

英雄：盲学校では通常の学校とほぼ同じ教育がされているんだけど、大きな違いは盲学校では障害を補うためのさまざまな技術が教えられるという点かな。僕たちの盲学校には幼稚部・小学部・中学部・高等部・さらに職業課程まであるんです。

ホワイト先生：どんな職業課程なの。

英雄：はり、きゅう、あんま・マッサージ・指圧です。理療科っていうんだけど。日本では、はり、きゅう、あんま・マッサージ・指圧で生計を立てている人が多いんですよ。

ホワイト先生：そうなの。アメリカでも盲学校に行く人もいるけど、地域の学校に行く人も多いわね。それから、盲人に適した特別な仕事というものも特にはないみたい。ところで、点字を読むのは大変なんですよ。

英雄：ちっとも。あなたと同じくらいの速さで読めますよ。

ホワイト先生：そうなの。きっと指先が鋭いのね。点字はどうやって書くのかしら。

英雄：じゃあ、ちょっと説明してみますね。これが点字板。この定規には2行あるでしょ。1行には32マスあるんです。試してみますか。

ホワイト先生：はい。

英雄：じゃあ、この点筆を持って。1マスに点が6個あるでしょ。ここが①の点、②の点、③の点、④の点、⑤の点、そしてここが⑥の点。この点の組

み合わせで文字を表すんです。例えば①の点と②の点で**b**なんです。さあ書いてみましょうか。

ホワイト先生：①の点…，②の点…。これでいいのかしら。

英雄：おめでとうございます。ほら，**b**が書けましたよ。

ホワイト先生：英雄の教え方がよかったおかげね。

英雄：じゃ今度は読んでみましょうか。まず，点字用紙を点字板からはずして。裏返しにして，指で点を触ってみて。これが[b]ですよ。

ホワイト先生：何か妙な感触ね。

英雄：点字板はとても便利なんだけど，速く書きたいときは点字タイプを使います。同じものが何部も必要なときはパソコンを使います。

ホワイト先生：パソコンですか。

英雄：パソコンのおかげで，点字を直すのが楽になりました。また，ボランティアの方々がパソコンを使って本をたくさん点訳してくれています。

ホワイト先生：それは素晴らしいですね。今日はとても勉強になったわ。ありがとう。

それからあなたはとても英語が上手ね。

英雄：どうも。

#### (4) Coming to School and the Dormitory

Ms. White : How do you come to school, Mari?

Mari : I come to school by train.

Ms. White : How long does it take you to come to school?

Mari : About an hour.

Ms. White : Well. Do you come with your family?

Mari : No. I come by myself.

Ms. White : Oh, really? It's dangerous to walk by yourself, isn't it?

Mari : Of course, a little. But truncated domes help us a lot.

Ms. White : What do you mean?

Mari : Raised bumps on the sidewalk. You can find them around this school.

Ms. White : Oh, I get it.

Mari : And do you know about audible traffic signals?

Ms. White : What are they?

Mari : Well, they're traffic signals which play melody. When we hear the melody, we know it is safe to cross the street.

Ms. White : Oh, yes. I've heard it at the intersection near this school.

Mari : Don't you have them in America?

Ms. White : I don't know. But I see more blind people with guide dogs in America.  
 Mari : Oh, really?  
 Ms. White : Well. How do you come to school, Takeshi?  
 Takeshi : I come to school on foot. I live in the dormitory.  
 Ms. White : Is the dormitory near here?  
 Takeshi : It's very convenient. It's just next to the school.  
 Ms. White : Do you miss your family?  
 Takeshi : Well, sometimes. But not so much. Dormitory teachers are very kind, and I  
                   have good roommates. Besides, I go back home every weekend.  
 Ms. White : Your family looks forward to seeing you on weekends, don't they?  
 Takeshi : Of course.  
 Ms. White : OK. Enjoy your dormitory life.  
 Takeshi : Thank you.

---

dormitory	寄宿舍
take	時間がかかる
by myself	1人で
truncated domes	点ブロック
raised bumps	ぼつぼつしたもの
sidewalk	歩道
audible traffic signals	音響式信号機
intersection	交差点
guide dog	盲導犬
on foot	歩いて
convenient	便利な
roommates	同室の友達

#### (4) 通学と寄宿舍

ホワイト先生：真理はどうやって学校に来るの。

真理：わたしは電車通学です。

ホワイト先生：どのくらいかかるの？

真理：1時間くらいかしら。

ホワイト先生：家族の方と一緒に来るのかしら。

真理：いいえ。一人で通学しています。

ホワイト先生：えっ。単独歩行って危ないんじゃない。

真理：それは、あぶないこともあるわ。でも点ブロックがあるから助かるわ。

ホワイト先生：なんのことかしら。

真理：歩道にあるボツボツのことです。この学校の周りにもあるでしょ。

ホワイト先生：ああ、あれね。

真理：それじゃ、音響式信号機って知っていますか。

ホワイト先生：いいえ。

真理：メロディーの流れる信号のことです。メロディーで渡っていいかどうか分かるのよ。

ホワイト先生：そうそう。学校の近くの交差点で信号機からメロディーが流れているのを聞いたことあったわ。

真理：点ブロックや音響式信号機ってアメリカにはないのかしら。

ホワイト先生：よく分からないけど、アメリカでは盲導犬をつれている人をよく見かけるわね。

真理：ああ、そうなんですか。

ホワイト先生：猛はどうやって学校に来るの。

猛：歩いてきます。ぼくは寄宿舎に住んでいるんです。

ホワイト先生：寄宿舎は近いんですか？

猛：学校と続いていて便利ですよ。

ホワイト先生：家族のことを思ってさびしくなったりしない？

猛：そういう時もあるけど、でもだいじょうぶ。寄宿舎の先生も優しいし、同室の子とも仲良しだし、それに毎週帰省しますから。

ホワイト先生：家族の方は帰るのを楽しみにしているんでしょうね。

猛：そうですね。

ホワイト先生：寄宿舎生活を楽しんでくださいね。

猛：ありがとう。

(5) In English Class one day

Ms. White : Good afternoon, everyone.

All students : Good afternoon, Ms. White.

Ms. White : How are you?

All students : Fine, thank you, and you?

Ms. White : I'm very well, thank you.  
Is anyone absent today?

Keiko : No.

Ms. White : Keiko, you were absent yesterday, weren't you?  
What's the matter with you?

Keiko : I caught a cold and had a headache.

Ms. White : That's too bad. Are you all right now?

Keiko : Yes, I am.

Ms. White : By the way, it's warm today. Let's open the window. Hiroshi, will you do it?

Hiroshi : O.K. I will.

Ms. White : I can hear the birds singing now.  
The sun is shining outside.  
Well. What day is today, Yumi?

Yumi : It's Friday. It's a beautiful Friday.

Ms. White : I think so, too. Now, let's start English class.  
Let's review the last lesson.  
Please listen to the tape and then repeat after the tape.

All students : All right. (All students repeat loudly.)

Ms. White : Do you remember January, February, March, April, May, June? I'll ask you  
some questions.  
How do you spell April?

Keiko : It's A-p-r-i-l.

Ms. White : That's right.  
How do you spell January?

Keiko : It's J-a-n-a-r-y.

Ms. White : Really? It's J-a-n-u-a-r-y.  
Today we are going to learn from July to December.  
The seventh month of the year is July.  
The eighth month is August.  
The ninth month is September.

The tenth month is October.  
The eleventh month is November.  
The twelfth month is December.  
What's the eighth month, Yumi?

Yumi : It's August.  
Ms. White : Good. What's the first month of the year, Keiko?  
Keiko : It's January.  
Ms. White : By the way, what's the date today, Hiroshi?  
Hiroshi : November the first.  
Ms. White : Oh, good. Do you know what today is, Hiroshi?  
Hiroshi : No, I don't know.  
Ms. White : Do you know, Yumi?  
Yumi : Yes. It's Japanese Braille Memorial Day. Japanese braille was adapted by  
Ishikawa Kuraji in 1890. Japanese Braille Memorial Day was made in  
memory of that.  
Ms. White : Thank you. Now, time is up. We must finish English class. Now say  
after me, "July, August, September, October, November, December."  
(All students repeat loudly.)  
Very very good.  
Goodbye, class. See you later.  
All students : Goodbye, Ms. White.

.....注.....

what's the matter	どうしたの
catch a cold	風邪をひく
have a headache	頭痛がする
review	～の復習をする
repeat after	後を繰り返す
remember	覚えている
Japanese Braille Memorial Day	日本点字制定記念日
is adapted	翻案される
in memory of	～を記念して
time is up	終わりの時間です

(5) ある日の英語の授業

ホワイト先生：皆さん、こんにちは。

全生徒：ホワイト先生、こんにちは。

ホワイト先生：みんな、元気。

全生徒：元気です。ホワイト先生はいかがですか。

ホワイト先生：元気ですよ。今日休んでいる人いるかしら。

恵子：誰もいません。

ホワイト先生：恵子さん、昨日休みましたね。どうしたんですか。

恵子：風邪をひいて、頭痛がしたんです。

ホワイト先生：それはお気の毒でしたね。もう大丈夫ですか。

恵子：はい、元気になりました。

ホワイト先生：ところで、今日は暖かいですね。窓を開けましょう。宏君、やってくれますか。

宏：はい。

ホワイト先生：今、鳥の鳴き声が聞こえてきます。太陽がまぶしいですよ。

ところで由美さん、今日は何曜日ですか。

由美：金曜日です。すてきな金曜日です。

ホワイト先生：私もそう思うわ。さあ、英語の授業を始めましょう。

前の時間の復習をしますよ。

テープを聞いて、その後を繰り返して下さい。

全生徒：わかりました。(生徒、大声で繰り返す)

ホワイト先生：1月、2月、3月、4月、5月、6月の単語を覚えていますか。少し質問をしてみますよ。4月はどのようにつづりますか。

恵子：それはA p r i lです。

ホワイト先生：いいですね。1月はどのようにつづりますか。

恵子：J a n a r yです。

ホワイト先生：まちがいです。答えはJ a n u a r yです。

今日は7月から12月まで学びます。7番目の月は7月です。

8番目の月は8月です。9番目の月は9月です。

10番目の月は10月です。11番目の月は11月です。

12番目の月は12月です。

由美さん、8番目の月は何月ですか。

由美：8月です。

ホワイト先生：恵子さん、1番目の月は何月ですか。

恵子：1月です。

ホワイト先生：ところで宏君，今日は何月何日ですか。

宏：11月1日です。

ホワイト先生：その通り。どういう日だか知っていますか。

宏：わかりません。

ホワイト先生：由美さん，知っていますか。

由美：はい。点字制定記念日です。日本の点字は1890年に石川倉次によって  
作られました。点字制定記念日はそのことを記念して制定されたんです。

ホワイト先生：時間がきました。そろそろ英語の授業を終えなければなりません。私の後を  
「7月，8月，9月，10月，11月，12月」と言って下さい。

(生徒，大声で繰り返す)

大変よろしいですね。それでは，さようなら，また後で。

全生徒：ホワイト先生，さようなら。

#### (6) School lunch

Masao : Would you like to have school lunch with us, Ms. White?

Ms. White : Yes, I would. Thank you.

Masao : Let's go to the dining room then. It is in the dormitory.

Ms. White : O.K.

Masao : Here we are. Here's a sink to wash your hands.

Ms. White : Oh, yes.

Masao : This is your seat. Please sit down.

Ms. White : Thank you. (She looks around.) What a large number of students! Everyone  
looks cheerful and friendly.

Masao : All the students have lunch here. We enjoy lunch time.

Midori : Today's lunch menu is fried cutlet with salads, boiled rice and miso soup. Please  
help yourself.

Ms. White : Would you pass me the sauce?

Midori : O.K, here we are.

Ms. White : Thank you. This fried cutlet looks good.

Hiroshi : Can you use chopsticks?

Ms. White : Yes, I can.

Midori : Do you like Japanese food?

Ms. White : Yes, I do.

Midori : What kind of Japanese food do you like?

Ms. White : I like sushi and tempura.

Midori : What do you usually eat for lunch?  
Ms. White : I eat sandwiches.  
Midori : Do you like cooking?  
Ms. White : Oh, yes. I cook every day.  
Midori : Are you good at cooking?  
Ms. White : Yes, I am. I often make meat loaf, fried chicken and vegetable salad.  
How about you, Midori?  
Midori : I like cooking, too. I sometimes cook with my mother.  
Hiroshi : By the way, would you like seconds?  
Ms. White : No, thank you.  
Masao : How was our school lunch?  
Ms. White : Very good.

・・・・・・・・・・注・・・・・・・・・・

fried cutlet	カツレツ
salads	サラダ
boiled rice	ごはん
miso soup	味噌汁
chopsticks	箸
seconds	おかわり

## (6) 学校給食

正男：ホワイト先生，学校給食を一緒に食べませんか。  
ホワイト先生：どうもありがとう。  
正男：給食を食べるために食堂へ行きましょう。食堂は寄宿舎にあります。  
ホワイト先生：ええ。  
正男：ここです。ここで手を洗いましょう。  
ホワイト先生：はい。（見回して）大勢いますね。みんな元気で仲良しね。  
正男：全校生徒，ここで食べるんですよ。給食の時間を楽しんでいます。  
緑：今日の給食のメニューはカツレツとサラダとごはんと味噌汁です。どうぞ召し上がって下さい。  
ホワイト先生：ソースをまわして頂けますか。  
緑：はい、どうぞ。  
ホワイト先生：ありがとう。このカツレツはおいしそうですね。  
宏：箸は使えるんですか。

ホワイト先生：はい。  
緑：日本の食べ物を好きですか。  
ホワイト先生：ええ。好きよ。  
緑：日本の食べ物はどんな物が好きですか。  
ホワイト先生：寿司と天ぷらかな。  
緑：昼食にはどんな物を食べますか。  
ホワイト先生：たいていサンドイッチかな。  
緑：お料理は好きですか。  
ホワイト先生：はい。毎日作ります。  
緑：料理は得意ですか。  
ホワイト先生：はい。ミートローフ，フライドチキン，野菜サラダをよく作ります。あなたはどうですか。緑さん。  
緑：私も料理が好きです。時々，母と作ります。  
宏：ところでお代わりはどうですか。  
ホワイト先生：いいえ，結構です。  
正男：給食はいかがでしたか。  
ホワイト先生：とても結構でした。

#### (7) Sports for the Blind

Ms. White : What did you do yesterday, Nobuo?  
Nobuo : I took part in a marathon for the blind.  
Ms. White : Marathon! Fantastic! Did you run 42.195 kilometers?  
Nobuo : No. I ran the five-kilometer race. And I won the first prize.  
Ms. White : Oh, congratulations!  
Nobuo : Thank you. I'm planning to run a ten-kilometer race next year. And my dream is to run a full marathon some day.  
Ms. White : Wonderful. But it's dangerous to run, isn't it?  
Nobuo : Not at all. We run accompanied by a volunteer runner.  
Ms. White : Do you run hand in hand?  
Nobuo : No. It's too uncomfortable. We hold a rope together.  
Ms. White : That's a good idea!  
Sayuri : Nobuo runs the fastest in our school.  
Ms. White : Do you like running, too?  
Sayuri : No. I like table tennis for the blind. I'm in the Sound Table Tennis Club.  
Ms. White : Oh, really? How do you play?

Sayuri : A ball for sound table tennis has a bell inside it. We hear the ball moving and hit it with the paddle.

Ms. White : Is the ball big?

Sayuri : No, the same size as ordinary balls. But it must go under the net.

Ms. White : Under the net?

Kenji : Yes. If the ball bounces high, it's difficult to hit it.

Ms. White : I see. Well. Kenji, what's your favorite sport to play?

Kenji : Oh, I love grand softball.

Ms. White : Grand softball?

Kenji : Yes. We used to call it baseball for the blind before. The pitcher throws a handball on the ground and the batter hits it with the bat.

Ms. White : Does the ball have a bell in it?

Kenji : No. Blind players just hear the ball rolling on the ground.

Ms. White : That's great!

Kenji : And four of ten players must be blind or wear a blindfold.

Ms. White : So blind people also play grand softball. But ten players?

Kenji : Well, we need ten players — pitcher, catcher, first baseman, second baseman, third  
baseman, left short stop, right short stop, left fielder, center fielder and right fielder.

Ms. White : Oh, interesting. You have two short stops!  
What positions must be played by blind players?

Kenji : Pitcher, third baseman and two more positions.

Ms. White : I see. Well. What sport do you like to play, Naomi?

Naomi : Floor volleyball. I'm going to play it after school. I'm a member of the Floor Volleyball Club.

Ms. White : What is floor volleyball?

Naomi : It was called volleyball for the blind before. But it is played not only by blind people but also by partially sighted people.

Ms. White : How many players do you have on a team?

Naomi : Six. And three of them must be blind or blindfolded.

Ms. White : Can a blind player toss the ball?

Naomi : Of course, not. The ball goes under the net.

Ms. White : Sounds interesting.

Emi : Ms. White, have you ever heard of "Goalball"?

Ms. White : No, I haven't. What's that?

Emi : It's an interesting team sport specially designed for the blind.  
 Ms. White : Is it like soccer?  
 Emi : No. It's a new sport. The game was getting more and more popular and became a Paralympic sport in 1992.  
 Ms. White : I see. How do you play it? Is it difficult?  
 Emi : No, it's a simple. It's played on a volleyball court. Each team has three players. You roll a ball on the floor into the opponent's goal. Bells inside the ball help you to know the direction of the on-coming ball. If you wear eyeshades, anyone can enjoy it.  
 Ms. White : How interesting!  
 Emi : Why don't we play it during the noon recess?  
 Ms. White : OK, let's practice for the next Paralympic Games.

・・・・・・・・・・注・・・・・・・・・・

take part in	参加する
marathon	マラソン
five-kilometer race	5キロのレース
the first prize	1位
congratulations	おめでとう
full marathon	フルマラソン
dangerous	危険な
run accompanied by	～の伴走で走る
hand in hand	手をつないで
uncomfortable	具合悪い
ordinary	普通の
bounce	はねる
grand softball	グランドソフト (盲人野球)
blindfold	目隠し
toss	トスを上げる
Paralympic sport	パラリンピックの種目
opponent's goal	相手のゴール
direction	方向
eyeshades	アイマスク
on-coming	近づいてくる
noon recess	昼休み

(7) 盲人スポーツ

ホワイト先生：信男は昨日何をしていたの？

信男：ぼくは盲人マラソン大会に出ました。

ホワイト先生：マラソンですって！すごいわね！42.195kmも走ったの！

信男：違いますよ、先生。フルマラソンじゃなく、ぼくは5キロの部で優勝したんです。

ホワイト先生：まあ！優勝おめでとう！

信男：どうも。来年は10キロを走ってみようと思っているんです。

そしていつかフルマラソンを走るのがぼくの夢なんです。

ホワイト先生：すてきね！でも走るのは危くないの。

信男：伴走者と走るから全く平気ですよ。

ホワイト先生：手をつないで走るのかしら。

信男：それじゃ走りづらいでしょ。だから一本のロープを一緒にもって走るんですよ。

ホワイト先生：それはいい考えね！

小百合：信男はうちの学校で一番速いんです。

ホワイト先生：小百合も走るの好き。

小百合：いいえ。わたしは、盲人卓球が好きだから、卓球部に入っているの。

ホワイト先生：えっ。盲人卓球ってどうやるの。

小百合：盲人卓球の球には鈴が入っているの。それで音を頼りにラケットで打ち返すのよ。

ホワイト先生：じゃあ球は大きいのね。

小百合：いいえ、普通のピンポン球と同じ大きさよ。ただ、ネットの下を通してプレイするのよ。

ホワイト先生：ネットの下をなの。

健治：だって、球が高くはねたら打てませんよ。

ホワイト先生：それもそうね。健治はどんなスポーツが好きなの。

健治：ぼくはグランドソフトボールが大好きです。

ホワイト先生：グランドソフトボールってどういうのかしら。

健治：以前は盲人野球って呼んでいたんだけど、ピッチャーがハンドボールをころがして投げ、それをバッターが打つんです。

ホワイト先生：ボールには鈴が入っているのかしら。

健治：いいえ。全盲の人はボールの転がる音を聞いてプレイします。

ホワイト先生：それはすごい！

健治：10人のうち4人は全盲か、アイマスクをつけなければなりません。

ホワイト先生：それで全盲の人もやるのね。でも、10人なの。

健治：グラウンドソフトボールは10人でやるんですよ。ピッチャーにキャッチャー・ファースト・セカンド・サードにレフトショート・ライトショート・レフト・センター・ライトってわけです。

ホワイト先生：ショートが二人いるのね。全盲の人はどこを守るのかしら。

健治：ピッチャーとサード、それともう二つですよ。

ホワイト先生：そうなの。尚美はどんなスポーツが好きなのかしら。

尚美：私はフロアバレーボールね。バレー部で、今日の放課後もバレーするのよ。

ホワイト先生：フロアバレーボールって何かしら。

尚美：以前は盲人バレーって言っていたんです。でも全盲の人だけじゃなく、弱視の人も一緒にやるんです。

ホワイト先生：何人でやるのかしら。

尚美：6人です。そのうち3人は全盲かアイマスクをつけます。

ホワイト先生：全盲の人もトスできるのかしら。

尚美：それは無理よ。ボールはネットの下を通します。

ホワイト先生：おもしろそうね。

恵美：先生、ゴールボールって聞いたことがありますか。

ホワイト先生：いいえ、それは何ですか。

恵美：視覚障害者ができるおもしろい団体競技です。

ホワイト先生：サッカーに似ていますか。

恵美：いいえ、まったく新しいスポーツです。だんだんやる人が増えてきて、1992年にはパラリンピックの正式種目になりました。

ホワイト先生：そうですか。どのようにやるのですか。難しいですか。

恵美：いいえ、簡単です。バレーボールのコートを使います。1チームは3人で、相手のゴールに向かってボールを転がすのです。ボールには鈴が入っていて、ボールの来る方向が分かるようになっています。アイマスクをすれば、どんな人も楽しむことができます。

ホワイト先生：おもしろそうですね。

恵美：昼休みにやりませんか。

ホワイト先生：いいですね。次のパラリンピックに向けて練習しましょう。

(8) Memories of Summer Vacation

Ms. White : Summer vacation is over now.

School begins today.

I'm very glad to see you after summer vacation.

Did you enjoy your summer vacation?

Today, let's talk a little about the summer vacation.

Where did you go, Koji?

Koji : I went to the Memorial of Miyazawa Kenji .

Ms. White : Did you go there with your family or with your friends?

Koji : With my family.

Ms. White : When did you go?

Koji : We went on August 3.

Ms. White : Did you enjoy yourselves?

Koji : Yes. It was crowded there.

Have you ever been there?

Ms. White : No, I never have. I'm planning to go to the village of fairy tales next month.

Do you know where it is?

Koji : Yes, I do. It is near the memorial of Miyazawa Kenji. My friends bought the tickets. We're going there next Sunday.

Ms. White : I think you'll find a lot of interesting books.

How about you, Emi?

Emi : I went to an amusement park with my friends.

There were a lot of exciting rides. The most thrilling rides was the roller coaster.

We enjoyed lots of shows. We saw the puppet show. The parade at night was fantastic.

Ms. White : I'd like to go to there, too.

Did you buy anything?

Emi : Yes. I bought nice T-shirts and a bag.

Ms. White : You had a nice summer vacation.

.....注.....

amusement park

遊園地

exciting rides

わくわくする乗り物

thrilling rides

スリルのある乗り物

roller coaster

ジェットコースター

puppet show  
fantastic

人形劇のショー  
幻想的な

(8) 夏休みの思い出

ホワイト先生：さあ、夏休みが終わって、今日から学校が始まりますよ。

夏休みが終わって、みんなに会えて嬉しいですね。

みんな、夏休みを楽しく過ごしたかな。

少し夏休みのことについて話し合うことにしましょう。

浩二君は、どこかに出かけたの。

浩二：僕は宮沢賢治記念館に出かけました。

ホワイト先生：家族と行ったのそれとも友達と行ったのかしら。

浩二：家族と行きました。

ホワイト先生：いつ行ったの。

浩二：8月3日に行きました。

ホワイト先生：楽しかったかしら。

浩二：はい。とても人がたくさんいて混み合っていました。

ホワイト先生はそこに行ったことがありますか。

ホワイト先生：いいえ、ないですね。

来月「童話の村」にいくつもりなの。

どこにあるか知っている。

浩二：はい、知っています。宮沢賢治の記念館の近くです。僕の友達が入場券を買っています。だから、来週の日曜日にそこに行こうと思っています。

ホワイト先生：面白い本があるでしょうね。絵美はどうだったの。

絵美：私は友達と遊園地に行きました。わくわくするような乗り物がたくさんありました。一番スリルのある乗り物はジェットコースターでした。たくさんショーを見ました。人形劇を見ました。夜のパレードは幻想的でした。

ホワイト先生：私もそこに行ってみたいですね。何か買い物をしたの。

絵美：はい。素敵なTシャツとかばんを買いました。

ホワイト先生：素晴らしい夏休みを過ごしましたね。

(9) On a School Trip

- Yumi : Excuse me, but may I talk with you?
- Traveler : Sure.
- Yumi : We're students at a junior high school for the blind.  
We are here on our school trip.
- Traveler : Where did you come from?
- Yumi : From Nagoya.  
Nagoya is between Tokyo and Kyoto.  
It takes about two hours from here to Nagoya by New Tokaido Line.  
Where did you come from?
- Traveler : From New Zealand.
- Kenji : What part of New Zealand are you from?
- Traveler : From Auckland. Do you know Auckland?
- Kenji : Yes, I do. It is the biggest city in New Zealand.
- Yumi : Is this your first visit to Japan?
- Traveler : Yes, this is my first visit. I'm very interested in Japan. I have studied  
Japanese for three years.  
I've wanted to visit Japan for a long time. I love Japan very much.
- Yumi : When did you come to Japan?
- Traveler : Two weeks ago.
- Yumi : Please speak more slowly.
- Traveler : I came here two weeks ago.
- Yumi : Oh, I see. What have you seen in Tokyo so far?
- Traveler : Well, Tokyo Tower, Asakusa, the Imperial Palace, the Diet building, Meiji  
Shrine, and Ueno Zoo. Asakusa was very interesting.  
It has a Buddhist temple and a great front gate, called Kaminarimon.
- Yumi : We are going to visit Asakusa tomorrow.  
Where are you going next?
- Traveler : I'm going to go to Hiroshima tomorrow.
- Yumi : Oh, that sounds great. I have been there before.  
Well. Could you pose with us, please?
- Traveler : Why?
- Yumi : As a memory of our trip.
- Traveler : Sure.
- Yumi : I'll send a copy of the picture to you if you like. Will you write down your

name and address here?

Traveler : OK. Here you are.

Yumi : Thank you very much.

It is time to say good-bye. We've enjoyed talking with you.

Traveler : You're welcome.

Kenji : Have a good trip!

Traveler : You, too. Bye-bye.

Yumi & Kenji : Goodbye.

・・・・・・・・・・・・・・・・注・・・・・・・・・・・・・・・・

traveler	旅行者
take	(時間が) かかる
New Tokaido Line	東海道新幹線
what part of ~	~のどのあたり
New Zealand	ニュージーランド
Auckland	オークランド (ニュージーランドの都市)
Imperial Palace	皇居
Buddhist temple	仏教寺院
front gate	正門
send	送る
address	住所

(9) 修学旅行で

由美：すみませんが、お話ししてもいいですか。

旅行者：いいですよ。

由美：私たちは盲学校の生徒です。修学旅行でここに来ています。

旅行者：どこから来ましたか。

由美：名古屋です。名古屋は東京と京都の間にあります。

ここから名古屋まで東海道新幹線で約2時間かかります。

あなたはどこから来ましたか。

旅行者：ニュージーランドから来ました。

健二：ニュージーランドのどこからですか。

旅行者：オークランドです。知っていますか。

健二：はい、ニュージーランドで一番大きな都市です。

由美：日本へいらっしゃったのは初めてですか。

旅行者：はい、初めてです。日本に大変興味があります。私は日本語を3年間勉強しています。長い間日本を訪問したいと思っていました。日本が大好きなんです。

由美：いつ来たのですか。

旅行者：2週間前です。

由美：もう少しゆっくり話してください。

旅行者：私はここに2週間前に来ました。

由美：わかりました。東京はどこを訪ねましたか。

旅行者：そうですね。東京タワー、浅草、皇居、国会議事堂、明治神宮と上野動物園です。浅草はとても面白かった。お寺と雷門がありました。

由美：私たちは明日、浅草へ行きます。

次はどこへ行くのですか。

旅行者：明日、広島に行こうと思っています。

由美：それは、いいですね。私も以前行ったことがあります。

ええと。あなたと写真を撮ってもいいですか。

旅行者：なぜですか。

由美：記念にです。

旅行者：いいですよ。

由美：よろしければ写真をお送りします。ここにお名前と住所を書いていただけますか。

旅行者：いいですよ。どうぞ。

由美：ありがとうございました。お別れの時間が来ました。楽しかったです。

旅行者：どういたしまして。

健二：お元気で。

旅行者：あなた達もね。さようなら。

由美と健二：さようなら。

(10) Future Dreams

Ms. White : When you grow up, what do you want to be, Emi?

Emi : I want to be a health keeper.

Ms. White : What's that?

Emi : A health keeper is a massage therapist who works at a company.

He or she keeps the workers healthy. And it's quite a new job for us.

Ms. White : Oh, a kind of company health professional. Health keepers are expected to improve the workers' efficiency, aren't they?

Emi : I think so. Well. Masao, what do you want to be?

Masao : I want to work at a home for the elderly as a massage therapist.

You know, there're more and more old people.

Ms. White : That's right. How about you, Takeshi?

Takeshi : I want to be an acupuncturist. I'm going to go into practice.

Ms. White : Great! You will be a therapist. You'll be very responsible for people's health. What an important job!

Emi : Yes. We'll have to study a lot about medical science at riryoka — the vocational education course.

For example, anatomy, physiology....

Ms. White : Sounds difficult! How long will you study in the course?

Masao : Three years. And we must pass the exams by the government.

Emi : And I hear the exams are not easy. I'm a little afraid of them.

Ms. White : So you'll have to study hard, won't you?

Takeshi : Well, we'll do our best.

Ms. White : Good luck! Well. What do you want to be, Naomi?

Naomi : I want to work at a hospital as a physical therapist.

I'd like to help sick people.

Ms. White : Great! Do you have a physical therapist course at your school, too?

Naomi : No. But two schools for the blind have the course.

I'd like to go one of them!

Ms. White : Well, Hiroshi, what do you want to be?

Hiroshi : I want to be a teacher of riryoka — the vocational education course.

Our school has some blind teachers.

Ms. White : Well, I saw one of them in massage room. How about you, Yumi?

Yumi : I'd like to be a pianist. I've been playing the piano for ten years.

Ms. White : Who's your favorite composer?

Yumi : I love Chopin. His music is fantastic!

Ms. White : Oh, yes. What do you want to be, Midori?

Midori : I'd like to be a professional koto player.

Ms. White : Well, koto sounds very beautiful. How about you, Keiko?

Keiko : An international telephone operator or a translator. I'd like to get a job that has something to do with English.

Ms. White : Good. How about you, Nobuo?

Nobuo : I want to be a system engineer. You know, computers play more and more important roles in our society.

Ms. White : Oh, you might make useful software for the blind.

Nobuo : I hope so.

Ms. White : Well. Mari, what do you want to be?

Mari : I want to be a librarian. I'd like to help blind people use libraries to get much more information.

Ms. White : Good. How about you, Hideo?

Hideo : I want to be a teacher.

Ms. White : What kind of teacher?

Hideo : An English teacher.

Ms. White : I'm sure you will be a good teacher. Your English is very good.

Hideo : Thanks. Kenji, what do you want to be?

Kenji : I want to be a government officer. I'm interested in administration.  
Until 1991 blind students weren't allowed to sit for the exams, but today we can take the exams. So I plan to take the exams after my college graduation.

Ms. White : Oh, really? I hope you'll succeed. How about you, Koji?

Koji : I'd like to be a lawyer.

Ms. White : I hear it's very difficult to be a lawyer in Japan.

Koji : Awfully difficult. But we have three blind lawyers in Japan now. I'd like to help people in trouble. I believe where there's a will, there's a way.

Ms. White : Super! How about you, Sayuri?

Sayuri : I'm afraid to say that I don't know what I want to do.  
First, I'm going to go to college, and then I'm going to think about what I really want to do. I want to find my possibilities and realize them.

Ms. White : Good. Students, be ambitious!

.....注.....

improve	改善する
worker's efficiency	働いている人の（仕事の）能率
acupuncturist	はり師
medical science	医学
responsible	責任のある
the exams	試験
government	政府の
physical therapist	理学療法士
composer	作曲家
Chopin	ショパン
international telephone operator	国際電話の交換手
translator	翻訳家
system engineer	システムエンジニア
society	社会
might	かもしれない
software	ソフトウェア
librarian	図書館司書
information	情報
government officer	国家公務員
administration	行政
succeed	成功する
lawyer	弁護士
awfully	かなり ひどく
where there's a will, there's a way.	意志のあるところに必ず道は開ける
super	すごい
possibilities	可能性
realize	実現する
ambitious	大志のある

(10) 将来の夢

ホワイト先生：恵美は大人になったら、何になりたいの。

恵美：わたしはヘルスキーパーになりたいわ。

ホワイト先生：それはどんな仕事なの。

恵美：ヘルスキーパーというのは会社に勤めるマッサージ師のことなの。

そこの社員の健康の保持増進につとめるのよ。これは新しい職域なの。

ホワイト先生：ああ。会社の医療スタッフのようなものね。仕事の効率を上げるのね。

恵美：そう。正男は何になりたいの。

正男：僕は老人ホームでマッサージをしたいな。お年寄りは増えているし。

ホワイト先生：そうね。猛は何になりたいのかしら。

猛：ぼくは、はりで開業したいな。

ホワイト先生：医療関係って、人の健康に責任のある大切な仕事だわ。

恵美：そうなの。だから理療科では解剖学とか生理学とかいう医学も勉強しなきゃならないの。

ホワイト先生：難しそうね。何年勉強するのかしら。

正男：3年間です。それから国家試験で合格しなきゃ駄目なんだ。

恵美：そうそう。国家試験って大変らしいわ。わたし少し心配。

ホワイト先生：一生懸命勉強するしかないわね。

猛：そういうこと。頑張るしかない。

ホワイト先生：じゃあ、大丈夫ね。尚美は何になりたいのかしら。

尚美：理学療法士として病院で働きたいわ。病気の人の方になってあげたいわ。

ホワイト先生：すてきね。この学校には理学療法科もあるの。

尚美：この学校にはないけど、理学療法科のある盲学校は2校あります。わたしはそこに行きたいと思ってるの。

ホワイト先生：あら、そう。宏は何になりたいの。

宏：僕は理療科の教員になりたいと思っているんだ。この学校には目の不自由な先生がいます。

ホワイト先生：マッサージ室でみかけたわ。由美は何になりたいの。

由美：ピアニストになりたいわ。もう10年もピアノ練習しているの。

ホワイト先生：好きな作曲家は誰なの。

由美：ショパン。ショパンの曲はすてきだわ。

ホワイト先生：そうね。みどりは何になりたいのかしら。

緑：琴の演奏家になりたいわ。

ホワイト先生：琴は音色が美しいわね。恵子は何になりたい。

恵子：国際電話の交換手か通訳かしら。何か英語に関係のある仕事につきたいわ。

ホワイト先生：そうなの。真理はどう。

真理：わたしは図書館司書よ。目の不自由なひとにいっぱい情報を提供したいわ。

ホワイト先生：いいわ。信男はどう。

信男：僕はシステムエンジニアになりたいな。コンピュータの重要性は増す一方だし。

ホワイト先生：信男は将来盲人に役立つソフトを作るかもしれないね。

信男：そうなるといいな。

ホワイト先生：英雄は何になりたいの。

英雄：僕は先生になりたいと思ってるんです。

ホワイト先生：何の先生かしら。

英雄：英語の先生です。

ホワイト先生：英雄は英語は上手だし、きっといい先生になるわね。

英雄：ありがとう。健治は何になりたいかな。

健治：ぼくは行政に興味があるから、国家公務員になりたいな。1991年までは点字受験は認められていなかったけど、今は受けられるし、大学を出たら挑戦してみようと思うんだ。

ホワイト先生：そう。受かるといいわね。浩二は何になりたいの。

浩二：ぼくは弁護士になりたいんです。

ホワイト先生：日本では弁護士になるのは難しいそうね。

浩二：すごく難しいです。でも全盲の弁護士さんも3人おられますし、ぼくは困っている人を助けてあげたいと思っています。きっと、意志のあるところには必ず道はひらけますよね。

ホワイト先生：すごい！小百合はどうなの。

小百合：わたしはまだ、自分のやりたいことが何なのか分かりません。

とりあえず大学に行き、何をしたいのかよく考え、自分の可能性をみつけ、その可能性を実現したいと思っています。

ホワイト先生：すばらしいわ。「少年よ、大志を抱け！」ですね。

② 英会話で活用できる単語

(1) 盲学校で使われる身近な語

ア 教科など

English	英語
Japanese	国語
contemporary Japanese	現代文
classics	古典
math (mathematics)	数学
science	理科
biology	生物
earth science	地学
chemistry	化学
physics	物理
social studies	社会
history	歴史
geography	地理
civics	公民
ethics	倫理
music	音楽
fine arts	美術
P.E. (health and physical education)	体育 (保健体育)
industrial arts and homemaking	技術・家庭
activities for independence	自立活動
periods for integrated study	総合的な学習の時間
moral education	道徳
special activities	特別活動
club activities	クラブ活動
activities of daily living	日常生活訓練
school lunch	給食
daily program	日課
entrance ceremony	入学式
opening ceremony	始業式
closing ceremony	終業式
graduation ceremony	卒業式
school trip (excursion)	修学旅行
field trip	遠足、校外学習

spring vacation	春休み
summer vacation	夏休み
winter vacation	冬休み
school festival	文化祭
school sports day	運動会
marathon	マラソン大会
swimming meet	水泳大会
midterm exams	中間テスト
end-of-term exams	期末テスト
high school entrance exams	高校入試
student council assembly	生徒総会
physical exams	健康診断
イ 教材・教具など	
book	本
textbook	教科書
notebook	ノート
pen	ペン
pencil	鉛筆
eraser	消しゴム
pencil case	筆入れ
desk	机
chair	椅子
blackboard	黒板
chalk	チョーク
bulletin board	掲示板
copy machine	コピー機
ウ 建物・組織など	
school building	校舎
classroom	教室
corridor	廊下
emergency exit	非常口
students' entrance	昇降口
fireproof shutter	防火扉
shoe cupboard	靴箱（下駄箱）
umbrella stand	傘立て
school library	図書室

principal's room	校長室
teachers' room	職員室
gym	体育館
swimming pool	プール
ground	運動場
school bus	スクールバス
エ 教職員など	
principal	校長
vice-principal	教頭, 副校長
pupil	児童
student	生徒
teacher	先生
dormitory instructional care staff	寄宿舎指導員
nurse teacher	養護教諭
officer	事務員
guard	警備員
ALT (assistant language teacher)	外国人講師
exchange student	交換留学生
オ 視覚障害関係	
school for the blind	盲学校
braille board	点字板
stylus	点筆
pocket braille slate	懐中定規
braille paper	点字紙
white cane	白杖
folding cane	折りたたみ白杖
tactile map	触地図
voice calculator	音声電卓
abacus	そろばん
barrier-free	バリアフリー
magnifying lens	拡大レンズ
monocle	単眼鏡
bookrests	書見台
braille typewriter	点字タイプ (ブレイラー)
wheelchair	車椅子
people with disabilities	障害者

people with visual impairments	視覚障害者
low vision	弱視
visual field	視野
eyesight	視力
color vision	色覚
eyesight test chart	視力検査表
guide dog	盲導犬
orientation and mobility instruction	歩行指導
braille	点字
ink-print	墨字
enlarge letter	拡大文字
large print book	拡大本
transcribe	点訳
transcriber	点訳者
volunteer	ボランティア
braille library	点字図書館
massage	あんま, マッサージ, 指圧
moxibustion	灸
acupuncture	はり
dormitory	寄宿舎
kindergarten course	幼稚部
elementary course	小学部
junior high school course	中学部
senior high school course	高等部
health physical therapy course	保健理療科
physio-physical therapy course	理療科
physical therapy course	理学療法科

カ その他

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology	文部科学省
Ministry of Health, Labour and Welfare	厚生労働省
special needs education	特別支援教育
integrated education	統合教育
transactional program between ordinary school and special school	交流教育
vocational education	職業教育
multi-grade class	複式学級

(2) 体の部分と健康に関する語

ア 頭部

head	頭
hair	毛
face	顔
temple	こめかみ
forehead	額
eye	眼
ear	耳
nose	鼻
mouth	口
eyebrow	眉毛
chin	下あご, おとがい
gum	歯ぐき
tooth (teeth)	歯 (複数形)
tongue	舌
neck	くび
throat	のど
cheek	ほお
earlobe	耳たぶ
eyelash	まつげ
eyeball	眼球
pupil	瞳, 瞳孔
retina	網膜
optic nerves	視神経

イ 体幹

shoulder	肩
heart	心臓
lung	肺
chest	胸
breast	胸 (乳房)
back	背
stomach	胃
bowel	腸
liver	肝臓
kidney	腎臓

urinary bladder	膀胱
hip	臀部
anus	肛門
nipple	乳首
pit	みぞおち
navel	へそ
private parts	陰部
buttock	尻
ウ 手足	
arm	腕
elbow	肘
wrist	手首
hand	手
palm	手のひら
thumb	母指 (親指)
finger	指
little finger	小指
third finger	薬指
middle finger	中指
forefinger	人差指
nail	つめ
leg	脚 (きゃく)
thigh	大腿
knee	膝
ankle	足首
foot (feet)	足 (複数形)
toe	つまさき
fingerprint	指紋
エ 全身	
bone	骨
rib	肋骨
skull	頭蓋骨
fat	脂肪
muscle	筋肉
skin	皮膚・肌
nerve	神経

blood	血液
blood vessel	血管
organ	器官
vein	静脈
artery	動脈
オ 症状	
headache	頭痛
stomachache	胃痛
toothache	歯痛
abdominal pain	腹痛
appendicitis	虫垂炎
cancer	ガン
chills	寒気
cough	咳
sneeze	クシャミ
fever	熱
diarrhea	下痢
constipation	便秘
cold	風邪
sore throat	のどの痛み
itchy	かゆい
pain	痛み
dizziness	めまい
bone fracture	骨折
sprain	ねん挫
burns	やけど
muscle pain	筋肉痛

(3) 衣食住に関する語

ア 衣類	
clothes	衣服
dress	婦人服, ドレス
coat	コート, 上着
school uniform	(学校の) 制服
sweater	セーター
turtleneck sweater	タートルネックセーター

cardigan sweater	カーディガン
jumper	ジャンパー
shirt	ワイシャツ, シャツ
long-sleeved shirt	長袖シャツ
short-sleeved shirt	半袖シャツ
T-shirt	Tシャツ
sweatshirt	トレーナー
blouse	ブラウス
jeans	ジーンズ
pants, trousers	ズボン
slacks	スラックス
skirt	スカート
culottes	キュロット
underwear	下着
shoes	靴
sneaker	スニーカー
boots	ブーツ, 長靴
socks	短靴下, ソックス
handkerchief	ハンカチ
necktie	ネクタイ
イ 食事・調理	
meal	食事
breakfast	朝食
lunch	昼食
dinner	夕食, ごちそう
supper	夕食
emergency provision	非常食
astronaut food	宇宙食
baby food	離乳食
natural food	自然食品
healthy food	健康食品
chopsticks	はし
disposable chopsticks	割り箸
fork	フォーク
knife	ナイフ
spoon	スプーン

rice bowl	茶碗
soup bowl	お椀
dish	深皿・料理
plate	皿
teacup	湯飲み茶碗
toothpick	つまようじ
bread	パン
butter	バター
cheese	チーズ
boiled rice	ごはん
sandwich	サンドウィッチ
noodles	麺類
meat	肉
vegetable	野菜
pumpkin	かぼちゃ
potato	じゃがいも
onion	たまねぎ
cucumber	きゅうり
carrot	にんじん
eggplant	なす
fruit	果物
apple	りんご
orange	オレンジ
strawberry	いちご
egg	卵
mushroom	きのこ
sugar	砂糖
salt	塩
pepper	こしょう
soy sauce	しょうゆ
vinegar	酢
milk	牛乳
tea	紅茶
green tea	緑茶
oolong tea	ウーロン茶
coffee	コーヒー

soup	スープ
stew	シチュー
juice	ジュース
dessert	デザート
ice cream	アイスクリーム
baked	焼いた (パンなど)
broiled	焼いた (肉や魚などを直火で焼く)
blended	混ぜ合わせの
boiled	煮た・ゆでた
chilled	冷やした
chipped	刻んだ
chopped	切った
fried	フライにした
frozen	凍らせた
grilled	あぶった
roasted	蒸し焼きにした
sliced	薄切りにした
smoked	薫製にした
steamed	ふかした
peeled	皮をむいた
dipped	漬けた
coated	まぶした
microwaved	電子レンジで調理した

ウ 住居	
living room	居間
dining room	食堂
bedroom	寝室
bathroom	風呂場
bath tub	浴槽
fire alarm	火災報知器
kitchen	台所
sink	流し, 洗面台
toilet, restroom, bathroom	トイレ
entrance hall	玄関
reception room	応接間
gate	門

garden	庭
fence	塀・垣根
nameplate	表札
doorbell	呼び鈴
mailbox	郵便受け
curtain	カーテン
wall	壁
ceiling	天井
floor	床
steps	階段
spiral staircase	らせん階段
hallway, corridor	廊下
balcony	ベランダ
window	窓
bay window	出窓
screen door	網戸
roof	屋根
garage	車庫
storeroom	物置
apartment	アパート, マンション
mansion	大邸宅
condominium	分譲マンション

(4) 自然現象に関する語

sun	太陽
moon	月
star	星
sky	空
mountain	山
sea	海
earth	地球・地面
weather	天気
climate	気候
weather forecast	天気予報
cloud	雲
rain	雨

snow	雪
wind	風
storm	嵐
fog	霧
frost	霜
hail	あられ
thunder	雷
rainbow	虹
earthquake	地震
typhoon	台風
tornado	竜巻
cold	寒い
cool	涼しい
warm	暖かい
hot	暑い
muggy	蒸し暑い
chilly	冷たい・冷える
dry	からっとした
humid	じめじめした
fair	晴れている
sunny	日のよく照る
cloudy	曇った
rainy	雨の降る
windy	風の吹く
snowy	雪の降る
stormy	嵐の
foggy	霧が深い
breeze	そよ風
blizzard	吹雪
warning	警報
storm warning	暴風警報
tidal wave warning	波浪警報
flood warning	洪水警報
tsunami warning	津波警報
snowstorm warning	暴風雪警報
thick fog warning	濃霧警報

(5) 環境に関する語

environment	環境
ecology	エコロジー
global warming	地球温暖化
greenhouse effect	温室効果
air pollution	大気汚染
acid rain	酸性雨
tropical rain forest	熱帯雨林
eco-friendly	環境に優しい
plastic bag	ビニール袋
recycle	リサイクル
power plant	発電所
nuclear energy	核エネルギー
World Heritage	世界遺産

(6) 人間関係に関する語

family	家族
parents	両親
father	父親
mother	母親
grandfather	祖父
great grandfather	曾祖父
grandmother	祖母
great grandmother	曾祖母
grandchild	孫
great grandchild	ひ孫
husband	夫
wife	妻
son	息子
daughter	娘
brother	兄弟
sister	姉妹
uncle	おじ
aunt	おば
cousin	いとこ
nephew	甥
niece	姪

second cousin	はとこ, またいとこ
baby	赤ちゃん
child (children)	子ども (複数)
man	男
woman	女
birth	誕生, 出産
marriage	結婚
death	死
occupation	職業
public official	公務員
government officer	国家公務員
translator	翻訳家
teacher	先生
massage therapist	マッサージ師
acupuncturist	はり師
moxibustion therapist	きゅう師
professor	教授
lawyer	弁護士
doctor	医者
dentist	歯科医
nurse	看護師
care worker	介護福祉士
engineer	技術者
farmer	農業経営者
police officer	警察官
journalist	新聞記者
novelist	小説家
artist	芸術家
bakery	パン屋
florist	花屋
singer	歌手
entertainer	芸能人
writer	作家
principal	校長
vice-principal	教頭・副校長

(7) 情報に関する語

Internet	インターネット
e-mail	電子メール (を送る)
e-pal	電子メール友だち
homepage	ホームページ
run	プログラム中の命令を実行する
keyboard	キーボード
password	パスワード
access	(コンピュータで)データのやりとりを行う
site	インターネット上で情報提供などのサービスを行う場所
scan	文書・映像を取り込む
load	(コンピュータに) データを読み込む
computer virus	コンピュータ・ウイルス (データやシステムに害を及ぼすプログラム)
link	リンクする (インターネットで情報をつなぎあわせる)
click	クリックする
enter	コンピュータでデータを入力する
surf	(インターネット上で) 興味ある記事を探して次から次へと見る
address	アドレス (データの記憶されている場所を示す番号)
hardware	ハードウェア
software	ソフトウェア
provider	プロバイダー (インターネットへの接続サービスを行っている会社)
security	セキュリティ
cell(ular) phone	携帯電話
fax	ファックス (を送る)
digital	デジタル (の)

(8) 国名・地域名などに関する語

A f r i c a	[æ f r i k ə]	(名)	アフリカ
A f r i c a n	[æ f r i k ə n]	(名)	アフリカ人
		(形)	アフリカ (人) の
A m e r i c a	[ə m é r i k ə]	(名)	アメリカ, 米国
A m e r i c a n	[ə m é r i k ə n]	(名)	アメリカ人
		(形)	アメリカ (人) の
A s i a	[é i ʒ ə / é i j ə]	(名)	アジア

Atlantic [ətlæntɪk] (the Atlantic)	(名) 大西洋
	(形) 大西洋の
Australia [ɒ(:)strɛɪljə]	(名) オーストラリア
Britain [brɪtən]	(名) 大英帝国
British [brɪtɪʃ]	(形) 英国 (人) の
Canada [kænədə]	(名) カナダ
China [tʃaɪnə]	(名) 中国
Chinese [tʃaɪni:z]	(名) 中国人 (語)
	(形) 中国人 (語) の
Egypt [ɪ:dʒɪpt]	(名) エジプト
England [ɪŋɡlənd]	(名) イギリス, イングランド, 英国
English [ɪŋɡlɪʃ]	(形) イギリス (人) の, (名) 英国
Englishman [ɪŋɡlɪʃmən]	(名) イギリス人, 英国人
Europe [jʊ(:)rəp/jʊərəp]	(名) ヨーロッパ
European [ju(:)rəpi(:)ən] [juərəpi(:)ən]	(名) ヨーロッパ人 (形) ヨーロッパ人の
France [fræns/frɑ:ns]	(名) フランス
French [frentʃ]	(名) フランス人 (語) (形) フランス (人・語) の
Germany [dʒə:məni]	(名) ドイツ
German [dʒə:mən]	(名) ドイツ人 (語) (形) ドイツ (人・語) の
Greece [gri:s]	(名) ギリシア
Greek [gri:k]	(名) ギリシア人 (語) (形) ギリシア (人・語) の
India [ɪndiə]	(名) インド
Indian [ɪndiən]	(名) インド人, インディアン (形) インドの
Italy [ɪtəli]	(名) イタリア
Italian [ɪtæljən]	(名) イタリア人 (語) (形) イタリア (人・語) の

J a p a n [dʒəpæn]	(名)	日本
J a p a n e s e [dʒəpæni:z]	(名)	日本人 (語)
	(形)	日本 (人・語) の
L o n d o n [lʌndən]	(名)	ロンドン (英国の首都)
N e w Y o r k [nju: jɔ:k]	(名)	ニューヨーク
P a c i f i c [pəsɪfɪk] (the Pacific)	(名)	太平洋
P a r i s [pæris]	(名)	パリ (フランスの首都)
R u s s i a [rʌʃə]	(名)	ロシア
R u s s i a n [rʌʃən]	(名)	ロシア人 (語)
	(形)	ロシア (人・語) の
S a n F r a n c i s c o [sæn frənsɪskou]	(名)	サンフランシスコ
S c o t l a n d [skɒtlənd/skɔtlənd]	(名)	スコットランド
S p a i n [speɪn]	(名)	スペイン
S p a n i s h [spæniʃ]	(名)	スペイン人 (語)
	(形)	スペイン (人・語) の
S w i t z e r l a n d [swɪtsələnd]	(名)	スイス
U n i t e d S t a t e s (of America)		
[ju:náitid stéits]		
(the United States [of America])	(名)	アメリカ合衆国
W a s h i n g t o n [wɒʃɪŋtən]	(名)	ワシントン
W a s h i n g t o n, D. C.	(名)	ワシントン (米国の首都)

(9) 頭字略語

A. D.	Anno Domini	西暦, 紀元
A I D S	acquired immune deficiency syndrome	エイズ, 後天性免疫不全症候群
A M	ante meridiem	午前
A P E C	Asia-Pacific Economic Cooperation Conference	アジア太平洋経済協力会議
A S E A N	Association of South-East Asian Nations	東南アジア諸国連合
A T C	automatic train control	自動列車制御
A T M	automatic teller machine	現金自動預け入れ・支払機
B. C.	before Christ	紀元前

BGM	background music	背景音楽
BS	broadcasting satellite	放送衛星
CALL	computer assisted language learning	コンピュータ援用の言語学習
VHF	very high frequency	超短波
CATV	cable television	有線テレビ
CD	compact disc	コンパクトディスク
CG	computer graphics	コンピュータグラフィックス
DJ	disc jockey	ディスクジョッキー
DVD	digital versatile disk	ディーブイディー
EU	European Union	欧州連合
FBI	Federal Bureau of Investigation	米国連邦捜査局
GDP	gross domestic product	国内総生産
GNP	gross national product	国民総生産
IAEA	International Atomic Energy Agency	国際原子力機関
IC	integrated circuit	集積回路
ICT	information and communication technology	情報通信関連技術
ILO	the International Labor Organization	国際労働機関
IMF	International Monetary Fund	国際通貨基金
IOC	International Olympic Committee	国際オリンピック委員会
IPA	the International Phonetic Alphabet	国際音声記号
IRC	International Red Cross	国際赤十字
IT	information technology	情報技術
JAS	Japanese Agricultural Standard	日本農林規格
JIS	Japanese Industrial Standards	日本工業規格
JRC	Japanese Red Cross	日本赤十字
KO	knockout	(ボクシング) ノックアウト
LAN	local area network	ラン, 構内情報通信網
LPG	liquefied petroleum gas	液化石油ガス
MC	master of ceremonies	司会、司会をする
MVP	most valuable player	最優秀選手
NASA	National Aeronautics and Space Administration	米国航空宇宙局
NATO	North Atlantic Treaty Organization	北大西洋条約機構
NG	no good	やり直し・撮り損じ
NGO	nongovernmental organization	非政府組織
NPO	nonprofit organization	非営利組織
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助

O E C D	Organization for Economic Cooperation and Development	経済協力 開発機構
O H P	overhead projector	オーバーヘッドプロジェクタ
O P E C	Organization of Petroleum Exporting Countries	石油輸出国機構
P K	penalty kick	ペナルティキック
P K F	Peace Keeping Force	国連平和維持軍
P K O	Peace Keeping Operation	国連平和維持活動
P M	post meridiem	午後
P P M	parts per million	1 0 0 万分の1
P R	public relation	衆知活動・ピーアール
P . S .	post script	追伸
P T A	Parent-Teacher Association	保護者と教師の会
R A M	random access memory	データの書き込みができる記憶装置
R O M	read only memory	読み出し専用メモリー
S F	science fiction	空想科学小説
T V	television	テレビ
U F O	unidentified flying object	未確認飛行物体
U H F	ultra-high frequency	極超短波
U N	United Nations	国際連合
U N E S C O	United Nations Educational Scientific and Cultural Organization	国連教育科学文化機関
U P U	Universal Postal Union	万国郵便連合
U . S . A .	United States of America	アメリカ合衆国
U V	ultraviolet	紫外線
V I P	very important person	最重要人物
V T R	video tape recorder	ビデオテープレコーダー
W C	water closet	トイレ
W H O	World Health Organization	世界保健機関
W W W	world wide web	ワールド・ワイド・ウェブ

#### 4. 資料編第4～6巻（英和単語集）について

盲学校中学部英語資料編の第4～6巻は、英和単語集です。

この英和単語集には、中学校の英語学習に必要なほとんどすべての単語約2,800語、基本単語と一緒に覚えた方がよいと思われる熟語・例文・派生語等を選び、アルファベット順に収めてあります。さらに、資料編第4～6巻を通しページにしてあるとともに、右ページ上部欄外に、そのページの最初の単語を記してあります。

##### (1) 特徴と使い方

###### (ア) 発音記号

この英和単語集では、発音記号は原則としてDaniel Jones式で示してあります。また、米・英の発音が異なる場合には、区別して示してあります。なお、イギリスでは省略される発音の[r]や[h]は、[r]や[h]で表し、アメリカでは省略される発音の[j]や[ə]は、[j]や[ə]で表してあります。

###### (イ) 綴り字

綴り字も原則として米・英の両方を併記してあります。前が米式で、後が英式です。

例 color (米), colour (英)

###### (ウ) アクセント

発音記号には、最も強いアクセントの母音の前に第1ストレス符 (ˈ) がつけてあります。また、2番目のアクセントの母音の前には、第2ストレス符 (ˌ) がつけてあります。

###### (エ) 例文

単語、熟語の後に、必要と思われる場合には、覚えやすい例文をつけてあります。その場合、例文の前に→を記してあります。なお、全部で約500の例文を記しましたので、例文を通して単語や熟語の使われ方を理解してください。

###### (オ) 同意語、反意語、対語

同意語、反意語、対語は、単語を覚えるのに便利なように個々の訳語のすぐ後に入れてあります。同意語には、訳語をつけてありませんが、反意語、対語には、訳語をつけてあります。

###### (カ) 語形変化

見出し語の次に動詞の不規則変化形、形容詞・副詞の不規則変化形や more, most のつく形を明示してあります。また、名詞の不規則複数形も示してあります。さらに、人称代名詞の語形変化は、主格の単語の次にまとめてあります。

## (2) 凡例

### (ア) 品詞

名＝名詞	代＝代名詞	動＝動詞	助＝助動詞
形＝形容詞	副＝副詞	前＝前置詞	接＝接続詞
間投＝間投詞	冠＝冠詞	略＝略語	

### (イ) 言語用法

米＝米語	英＝英語
------	------

### (ウ) その他

同＝同意語	反＝反意	対＝対語	→＝派生語
熟＝熟語	複＝複数形	参考＝参考事項	

## (3) 括弧の使い方

英和単語集の中では、「(2) 凡例」の中に掲げた略語はすべて( )でくくってあります。そのほかに次のような場合も( )でくくってありますので、その場その場で判断してください。

- (ア) 訳または置き換え可能な部分
- (イ) 文法用語
- (ウ) 文法的説明
- (エ) 英文中の省略可能な部分
- (オ) 英文中の置き換え可能な部分

以下、掲載している語彙のみを紹介します。

a

able

aboard

Aborigine

about

above

abroad

absent

absorb

accept

accident

according

acid rain

acorn  
across  
act  
acting  
action  
active  
activity  
actor  
actress  
actually  
ad  
add  
addition  
address  
admire  
adult  
advantage  
adventure  
advertise  
advice  
affect  
affection  
afraid  
Africa  
African  
African-American  
after  
afternoon  
afterward  
again  
against  
age  
ago  
agree  
ahead  
AIDS

air  
air conditioner  
airline  
airport  
Alaska  
album  
alien  
alive  
all  
allow  
all-purpose  
All-Star Game  
almost  
aloha  
alone  
along  
aloud  
alphabet  
already  
also  
ALT  
although  
altogether  
always  
am  
am a.m. A.M.  
amaze  
amazing  
America  
American  
among  
amount  
amusement  
an  
ancestor  
anchor

ancient  
and  
anger  
angry  
animal  
animated  
animation  
anime  
Anne Frank  
announce  
announcer  
another  
answer  
ant  
any  
anybody  
anyone  
anything  
anytime  
anyway  
anywhere  
apartheid  
apartment  
appear  
apple  
approach  
April  
apron  
architect  
Arctic  
are  
area  
aren't  
Argentina  
argument  
arm

army  
around  
arrange  
arrest  
arrive  
arrow  
art  
article  
artist  
as  
Asia  
ask  
asleep  
assistant  
Astro Boy  
astronaut  
at  
atchoo  
ate  
athlete  
Atlantic Ocean  
atomic  
atomic bomb  
attack  
attend  
attendant  
attention  
audience  
August  
aunt  
Australia  
Australian  
automatically  
autumn  
average  
awake

award  
away  
baby  
back  
bad  
badge  
bag  
baggage  
bagpipes  
bake  
ball  
ballerina  
ballet  
balloon  
bamboo  
ban  
banana  
band  
bandage  
bandanna  
bank  
bar  
barbecue  
barber  
bare  
bark  
barrier  
barrier-free  
baseball  
basket  
basketball  
bass  
bat  
bath  
bathroom  
battle

bay  
be  
beach  
bean  
bear  
beat  
Beatles  
beautician  
beautiful  
beauty  
became  
because  
become  
bed  
bedroom  
bee  
beef  
been  
beer  
beetle  
before  
began  
begin  
beginner  
beginning  
begun  
behave  
behind  
Beijing  
belief  
believe  
bell  
belong  
below  
belt  
beneath

Berlin  
beside  
besides  
best  
better  
between  
beyond  
Bhutan  
bicycle  
big  
Big Ben  
bike  
bill  
billion  
biology  
bird  
birth  
birthday  
biscuit  
bit  
bite  
bitten  
bitter  
black  
blackboard  
blame  
blanket  
blew  
blind  
blindfold  
block  
blog  
blood  
bloom  
blossom  
blow

blown  
blue  
blueberry  
blush  
board  
boat  
bob  
body  
boil  
bomb  
bomber  
bone  
book  
border  
bored  
boring  
born  
borrow  
both  
bottle  
bottom  
bought  
bow  
bowl  
bowling  
box  
boy  
boycott  
braille  
brain  
branch  
brand-new  
brave  
Brazil  
bread  
break

breakfast  
breath  
breathe  
breeze  
brick  
bridge  
bright  
brightness  
bring  
British  
broke  
broken  
brother  
brought  
brown  
brush  
bucket  
Buckingham Palace  
build  
building  
built  
bulb  
bump  
burn  
burnt  
bury  
bus  
business  
businessman  
busy  
but  
butter  
butterfly  
button  
buy  
buzzer

by  
bye  
cabbage  
cabin  
cable car  
cacao  
cafeteria  
cage  
cake  
calculator  
calendar  
call  
calm  
Cambodia  
came  
camera  
camp  
campaign  
can  
Canada  
Canberra  
cancer  
candle  
candy  
cannot  
can't  
cap  
capital  
captain  
car  
card  
care  
career  
careful  
carefully  
careless

caribou  
carpenter  
carrot  
carry  
cartoon  
case  
castle  
cat  
catch  
caught  
cause  
CD  
ceiling  
celebrate  
cell phone  
cent  
center, centre (英)  
centimeter, centimetre (英)  
century  
cereal  
ceremony  
certain  
certainly  
chain  
chair  
chalk  
challenge  
champion  
championship  
chance  
change  
channel  
chapter  
character  
charity  
charm

chase  
cheap  
check  
cheer  
cheerful  
cheese  
chemical  
chemistry  
cherry  
chess  
chest  
chew  
chicken  
chief  
child  
children  
chime  
China  
Chinatown  
Chinese  
chip  
chocolate  
choice  
choose  
chopsticks  
chorus  
chose  
chosen  
Christmas  
church  
circle  
citizen  
city  
civil  
clam chowder  
clap

class  
classmate  
classroom  
clean  
cleaner  
clear  
clearly  
clerk  
clever  
click  
climate  
climb  
clinic  
clock  
close  
cloth  
clothes  
cloud  
cloudy  
club  
coach  
coal  
coast  
coat  
cock  
coffee  
coin  
cola  
cold  
collect  
collection  
college  
color, colour (英)  
Colosseum  
combination  
come

comedian  
comedy  
comfort  
comfortable  
comic  
comment  
commercial  
common  
communicate  
communication  
community  
company  
compare  
compartment  
compass  
complain  
completely  
computer  
conceive  
concentrate  
concert  
conclusion  
condition  
conditioner  
condominium  
conductor  
confectioner  
conference  
confuse  
confusing  
connect  
connection  
contact  
contain  
content  
contest

continent  
continue  
control  
convenience  
convenient  
cook  
cooker  
cookie  
cooking  
cool  
cooperate  
cooperation  
copy  
coral  
corn  
corner  
correct  
cost  
Costa Rica  
costume  
cotton  
cough  
could  
couldn't  
count  
country  
couple  
courage  
course  
court  
cousin  
cover  
cow  
cracker  
crane  
crazy

create  
creativity  
creature  
cricket  
crocodile  
crop  
cross  
crow  
crowd  
crowded  
cruel  
cry  
cucumber  
culture  
cup  
curry  
curtain  
cushion  
custom  
customer  
cut  
cute  
cycle  
dad  
daily  
dam  
damage  
dance  
danger  
dangerous  
dark  
darkness  
data  
date  
daughter  
day

daytime  
dead  
deaf  
deal 1  
deal 2  
dear  
death  
debate  
debut  
deceive  
December  
decide  
decision  
declare  
decorate  
decrease  
deep  
deeply  
deer  
degree  
Delhi  
delicious  
delight  
democracy  
demon  
demonstration  
dentist  
depart  
department store  
departure  
depend  
desert  
design  
designer  
desk  
despair

dessert  
destroy  
detective  
develop  
development  
devil  
devote  
devotion  
diamond  
diary  
dictionary  
did  
didn't  
die  
diet  
dietician  
different  
differently  
difficult  
dig  
digital  
dining room  
dinner  
dinosaur  
diplomat  
direct  
direction  
director  
dirty  
disability  
disagree  
disappear  
disappointed  
disaster  
discover  
discuss

discussion  
disease  
dish  
display  
distant  
dive  
divide  
do  
doctor  
does  
doesn't doesn't  
dog  
doll  
dollar  
dolphin  
dome  
donate  
donation  
done  
don't  
door  
dormitory  
dot  
double  
doubt  
down  
downstairs  
downtown  
Dr.  
drama  
drank  
draw  
drawing  
drawn  
dream  
dress

dressing  
drew  
drink  
drive  
driven  
driver  
drop  
drove  
drugstore  
drum  
drunk  
dry  
duck  
dump  
during  
Dutch  
duty  
DVD  
dying  
each  
eagle  
ear  
early  
earn  
earth  
earthquake  
easily  
east  
Easter  
eastern  
easy  
eat  
eaten  
echo  
eco  
ecology

economic  
education  
effect  
effective  
effort  
egg  
Egypt  
Eiffel Tower  
eight  
eighteen  
eighth  
eighty  
either  
elderly  
elect  
electric  
electricity  
elegant  
elementary school  
elephant  
elevator  
eleven  
eleventh  
elm  
else  
e-mail  
embarrass  
embassy  
emerald  
emission  
employ  
employee  
empty  
encourage  
end  
endangered animal

enemy  
energy  
engine  
engineer  
engineering  
England  
English  
enjoy  
enough  
enter  
entertainment  
entrance  
envelope  
environment  
environmental  
episode  
equal  
equality  
equipment  
era  
eraser  
erupt  
escape  
especially  
ethnic  
Europe  
European  
evaluation  
eve  
even  
evening  
event  
ever  
every  
everybody  
everyday

everyone  
everything  
everywhere  
exam  
examination  
examine  
example  
excellent  
except  
exchange  
excite  
excited  
exciting  
excuse  
exercise  
expect  
expensive  
experience  
experiment  
explain  
explode  
express  
expression  
extinct  
extra  
eye  
eyesight  
face  
fact  
factor  
factory  
fade  
fail  
fair  
faithful  
fall

fallen  
false  
family  
famous  
fan  
fantastic  
far  
farm  
farmer  
farming  
fast  
fat  
father  
favor, favour (英)  
favorite, favourite (英)  
fax  
fear  
feature  
February  
fed  
feed  
feel  
feeling  
feet  
fell  
felt  
female  
fence  
fencing  
festa  
festival  
fever  
few  
fiction  
field  
fielder

fifteen  
fifth  
fifty  
fight  
fighting  
figure  
figure skating  
file  
fill  
film  
final  
finally  
find  
fine  
fine art  
finger  
finish  
Finland  
fire  
fire drill  
firewood  
fireworks  
first  
fish  
fisherman  
fishing  
five  
fix  
flag  
flash  
flavor, flavour(英)  
flew  
flight  
float  
flood  
floor

florist  
flour  
flow  
flower  
flown  
fluently  
flute  
fly  
flying  
focus  
fog  
fold  
folk song  
follow  
fond  
food  
foolish  
foot  
football  
footprint  
for  
force  
foreign  
foreigner  
forest  
forever  
forget  
forgot  
forgotten  
fork  
form  
format  
former  
fortune  
forty  
forward

fossil fuel  
fought  
found  
four  
fourteen  
fourth  
fox  
fragile  
France  
free  
freedom  
French  
French fries  
fresh  
Friday  
fridge  
fried rice  
friend  
friendly  
friendship  
frighten  
frog  
from  
front  
fruit  
fry  
full  
fun  
function  
fund  
funny  
furniture  
future  
gain  
game  
garage

garbage  
garden  
garlic  
gas  
gate  
gather  
gave  
geese  
gender  
generation  
generous  
genre  
gentle  
gentleman  
gently  
geography  
George Washington  
German  
Germany  
gesture  
get  
Ghana  
giant  
gift  
girl  
girlfriend  
give  
given  
glacier  
glad  
glass  
global  
glove  
gnu  
go  
goal

goat  
god  
gold  
golden  
golf  
golfer  
gone  
good  
goodbye  
goodness  
goose  
got  
government  
grade  
graduate  
graduation  
Grand Prix  
grandchild  
grandchildren  
grandfather  
grandma  
grandmother  
grandpa  
grandparent  
grape  
graph  
grass  
gray, grey (英)  
great  
greatly  
greedy  
green  
greet  
greeting  
grew  
grin

groomer  
ground  
group  
grow  
grown  
grown-up  
guard  
guess  
guest  
guide  
guitar  
gun  
guy  
gym  
habit  
habitat  
had  
hadn't  
hair  
haircut  
half  
hall  
Halloween  
hamburger  
hammer  
hamster  
hand  
handkerchief  
handle  
handmade  
handout  
hang  
happen  
happily  
happiness  
happy

harbor

hard

hardly

harm

harmony

harvest

has

hasn't

hat

hate

hatred

have

haven't

Hawaii

Hawaiian

hawk

hay fever

he

head

headache

health

hear

heard

heart

heartbeat

heat

heater

heaven

heavy

hectare

he'd

height

held

Helen Keller

he'll

hello

helmet  
help  
helpful  
helping  
hen  
her  
here  
here's  
heritage  
hero  
hers  
herself  
hey  
hi  
hid  
hidden  
hide  
high  
highlight  
highway  
hiking  
hill  
him  
himself  
his  
historical  
history  
hit  
hobby  
hold  
hole  
holiday  
Holland  
home  
homepage  
homeroom

homerun  
homestay  
hometown  
homework  
honest  
hope  
hopeful  
horizon  
horn  
horror  
horse  
hospital  
host  
hot  
hotel  
hour  
house  
housework  
how  
however  
huge  
human  
humid  
hundred  
hung  
hunger  
hungry  
hunt  
hunter  
hunting  
hurry  
hurt  
husband  
hymn  
I  
ice

iced  
icon  
I'd  
idea  
identity  
idle  
if  
ill  
I'll  
illness  
illustrator  
image  
imagine  
immediate  
immediately  
impact  
importance  
important  
impossible  
impress  
improve  
in  
inch  
including  
increase  
incredibly  
indeed  
independent  
index  
India  
Indonesia  
indoor  
industrial  
industrious  
industry  
influence

information  
injection  
injure  
injury  
ink  
insect  
inside  
insist  
inspiration  
instead  
instruct  
instructor  
interest  
interested  
interesting  
interestingly  
international  
Internet  
internship  
interpreter  
interview  
interviewer  
into  
introduce  
Inuit  
invent  
invention  
invite  
iron  
irregular  
is  
island  
isn't  
it  
Italian  
Italy

itchy  
it'll  
its  
itself  
I've  
jacket  
jam  
January  
Japan  
Japanese  
Japantown  
jersey  
jet  
jewel  
jeweler  
job  
jog  
jogging  
join  
joke  
journalist  
journey  
joy  
judge  
judgement  
juice  
July  
jump  
June  
jungle  
junior  
just  
kangaroo  
keep  
keeper  
kept

key  
keyboard  
kick  
kid  
kill  
kilogram, kilogramme (英)  
kilometer, kilometre (英)  
kind1  
kind2  
kindergarten  
kindness  
king  
kitchen  
kite  
kitten  
kiwi  
kiwi fruit  
knee  
knew  
knife  
knit  
knock  
know  
knowledge  
known  
koala  
Korea  
Korean  
lacrosse  
lady  
lake  
lamp  
land  
landmark  
landmine  
language

lantern

large

last

late

lately

later

latest

laugh

law

lawn

lawyer

lay1

lay2

lazy

lead

leader

leaf

league

leap

learn

leave

led

left1

left2

leg

lemon

lend

less

lesson

let

letter

level

library

lie1

lie2

life

lifespan  
lifestyle  
lift  
light1  
light2  
like1  
like2  
lily  
limit  
limited  
line  
lion  
list  
listen  
little  
live  
liver  
living room  
lizard  
lobby  
local  
locate  
location  
lock  
locker  
London  
lonely  
long  
look  
lord  
lose  
loss  
lost  
lot  
lotus  
loud

love  
low  
lower  
lowland  
luck  
luckily  
lucky  
lullaby  
lunch  
lunch time  
lung  
Macedonia  
machine  
made  
magazine  
magic  
mail  
mailbox  
mailman  
main  
majestic  
major  
majority  
make  
Malaysia  
male  
mammal  
man  
manager  
manner  
many  
Maori  
map  
maple  
March  
Marie Curie

mark  
market  
marry  
Mars  
marsh  
Martin Luther King, Jr.  
mask  
master  
mat  
match  
math  
mathematics  
matter  
May  
may  
maybe  
mayor  
MC  
me  
meal  
mean  
meaning  
meaningful  
meant  
measure  
meat  
mechanic  
medal  
media  
medical school  
medicine  
medium  
meet  
meeting  
melody  
melon

melt  
member  
memorial  
memory  
men  
menu  
merchant  
merry  
message  
met  
meter, metre(英)  
method  
Mexican  
Mexican-American  
Mexico  
mice  
middle  
midnight  
midway  
might  
mile  
milk  
million  
mind  
mine  
minister  
ministry  
minus  
minute  
mirror  
Miss  
miss  
mission  
mist  
mistake  
mix

model  
modern  
mom  
moment  
mommy  
Monday  
money  
monkey  
monster  
month  
monument  
moon  
more  
morning  
Moscow  
most  
mother  
motto  
mountain  
mouse  
mouth  
move  
moved  
movie  
mow  
Mr.  
Mrs.  
Ms.  
Mt.  
much  
mud  
museum  
music  
musical  
musician  
Muslim

must  
mustn't  
MVP  
my  
myself  
mysterious  
mystery  
nail  
name  
nap  
narrow  
NASA  
nation  
national  
native  
natural  
nature  
near  
nearly  
necessary  
neck  
need  
needle  
neighbor  
neighborhood  
neither  
Nepal  
nervous  
nest  
net  
network  
Netherlands  
never  
new  
news  
newspaper

New York  
New Zealand  
next  
NGO  
nice  
night  
nine  
nineteen  
nineteenth  
ninety  
ninety-nine  
ninth  
no  
No.  
Nobel Prize  
noble  
nobody  
nod  
noise  
noisy  
none  
non-white  
noodle  
noon  
nor  
normal  
north  
northern  
nose  
not  
note  
notebook  
nothing  
notice  
novel  
November

now  
NPO  
nuclear  
number  
nurse  
nursery  
nutritious  
nylon  
object  
occupation  
occur  
ocean  
o'clock  
October  
octopus  
of  
off  
offer  
office  
officer  
official  
often  
oh  
oil  
OK,O.K.  
old  
Olympic  
omelet  
on  
once  
one  
oneself  
one-way  
onion  
online  
only

onto  
open  
opening  
operation  
opinion  
opposite  
or  
oral  
orange  
orchestra  
order  
ordinary  
organ  
organic  
origin  
original  
Orion  
other  
Ottawa  
ouch  
ought  
our  
ours  
ourselves  
out  
outdoor  
outside  
over  
overnight  
overseas  
owl  
own  
owner  
ox  
ozone layer  
Pacific Ocean

package  
page  
paid  
pain  
painful  
paint  
painter  
painting  
pair  
pale  
pamphlet  
pan  
panda  
panel  
pants  
paper  
paperback  
parade  
pardon  
parent  
Paris  
park  
part  
partner  
party  
pass  
passenger  
passion  
passport  
past  
path  
patient  
pay  
PE P.E.  
pea  
peace

peach  
peak  
peanut  
pear  
pearl  
pen  
pencil  
penguin  
people  
pepper  
per  
perceive  
percent  
perfect  
perfectly  
perform  
performance  
performer  
perhaps  
period  
person  
Peru  
pet  
pharmacist  
Philippines  
phone  
photo  
photograph  
photographer  
photography  
phrase  
physics  
pianist  
piano  
pick  
picnic

picture  
pie  
piece  
pig  
pillow  
pilot  
pineapple  
pink  
pipe  
pitch  
pity  
pizza  
place  
plan  
plane  
planet  
plant  
plastic  
plate  
platform  
play  
player  
playful  
pleasant  
please  
pleasure  
plentiful  
plenty  
plus  
p.m.,P.M.  
pocket  
poem  
point  
Poland  
polar bear  
police

policeman  
policy  
polite  
politician  
pollution  
poncho  
pond  
pool  
poor  
pop  
popcorn  
popular  
population  
pork  
position  
positive  
possible  
post  
pot  
potato  
pouch  
pound  
pour  
power  
powerful  
PR  
practice  
praise  
pray  
precious  
prefecture  
prefer  
prepare  
prescribe  
present  
presentation

preserve  
president  
press  
pressure  
pretty  
price  
pride  
priest  
primary  
prince  
princess  
principal  
print  
priority  
prison  
prize  
probably  
problem  
proceed  
produce  
professional  
program, programme (英)  
programmer, programmer (英)  
prohibit  
project  
promise  
promote  
propose  
protect  
proud  
prove  
proverb  
provide  
psychology  
public  
pull

pump  
pumpkin  
punish  
pupil  
puppet  
purple  
purpose  
purse  
push  
put  
puzzle  
quality  
quarrel  
quarter  
queen  
question  
quick  
quickly  
quiet  
quit  
quite  
quiz  
rabbit  
race1  
race2  
racket  
radio  
radioactivity  
railroad  
rain  
rainbow  
raincoat  
rainy  
raise  
ran  
rang

rapid  
rat  
rate  
rather  
rating  
ray  
reach  
reaction  
read  
ready  
real  
reality  
realize  
really  
reason  
receive  
recently  
recipe  
recommend  
record  
recycle  
recycling  
red  
reduce  
referee  
reflect  
refrigerator  
refuse  
regard  
regular  
rehearse  
reindeer  
relate  
relation  
relationship  
relative

relax  
relay  
release  
relief  
remain  
remember  
remind  
removal  
remove  
rental  
repair  
repeat  
replace  
reply  
report  
reporter  
rescue  
research  
reset  
resource  
respect  
responsible  
rest  
restaurant  
result  
retire  
return  
reuse  
rhythm  
rice  
rich  
ridden  
ride  
right  
ring  
rise

risen  
risk  
rival  
river  
road  
roar  
robber  
rock  
rocket  
rode  
roll  
Romania  
Rome  
roof  
rookie  
room  
rope  
rose1  
rose2  
rough  
round  
route  
row  
rubber  
rude  
rugby  
rule  
run  
rung  
runner  
Russia  
sacred  
sad  
sadness  
safe  
said

sail  
sailor  
salad  
sale  
salmon  
salon  
salt  
salty  
same  
sanctuary  
sand  
sandwich  
sang  
sank  
Santiago  
sat  
satellite  
Saturday  
Saturn  
sauna  
sausage  
save  
saw  
sax  
say  
saying  
scare  
scared  
scarf  
scary  
scene  
scenery  
schedule  
scheme  
school  
schoolyard

science  
scientist  
scissors  
score  
Scotland  
scout  
scramble  
scrap  
sea  
seal  
search  
season  
seat  
second1  
second2  
secret  
section  
see  
seed  
seem  
seen  
select  
self-portrait  
sell  
send  
senior  
sense  
sent  
sentence  
Seoul  
separate  
separately  
September  
serious  
servant  
serve

service  
set  
setting  
settle  
seven  
seventeen  
seventh  
seventy  
several  
severe  
sew  
shade  
shadow  
shake  
shall  
shampoo  
shape  
share  
shark  
sharp  
she  
she'd  
sheep  
sheet  
shelf  
shell  
she'll  
shine  
shining  
ship  
shirt  
shock  
shoe  
shone  
shook  
shoot

shooting star

shop

shopkeeper

shopping

shore

short

shot

should

shoulder

shouldn't

shout

shovel

show

shower

shown

showroom

shrine

shrug

shut

shy

sick

side

sigh

sight

sightseeing

sign

signal

silent

silly

silver

similar

simple

simply

since

sincerely

sing

Singapore

singer

singing

single

sink

sir

sister

sit

site

situation

six

sixteen

sixth

sixty

size

skate

sketch

ski

skiing

skill

skillful

skin

skip

skirt

sky

slave

sleep

sleepiness

sleepy

slept

slip

slipper

slow

slowly

slum

small

smart  
smell  
smelt  
smile  
smog  
smoke  
smoothly  
snack  
snake  
sneaker  
snorkel  
snow  
so  
soap  
soccer  
social  
society  
sock  
soft  
softball  
softly  
solar  
sold  
soldier  
soloist  
solution  
solve  
Somalia  
some  
somebody  
somehow  
someone  
something  
sometimes  
somewhere  
son

song  
soon  
sore  
sorry  
sound  
soup  
sour  
source  
south  
South Africa  
southern  
soybean  
space  
spacecraft  
spaceship  
spaghetti  
Spain  
span  
Spanish  
speak  
speaker  
special  
speech  
speed  
spell  
spend  
spent  
spicy  
spirit  
splash  
spoke  
spoken  
spoon  
sport  
spot  
spread

spring  
square  
stadium  
staff  
stage  
stair  
stamp  
stand  
stapler  
star  
start  
starvation  
starve  
state  
station  
statue  
stay  
steak  
steal  
steam  
steep  
step  
stew  
stick  
sticker  
still  
Stockholm  
stole  
stolen  
stomach  
stomachache  
stone  
stood  
stop  
store  
storm

stormy  
story  
stove  
straight  
strange  
stranger  
straw  
strawberry  
stream  
streamline  
street  
strength  
stress  
strict  
strike  
stroller  
strong  
struck  
stuck  
student  
studio  
study  
stuffed animal  
stupid  
style  
subject  
suburb  
subway  
succeed  
success  
such  
suddenly  
suffer  
sugar  
sugarcane  
suggest

suggestion  
suit  
suitcase  
summer  
summit  
sun  
Sunday  
sung  
sunk  
sunlight  
sunny  
sunrise  
sunset  
sunshine  
supermarket  
supper  
support  
suppose  
sure  
surf  
surface  
surprise  
surprised  
surprising  
surround  
survey  
survival  
survive  
survivor  
swallow  
swam  
swan  
sweater  
Sweden  
sweep  
sweet

swim  
swimmer  
swimming  
swing  
switch  
Switzerland  
sword  
swum  
Sydney  
symbol  
system  
table  
taco  
tail  
take  
taken  
talk  
tall  
Tanzania  
tap  
tape  
task  
taste  
taught  
tax  
taxi  
tea  
teach  
teacher  
team  
teammate  
teamwork  
tear  
technique  
technology  
teeth

telegram  
telephone  
telescope  
television  
tell  
temper  
temperature  
temple  
ten  
tennis  
tent  
tenth  
terrible  
terror  
test  
textbook  
Thailand  
than  
thank  
Thanksgiving Day  
that  
the  
theater, theatre(英)  
their  
theirs  
them  
themselves  
then  
therapy  
there  
therefore  
these  
they  
they'd  
they'll  
thick

thin  
thing  
think  
third  
thirsty  
thirteen  
thirteenth  
thirtieth  
thirty  
this  
those  
though  
thought  
thousand  
three  
threw  
throat  
through  
throw  
thrown  
Thursday  
ticket  
tie  
tightly  
till  
time  
timing  
tiny  
tip  
tired  
to  
toad  
toast  
today  
toe  
together

toilet  
told  
tomato  
tomorrow  
tongue  
tonight  
too  
took  
tool  
tooth  
toothache  
toothbrush  
top  
topic  
torch  
tornado  
tortoise  
total  
touch  
tough  
tour  
tourism  
tourist  
tournament  
toward  
towel  
tower  
town  
toy  
track  
trade  
trader  
tradition  
traditional  
traffic  
tragedy

train  
trainer  
translate  
transportation  
trash  
travel  
tray  
treasure  
treat  
tree  
tremble  
trick  
trip  
tropical rain forest  
trouble  
trousers  
truck  
true  
trumpet  
trunk  
trust  
try  
T-shirt  
tube  
Tuesday  
tug-of-war  
tulip  
tuna  
tundra  
tunnel  
turbine  
turkey  
turn  
turning  
turtle  
TV

twelfth  
twelve  
twentieth  
twenty  
twice  
twin  
two  
type  
typical  
ugly  
umbrella  
uncle  
unclean  
under  
understand  
understood  
unfair  
unfortunate  
unhappy  
UNICEF  
unicycle  
uniform  
unique  
united  
United Kingdom  
United Nations  
United States [of America]  
universal  
university  
unlucky  
unplug  
until  
up  
upon  
upset  
upside

upstairs  
us  
use  
used  
useful  
user  
usual  
usually  
vacation  
vacuum  
valid  
valley  
valuable  
value  
variety  
various  
vase  
vast  
vegetable  
vending machine  
Venezuela  
Venus  
very  
vet  
victim  
victory  
video  
Vietnam  
view  
viewer  
village  
villager  
violence  
violent  
violin  
virus

visa  
visit  
visitor  
vitamin  
vividly  
voice  
volcano  
volleyball  
volume  
volunteer  
vs.  
wait  
waiter  
wake  
walk  
walking  
wall  
wallet  
want  
war  
warm  
warming  
warn  
warning  
was  
wash  
washing machine  
Washington, D.C.  
wasn't  
waste  
watch  
water  
waterfall  
watermelon  
wave  
wave power

way  
we  
weak  
wealth  
weapon  
wear  
weather  
website  
we'd  
Wednesday  
week  
weekday  
weekend  
weigh  
weight  
welcome  
well  
we'll  
well-balanced  
went  
were  
weren't  
west  
western  
wet  
wetland  
whale  
what  
wheat  
wheelchair  
when  
where  
whether  
which  
while  
whisper

white  
who  
whole  
whom  
whose  
why  
wide  
wife  
wild  
wilderness  
wildlife  
will  
willing  
win  
wind  
wind power  
windmill  
window  
windy  
wine  
wing  
winner  
winter  
wisdom  
wise  
wish  
with  
within  
without  
woke  
woken  
wolf  
woman  
wombat  
won  
wonder

wonderful  
wonderland  
won't  
wood  
wooden  
wool  
word  
wore  
work  
worker  
workshop  
world  
World Heritage Site  
World War II  
worn  
worried  
worry  
worse  
worst  
worth  
would  
wouldn't  
wounded  
wow  
wrap  
wrapper  
wrestle  
wrestler  
write  
writer  
written  
wrong  
wrote  
yard  
year  
yellow

yen  
yes  
yesterday  
yet  
yogurt  
you  
you'd  
you'll  
young  
your  
yours  
yourself  
yourselves  
yo-yo  
zebra  
zero  
zone  
zoo